

米に関するマンスリーレポート

(平成27年12月4日公表)

農林水産省

【お知らせ】

- 平成27年産水稻の収穫量を掲載しました。【P. 45】
 - 飼料用米の需要量を、平成27年産から平成28年産に更新しました。【P. 55】
 - 米の基本指針（平成27年11月）を掲載しました。【P. 58】
 - 平成28年産米の都道府県別の生産数量目標等を掲載しました。【P. 60】
 - 平成28年産政府備蓄米の買入入札に係る買入予定数量及び都道府県別優先枠を掲載しました。【P. 61】
- 農林水産省では、米に関する各種情報を皆さまにお伝えできるよう「米に関するメールマガジン」を発刊しております。
- 当該メールマガジンにご登録いただくことにより、農林水産省が毎月公表している「相対取引価格・数量」「契約・販売状況」「民間在庫の推移」などの情報に加え、米に係る各種資料について、公表後、直ちにメールでお知らせいたします。
- 当該メールマガジンの配信につきましては、農林水産省ホームページからご登録ください。
- 【メールマガジン配信登録】
- 農林水産省ホーム>報道広報>メールマガジン
- (URL) <http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

【本資料の目的】

本レポートは、米に関する価格動向や需給動向に係るデータを集約・整理し、毎月定期的に公表することによって、需給動向を適切に反映した米取引に資することを目的としています。

【利用上の注意】

1. 本レポートは、原則として公表2営業日前までの公表資料を反映しています。
2. 本レポートは、今後、必要に応じて項目の追加・削除などの内容を変更することがあります。

(本資料に関する問合せ先)

政策統括官付農産企画課

担当者：企画班 加藤

米穀需給班 佐々木、川本、川口

代表：03-3502-8111（内線4975）

ダイヤルイン：03-6738-8973

FAX：03-6738-8976

今月号のトピックス

【米取引関係者の判断(DI)(平成27年11月)(米穀機構による調査)】

主食用米の需給動向は、前月より「締まっている」「(将来)締まる」との見方が強まる。

1
ページ

【相対取引価格(平成27年10月)】

平成27年産米の全銘柄平均価格は13,116円/60kgで、前年産の同時期に比べ901円上昇。

6
ページ

【米の先物価格の推移】

米の先物取引価格(12月2日、東京コメ)は、先月に比べ20円/60kg(12月限)~240円/60kg(3月限)上昇。

10
ページ

【契約・販売状況(平成27年10月末)】

27年産米の契約数量は、前年産の同時期に比べ25万トンの多い150万トン。

15
ページ

【民間在庫の推移(平成27年10月末)】

平成27年10月末の出荷及び販売段階における民間在庫は、前年同期より23万トン少ない321万トン。

18
ページ

【小売価格の推移(POSデータ)(平成27年10月分)】

平均価格は1,887円/精米5kgで、前月から69円(3.8%)上昇。

39
ページ

【米の基本指針(平成27年11月)】

平成27/28年の主食用米等需要量は763万トンの見通し。平成28年産米の生産数量目標は743万トン、自主的取組参考値は735万トン。

58
ページ

目 次

I	米取引関係者の判断（米穀機構による調査、平成27年11月分）	1
II	集出荷・卸段階の動向	
1	価格情報	
(1)	相対取引価格・数量（速報）	6
①	相対取引価格・数量（平成27年産米、産地品種銘柄別、平成27年10月分）	
②	相対取引価格の推移（平成27年産米、主な産地品種銘柄）	
③	相対取引価格（年産別）	
(2)	米の先物取引価格の推移	10
(3)	業者間取引の状況	11
①	日本コメ市場（随時取引の結果）	
②	日本コメ市場・クリスタルライス（取引会の結果）	
③	（株）加工用米取引センターの取引結果	
④	（株）日本農産情報の取引結果	
⑤	米の現物市場の状況	
2	契約・販売情報	
(1)	産地別契約・販売状況（速報）	15
(2)	産地別事前契約数量	17
3	在庫情報	
(1)	全国段階の民間在庫の推移 （うるち米、平成21年7月末～平成27年10月末）（速報）	18
(2)	26・27年産の産地別民間在庫の推移 （うるち米、平成27年7月末～平成27年10月末）（速報）	21
(3)	25・26年産の産地別民間在庫の推移 （うるち米、平成26年7月末から27年6月末）（速報）	29
III	小売・消費段階の動向	
(1)	消費者物価指数の推移	37
(2)	小売物価統計の推移	38
(3)	小売価格の推移（POSデータ）	39
(4)	購入数量の推移（家計調査）	41
(5)	米の消費動向（米穀機構による調査）	42
IV	生産段階の動向	
(1)	平成27年産水稻の収穫量	45
(2)	水稻作付面積及び収穫量等の年次別推移（全国）	50
(3)	水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況、 10a 当たり収量及び収穫量（子実用）の年次別推移	50

(4) 加工用米及び新規需要米の取組状況等	5 2
① 加工用米の生産量	
② 新規需要米の用途別認定状況	
③ 加工用米・新規需要米等の取組状況（平成27年産、都道府県別）	
(5) 水稻うるち玄米の検査結果	5 4
V 飼料用米の推進及び需要量等	
(1) 飼料用米のマッチングの取組状況、 配合飼料メーカーへの飼料用の供給等	5 5
(2) 飼料用米の需要量について	5 6
VI 主食用米等の需給見通し（平成27年11月の米の基本指針）	
(1) 平成28/29年の主食用米等の需給見通し	5 8
(2) 民間流通における6月末在庫の推移	5 8
(3) 全国の平成27/28年及び平成28/29年の需要見通し（推計値）	5 9
(4) 平成27/28年の備蓄運営、政府備蓄米の在庫状況	5 9
(5) 平成28年産米の生産数量目標（全国）	5 9
・ 平成28年産米の都道府県別の生産数量目標等	6 0
VII 備蓄米及びMA米の動向	
(1) 国内産政府備蓄米の買入予定数量及び買入入札の結果	6 1
① 平成28年産政府備蓄米の買入入札に係る買入予定数量及び都道府県別優先枠	
② 国内産備蓄米の買入入札の結果（落札結果）（平成23～27年産）	
(2) MA米（一般・SBS）の動向	6 3
① MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）	
② 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合わせ結果（平成27年度）	
③ SBS輸入米の見積合わせ結果（平成27年度）	
（参考1）米の安定取引研究会報告書の概要	6 5
（参考2）最近の米をめぐる状況（資料「米をめぐる状況について」（抜粋）	6 6
（参考3）平成26年産ナラシ対策の支払実績（平成27年7月31日現在）	6 7
（参考4）麦・大豆の需要情報	6 8
(1) 28年産麦の産地別銘柄別入札結果	
(2) 27年産大豆の産地別銘柄別入札結果	
（参考5）野菜等の需給情報	7 2

- 米穀機構が公表している米取引関係者の判断に関する調査(平成27年11月分)によると、主食用米の需給動向は、前月に比べ現状判断が6ポイント、見通し(向こう3ヶ月)判断が3ポイント増加し、いずれも、前月より「締まっている」「(将来)締まる」との見方が強まった。
- 米価水準は、現状判断が1ポイント増加し「米価水準が高い」との見方が強まった。また、見通し(向こう3ヶ月)判断は3ポイント減少したものの、判断基準の50を7ポイント超えており「米価水準が高くなる」との見方は継続。

I 米取引関係者の判断(米穀機構による調査、平成27年11月分)

〔○ 米取引関係者に対して、需給動向や価格水準などの取引動向に関するアンケートを実施し、その結果をD Iとして算出したものである(詳細はP 5)を参照)〕

1. 国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断(全体)

①主食用米の需給動向

(ア) 現状判断D I

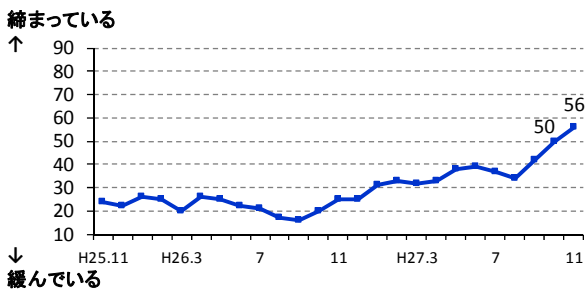
前月からの増減 +6 (今月の数値 56)

(イ) 見通し判断D I(向こう3ヶ月)

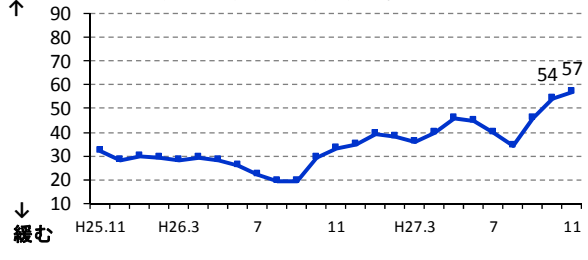
前月からの増減 +3 (今月の数値 57)

〔※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「締まっている」/「(将来)締まる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「緩んでいる」/「(将来)緩む」という見方が前月より強くなった傾向を示します。〕

①-ア 国内の主食用米の“現在の需給動向”について、どう考えていますか。(全体)



①-イ 国内の主食用米の“向こう3ヶ月の需給動向”について、どうなると考えていますか。(全体)



②主食用米の米価水準

(ア) 現状判断D I

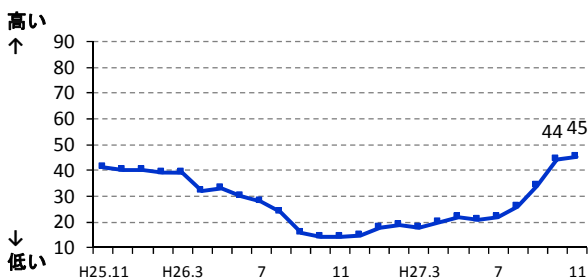
前月からの増減 +1 (今月の数値 45)

(イ) 見通し判断D I(向こう3ヶ月)

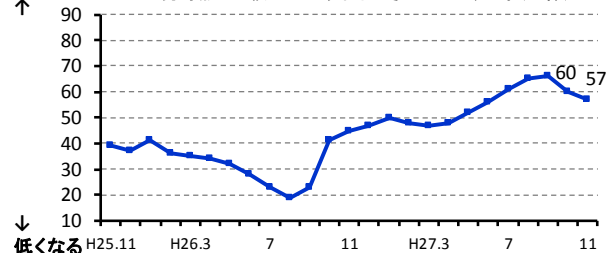
前月からの増減 -3 (今月の数値 57)

〔※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「米価水準が高い」/「米価水準が高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「米価水準が低い」/「米価水準が低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。〕

②-ア 国内の主食用米の“現在の米価水準”について、どう考えていますか。(全体)



②-イ 国内の主食用米の“向こう3ヶ月の米価水準”について、“現時点と比較”してどうなると考えていますか。(全体)



【取引関係者が①及び②の判断を行うに当たり、主に考慮した要因は、5頁に掲載しています。】

2. 自社の取引状況に関する判断(業態ごと)

①主食用米の販売数量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「増えた」/「(将来)増える」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「減った」/「(将来)減る」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の販売数量に関する現状判断 D I

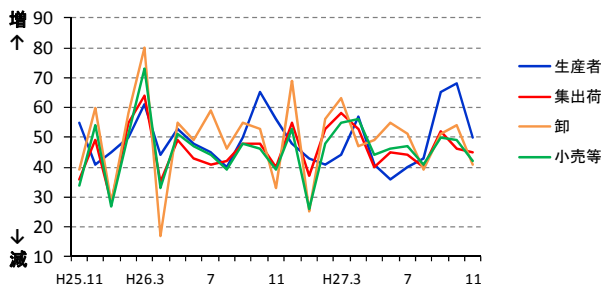
a. 先月との比較

生産者	： 前月からの増減	−18	(今月の数値	50)
集出荷	： 前月からの増減	−1	(今月の数値	45)
卸	： 前月からの増減	−13	(今月の数値	41)
小売等	： 前月からの増減	−7	(今月の数値	42)

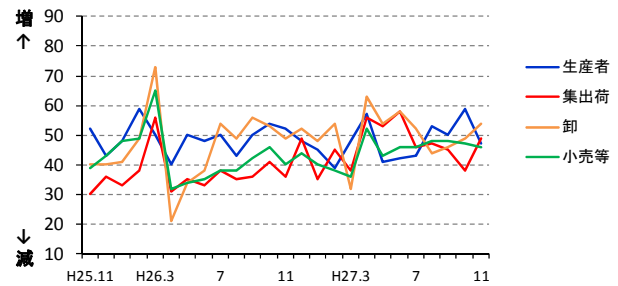
b. 前年同月との比較

生産者	： 前月からの増減	−12	(今月の数値	47)
集出荷	： 前月からの増減	+11	(今月の数値	49)
卸	： 前月からの増減	+5	(今月の数値	54)
小売等	： 前月からの増減	−1	(今月の数値	46)

①-A-a 貴社の“今月”の主食用米の“販売数量”について、“先月と比較”するといかがですか。



①-A-b 貴社の“今月”の主食用米の“販売数量”について、“前年同月と比較”するといかがですか。



(イ) 来月の販売数量に関する見通し D I

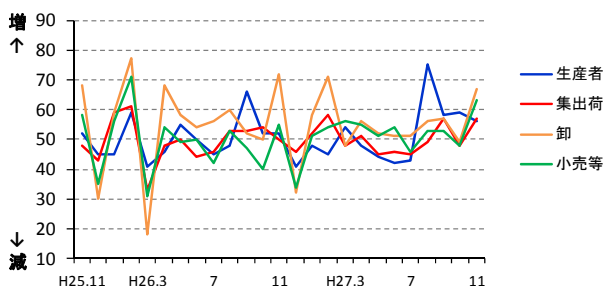
a. 今月との比較

生産者	： 前月からの増減	−3	(今月の数値	56)
集出荷	： 前月からの増減	+9	(今月の数値	57)
卸	： 前月からの増減	+18	(今月の数値	67)
小売等	： 前月からの増減	+15	(今月の数値	63)

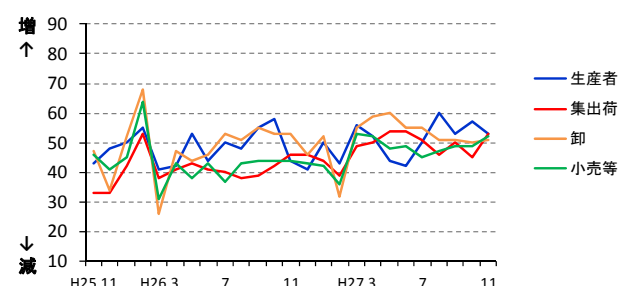
b. 前年同月との比較

生産者	： 前月からの増減	−4	(今月の数値	53)
集出荷	： 前月からの増減	+8	(今月の数値	53)
卸	： 前月からの増減	+1	(今月の数値	51)
小売等	： 前月からの増減	+3	(今月の数値	52)

①-I-a 貴社の“来月”の主食用米の“販売数量”について、“今月と比較”してどうなると考えていますか。



①-I-b 貴社の“来月”の主食用米の“販売数量”について、“前年同月と比較”してどうなると考えていますか。



②主食用米の価格

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「高くなった」/「(将来)高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「低くなった」/「(将来)低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の価格に関する現状判断 D I

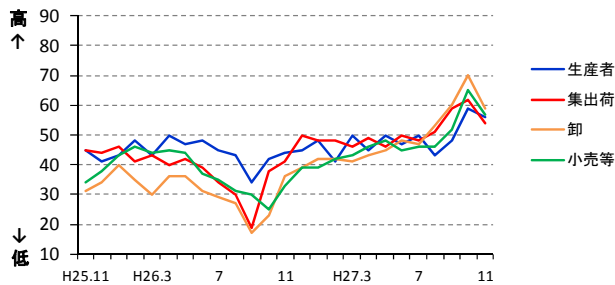
a. 先月との比較

生産者：前月からの増減	-3	(今月の数値	56)
集出荷：前月からの増減	-8	(今月の数値	54)
卸：前月からの増減	-11	(今月の数値	59)
小売等：前月からの増減	-8	(今月の数値	57)

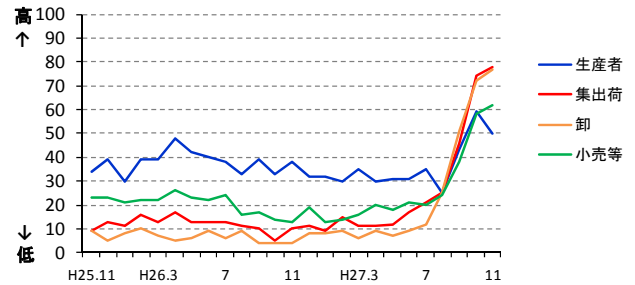
b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	-9	(今月の数値	50)
集出荷：前月からの増減	+4	(今月の数値	78)
卸：前月からの増減	+5	(今月の数値	77)
小売等：前月からの増減	+4	(今月の数値	62)

②-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"価格"について、"先月と比較"するといかがですか。



②-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"価格"について、"前年同月と比較"するといかがですか。



(イ) 来月の価格に関する見通し D I

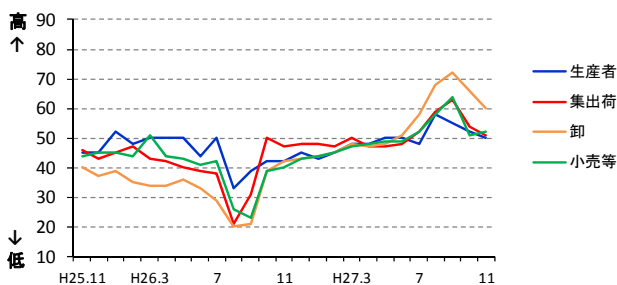
a. 今月との比較

生産者：前月からの増減	-2	(今月の数値	50)
集出荷：前月からの増減	-3	(今月の数値	51)
卸：前月からの増減	-6	(今月の数値	60)
小売等：前月からの増減	+1	(今月の数値	52)

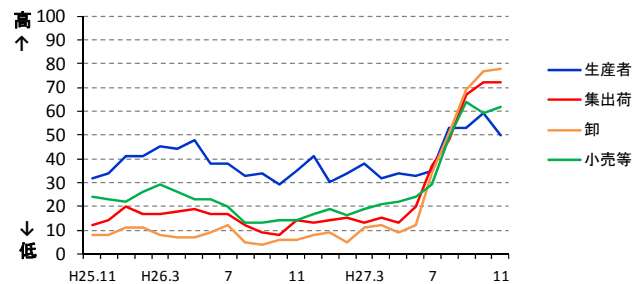
b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	-9	(今月の数値	50)
集出荷：前月からの増減	±0	(今月の数値	72)
卸：前月からの増減	+1	(今月の数値	78)
小売等：前月からの増減	+3	(今月の数値	62)

②-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"価格"について、"今月と比較"してどうなると考えていますか。



②-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"価格"について、"前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



③主食用米の在庫量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「多くなった」/「(将来) 多くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「少なくなった」/「(将来)少なくなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の在庫量に関する現状判断D I

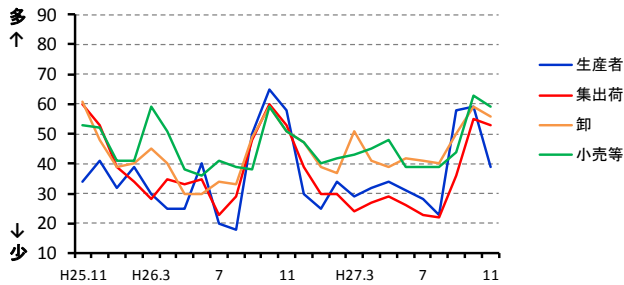
a. 先月との比較

生産者：前月からの増減	-20	(今月の数値	39)
集出荷：前月からの増減	-2	(今月の数値	53)
卸：前月からの増減	-3	(今月の数値	56)
小売等：前月からの増減	-4	(今月の数値	59)

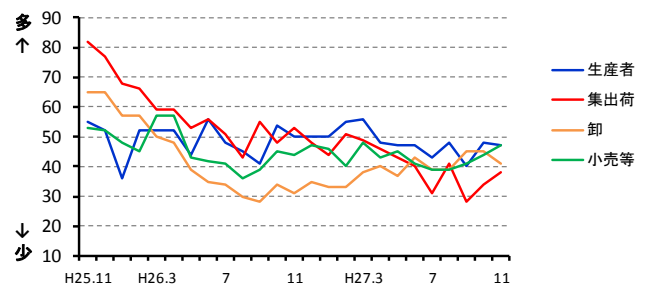
b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	-1	(今月の数値	47)
集出荷：前月からの増減	+4	(今月の数値	38)
卸：前月からの増減	-4	(今月の数値	41)
小売等：前月からの増減	+3	(今月の数値	47)

③-ア-a 貴社の“今月”の主食用米の“在庫量”について、“先月と比較”するといかがですか。



③-ア-b 貴社の“今月”の主食用米の“在庫量”は、“前年同月と比較”するといかがですか。



(イ) 来月の在庫量に関する見通しD I

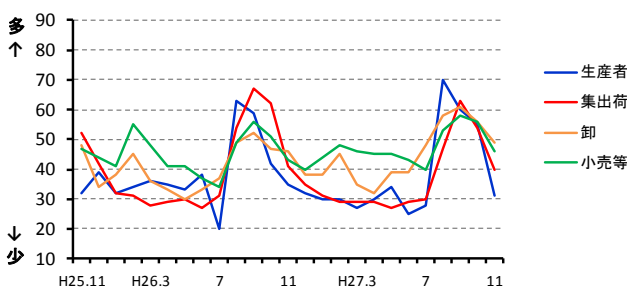
a. 今月との比較

生産者：前月からの増減	-24	(今月の数値	31)
集出荷：前月からの増減	-14	(今月の数値	40)
卸：前月からの増減	-7	(今月の数値	49)
小売等：前月からの増減	-10	(今月の数値	46)

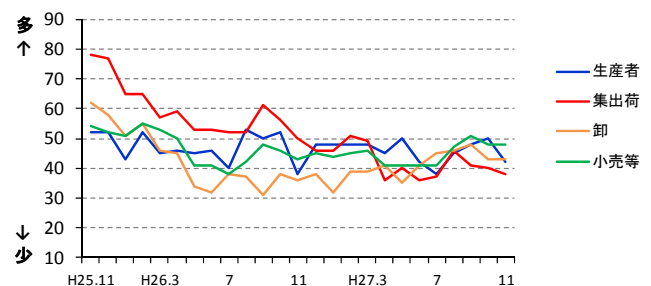
b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	-8	(今月の数値	42)
集出荷：前月からの増減	-2	(今月の数値	38)
卸：前月からの増減	±0	(今月の数値	43)
小売等：前月からの増減	±0	(今月の数値	48)

③-イ-a 貴社の“来月”の主食用米の“在庫量”について、“今月と比較”してどうなると考えていますか。



③-イ-b 貴社の“来月”の主食用米の“在庫量”について、“前年同月と比較”してどうなると考えていますか。



取引関係者が1の①及び②の判断を行うに当たり、主に考慮した要因

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
H26.12	3%	30%	5%	39%	12%	10%	2%
H27.1	3%	25%	6%	41%	17%	7%	1%
H27.2	2%	31%	5%	38%	16%	8%	1%
H27.3	2%	29%	3%	41%	17%	8%	1%
H27.4	1%	26%	4%	41%	20%	6%	3%
H27.5	2%	26%	8%	37%	16%	9%	3%

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
H27.6	4%	25%	8%	37%	17%	7%	3%
H27.7	8%	22%	11%	39%	13%	3%	3%
H27.8	8%	20%	17%	42%	6%	4%	3%
H27.9	16%	14%	14%	42%	6%	4%	4%
H27.10	16%	15%	5%	44%	9%	6%	4%
H27.11	13%	15%	8%	46%	7%	9%	2%

《アンケート方法等》

○調査期間：毎月1日から25日までの取引状況を踏まえて回答

○調査方法：電子メールを利用したアンケート調査

○調査対象者：全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の145客体

○有効回答数：114客体

生産者・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
 集出荷業者／団体・・・・・・・・・・・・ 26
 卸売業者（主に主食用米）・・・・・・ 27
 小売業者／中食・外食業者・・・・・・ 35
 その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

※「その他」は以下の業者です。
 ・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者
 ・加工原材料米穀を使用し、加工食品（酒類を含む）を製造・販売する者

《利用上の注意》

○表示単位未満の端数は四捨五入したため、合計と内訳が一致しないことがあります。

《DIの算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する5段階の判断（評価）にそれぞれ点数（評価点）を与え、これらを各回答区分の構成比（%）に乗じてDIを算出します。

ただし、DIの推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ（量感）を表すものではありません。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じDIが観測されることに注意が必要です。

（DIの算出例）

問：国内の主食用米の“向こう3ヶ月の米価水準”について、“現時点と比較”してどうなると考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0
構成比(B)	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI(C=A×B)	17.8	15	10	5.6	0
DI(合計)	48.4				

- 平成27年産米の平成27年10月分の全銘柄平均価格は13,116円/60kgとなり、前年産の同時期に比べ+901円/60kg。
- また、相対取引数量は、28.8万トンとなり、前年産の同時期に比べ+5.4万トン。

II 集出荷・卸段階の動向

1 価格情報

(1) 相対取引価格・数量（速報）

① 相対取引価格・数量（平成27年産米、産地品種銘柄別、平成27年10月分）

相対取引価格・数量（北海道から栃木まで）

（単位：円/玄米60kg税込、玄米トン）

産地	品種銘柄	価格 27年産米 (27年10月) ①	数量 27年産米 (27年10月) ②	参 考							
				価格				数量			
				27年産米 (27年9月) ③	対前月比 ①/③	26年産米 (26年10月) ④	対前年比 ①/④	27年産米 (27年9月) ⑤	対前月比 ②/⑤	26年産米 (26年10月) ⑥	対前年比 ②/⑥
北海道	ななつぼし	12,995	29,648	13,356	97%	12,628	103%	12,315	241%	39,468	75%
北海道	きらら397	12,497	11,686	12,803	98%	12,223	102%	1,527	765%	7,234	162%
北海道	ゆめびりか	16,447	7,574	17,080	96%	16,876	97%	8,730	87%	15,205	50%
青森	まっしぐら	11,323	14,595	11,210	101%	10,106	112%	656	2225%	4,560	320%
青森	つがるロマン	11,556	11,776	11,697	99%	10,281	112%	373	3157%	2,945	400%
岩手	ひとめぼれ	12,954	4,247	13,004	100%	11,795	110%	2,819	151%	7,517	56%
岩手	あきたこまち	11,991	3,131	12,586	95%	11,415	105%	312	1004%	831	377%
岩手	いわてっこ	11,881	243	-	-	9,405	126%	-	-	1,988	12%
宮城	ひとめぼれ	12,782	12,493	12,559	102%	12,227	105%	17,021	73%	7,676	163%
宮城	ササニシキ	12,813	2,757	12,665	101%	12,398	103%	681	405%	1,329	207%
宮城	つや姫	13,485	2,733	12,845	105%			1,409	194%		
秋田	あきたこまち	12,805	28,024	12,819	100%	11,679	110%	13,338	210%	25,150	111%
秋田	めんこいな	11,836	178	-	-	11,102	107%	-	-	105	170%
秋田	ひとめぼれ	12,007	2,924	11,938	101%	10,859	111%	304	962%	1,361	215%
山形	はえぬき	12,474	10,396	13,088	95%	11,330	110%	855	1216%	3,508	296%
山形	つや姫	17,946	3,878	18,074	99%	16,813	107%	338	1147%	3,649	106%
山形	ひとめぼれ	13,854	1,082	12,677	109%	13,485	103%	322	336%	1,115	97%
福島	コシヒカリ(中通り)	11,788	4,166	11,739	100%	9,774	121%	154	2705%	1,335	312%
福島	コシヒカリ(会津)	13,375	1,540	13,753	97%	13,103	102%	113	1363%	753	205%
福島	コシヒカリ(浜通り)	11,432	362	11,269	101%	-	-	108	335%	-	-
福島	ひとめぼれ	10,782	3,415	10,815	100%	10,134	106%	1,382	247%	1,513	226%
福島	天のつぶ	10,755	1,436	10,729	100%			108	1330%		
茨城	コシヒカリ	12,573	7,015	12,517	100%	11,157	113%	22,300	31%	3,675	191%
茨城	あきたこまち	11,778	1,440	11,724	100%	10,467	113%	5,646	26%	476	303%
茨城	ゆめひたち	-	-	10,398	-	-	-	124	-	-	-
栃木	コシヒカリ	12,677	24,631	12,750	99%	11,454	111%	11,241	219%	3,391	726%
栃木	あさひの夢	11,328	1,074	11,338	100%	9,199	123%	2,200	49%	926	116%
栃木	なすひかり	-	-	11,870	-	10,831	-	2,546	-	284	-

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 産地品種銘柄ごとの価格（①）は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格（運賃、包装代、消費税を含む1等米の価格）を加重平均したものであり、数量（②）は、同契約の数量の合計である。

ただし、全農が締結する「福島、茨城、鳥取、岡山、高知」の契約では、27年産から契約方法を見直し、これまでの運賃（東京、大阪着基準）を含めた契約方法から、産地在姿での契約方法に変更したため、当該産地の相対取引価格には全農契約分の運賃が含まれていない。

3 価格に含む消費税は、平成26年4月分から8%で算定している。

4 加重平均に際しては、新潟、長野、静岡以東（東日本）の産地品種銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西（西日本）の産地品種銘柄については受渡地を西日本としているものを対象としている。

5 相対取引価格は、個々の契約内容に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の引取状況に応じて価格調整（等級及び付加価値等（栽培方法等））が行われることがある。

6 全銘柄平均価格（次々頁）は、報告対象産地品種銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均により算定。

7 ④及び⑥は前年産の価格、数量である。

8 次頁にある「全銘柄平均価格（出回りから10月まで）」は、平成27年産米の出回りから当年10月までの平均価格。「26年産米の全銘柄平均価格（年産平均）」は、26年産米の出回りから平成27年10月までの平均価格（速報）。

9 「-」は、当該月の相対取引契約がなかったもの又は当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。

10 斜線は、当該年産米において産地品種銘柄の報告対象でなかったもの。

相対取引価格・数量(群馬から兵庫まで)

(単位:円/玄米60kg税込、玄米トン)

産地	品種銘柄	参 考											
		価格		数量		価格				数量			
		27年産米 (27年10月)	27年産米 (27年10月)	27年産米 (27年9月)	対前月比	26年産米 (26年10月)	対前年比	27年産米 (27年9月)	対前月比	26年産米 (26年10月)	対前年比		
		①	②	③	①/③	④	①/④	⑤	②/⑤	⑥	②/⑥		
群馬	あさひの夢	-	-	-	-	8,656	-	-	-	140	-		
群馬	ゆめまつり	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
群馬	ゴロピカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
埼玉	彩のかがやき	11,720	2,178	11,506	102%	11,453	102%	110	1980%	1,623	134%		
埼玉	コシヒカリ	12,844	1,193	12,588	102%	12,606	102%	221	540%	982	121%		
埼玉	キヌヒカリ	11,834	144	-	-	-	-	-	-	-	-		
千葉	コシヒカリ	12,360	3,891	12,183	101%	11,600	107%	5,975	65%	4,190	93%		
千葉	ふさこがね	11,215	1,473	10,694	105%	9,535	118%	1,778	83%	1,108	133%		
千葉	ふさおとめ	10,894	985	10,874	100%	9,991	109%	3,723	26%	1,345	73%		
山梨	コシヒカリ	16,732	321	-	-	15,615	107%	-	-	365	88%		
山梨	あさひの夢	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
長野	コシヒカリ	13,696	8,029	13,782	99%	13,440	102%	4,288	187%	2,010	399%		
長野	あきたこまち	12,510	728	12,440	101%	11,810	106%	1,132	64%	322	226%		
静岡	コシヒカリ	14,074	261	14,135	100%	13,681	103%	343	76%	260	100%		
静岡	きぬむすめ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
静岡	あいちのかおり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
新潟	コシヒカリ(一般)	15,955	18,485	16,078	99%	15,416	103%	11,696	158%	19,259	96%		
新潟	コシヒカリ(魚沼)	20,383	3,329	20,208	101%	19,597	104%	2,498	133%	3,180	105%		
新潟	コシヒカリ(岩船)	16,449	1,510	16,460	100%	15,918	103%	1,460	103%	985	153%		
新潟	コシヒカリ(佐渡)	16,451	1,354	16,451	100%	15,863	104%	2,008	67%	1,663	81%		
新潟	こしいぶき	12,283	2,872	12,233	100%	12,027	102%	4,090	70%	2,388	120%		
富山	コシヒカリ	14,305	7,461	14,365	100%	13,066	109%	7,654	97%	8,264	90%		
富山	てんたかく	12,690	915	12,680	100%	11,860	107%	1,611	57%	566	162%		
石川	コシヒカリ	14,076	436	13,940	101%	13,580	104%	2,341	19%	152	287%		
石川	ゆめみづほ	11,880	144	11,569	103%	-	-	2,032	7%	-	-		
福井	コシヒカリ	14,239	1,102	14,062	101%	13,099	109%	2,393	46%	1,924	57%		
福井	ハナエチゼン	12,491	1,248	12,544	100%	11,721	107%	1,421	88%	807	155%		
岐阜	ハツシモ	13,306	970	-	-	11,728	113%	-	-	1,453	67%		
岐阜	コシヒカリ	14,964	892	13,937	107%	12,284	122%	503	177%	684	130%		
岐阜	あきたこまち	12,560	324	12,511	100%	11,493	109%	282	115%	230	141%		
愛知	あいちのかおり	12,164	4,607	-	-	11,139	109%	-	-	462	997%		
愛知	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
愛知	大地の風	11,705	673	-	-	-	-	-	-	-	-		
三重	コシヒカリ(一般)	13,574	726	13,589	100%	12,455	109%	830	87%	1,946	37%		
三重	コシヒカリ(伊賀)	13,990	387	14,000	100%	12,964	108%	480	81%	674	57%		
三重	キヌヒカリ	12,491	317	12,530	100%	11,149	112%	132	240%	168	189%		
滋賀	コシヒカリ	13,618	4,346	13,312	102%	12,676	107%	7,072	61%	2,231	195%		
滋賀	キヌヒカリ	12,134	1,050	11,925	102%	11,464	106%	3,492	30%	204	515%		
滋賀	日本晴	11,836	320	11,353	104%	11,147	106%	1,501	21%	149	215%		
京都	コシヒカリ	13,841	735	14,472	96%	12,591	110%	1,130	65%	631	116%		
京都	キヌヒカリ	12,324	225	12,508	99%	12,052	102%	261	86%	189	119%		
兵庫	コシヒカリ	14,405	1,089	14,456	100%	13,714	105%	1,366	80%	1,253	87%		
兵庫	ヒノヒカリ	11,485	296	-	-	11,739	98%	-	-	341	87%		
兵庫	キヌヒカリ	11,490	536	11,514	100%	11,718	98%	249	215%	387	139%		

注: 本表の注意点は前頁の脚注を参照

相対取引価格・数量(奈良から鹿児島まで)

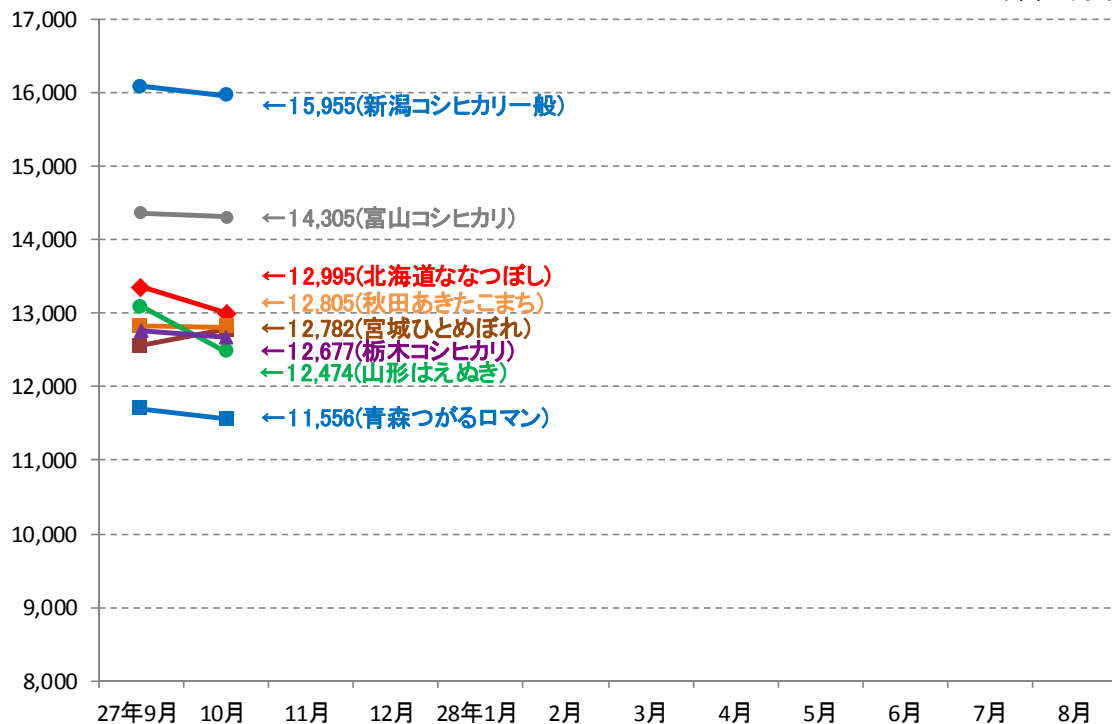
(単位:円/玄米60kg税込、玄米トン)

産地	品種銘柄	価格 27年産米 (27年10月) ①	数量 27年産米 (27年10月) ②	参 考							
				価格				数量			
				27年産米 (27年9月) ③	対前月比 ①/③	26年産米 (26年10月) ④	対前年比 ①/④	27年産米 (27年9月) ⑤	対前月比 ②/⑤	26年産米 (26年10月) ⑥	対前年比 ②/⑥
奈良	ヒノヒカリ	12,609	354	-	-	11,633	108%	-	-	265	134%
奈良	コシヒカリ	-	-	-	-	11,772	-	-	-	101	-
鳥取	ひとめぼれ	12,154	348	12,210	100%	11,830	103%	780	45%	216	161%
鳥取	コシヒカリ	13,299	398	13,358	100%	12,145	110%	352	113%	854	47%
鳥取	きぬむすめ	12,455	287	-	-	-	-	-	-	-	-
島根	コシヒカリ	13,626	1,445	13,685	100%	12,797	106%	2,584	56%	1,263	114%
島根	きぬむすめ	12,718	1,112	11,824	108%	11,951	106%	1,117	100%	419	265%
島根	ハナエチゼン	11,883	398	11,760	101%	-	-	574	69%	-	-
岡山	アケボノ	-	-	-	-	10,398	-	-	-	191	-
岡山	あきたこまち	12,073	453	11,708	103%	11,024	110%	662	68%	439	103%
岡山	ヒノヒカリ	12,022	273	-	-	11,161	108%	-	-	126	217%
広島	コシヒカリ	12,933	1,332	13,173	98%	11,465	113%	1,744	76%	10,925	12%
広島	あきろまん	11,920	414	-	-	10,736	111%	-	-	3,710	11%
広島	ヒノヒカリ	11,701	182	-	-	10,663	110%	-	-	2,359	8%
山口	コシヒカリ	13,699	1,084	13,727	100%	12,943	106%	558	194%	979	111%
山口	ひとめぼれ	12,565	467	12,615	100%	12,061	104%	353	132%	461	101%
山口	ヒノヒカリ	12,643	549	12,624	100%	12,059	105%	185	297%	471	117%
徳島	コシヒカリ	13,446	299	13,236	102%	10,074	133%	132	227%	1,970	15%
徳島	キヌヒカリ	11,776	321	-	-	-	-	-	-	-	-
香川	ヒノヒカリ	12,303	464	-	-	11,222	110%	-	-	353	131%
香川	コシヒカリ	13,422	492	13,367	100%	12,633	106%	630	78%	502	98%
愛媛	コシヒカリ	12,373	361	13,080	95%	11,594	107%	366	99%	466	77%
愛媛	ヒノヒカリ	11,918	104	-	-	11,189	107%	-	-	127	82%
愛媛	あきたこまち	11,623	155	12,445	93%	10,866	107%	115	135%	214	72%
高知	コシヒカリ	-	-	-	-	11,514	-	-	-	288	-
高知	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡	夢つくし	15,093	943	15,404	98%	15,509	97%	1,712	55%	945	100%
福岡	ヒノヒカリ	13,565	872	-	-	12,942	105%	-	-	979	89%
福岡	元気つくし	15,161	1,451	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀	夢しずく	13,190	697	13,391	98%	12,625	104%	196	356%	1,073	65%
佐賀	さがびより	14,265	205	-	-	12,977	110%	-	-	383	54%
佐賀	ヒノヒカリ	12,683	249	-	-	11,995	106%	-	-	162	154%
長崎	にこまる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎	ヒノヒカリ	13,944	134	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎	コシヒカリ	14,730	113	14,992	98%	13,910	106%	126	90%	144	78%
熊本	ヒノヒカリ	13,403	781	-	-	12,394	108%	-	-	674	116%
熊本	森のくまさん	14,100	173	-	-	12,934	109%	-	-	425	41%
熊本	コシヒカリ	14,373	607	14,565	99%	13,141	109%	653	93%	751	81%
大分	ヒノヒカリ	13,273	1,011	-	-	12,384	107%	-	-	872	116%
大分	ひとめぼれ	13,513	108	-	-	12,667	107%	-	-	145	74%
宮崎	コシヒカリ	-	-	13,773	-	12,973	-	1,085	-	130	-
宮崎	ヒノヒカリ	13,635	376	-	-	12,063	113%	-	-	379	99%
鹿児島	ヒノヒカリ	13,375	821	-	-	11,693	114%	-	-	856	96%
鹿児島	コシヒカリ	-	-	14,244	-	11,544	-	224	-	311	-
鹿児島	あきほなみ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全銘柄平均価格、合計数量		13,116	288,422	13,178	99.5%	12,215	107.4%	195,347	147.6%	234,722	122.9%
全銘柄平均価格(出回りから当年10月まで)		13,108	26年産米の全銘柄平均価格(年産平均)			11,979	109.4%				

注：本表の注意点は前々頁の脚注を参照

② 相対取引価格の推移（平成27年産米、主な産地品種銘柄）

（単位：円/玄米60kg、税込）

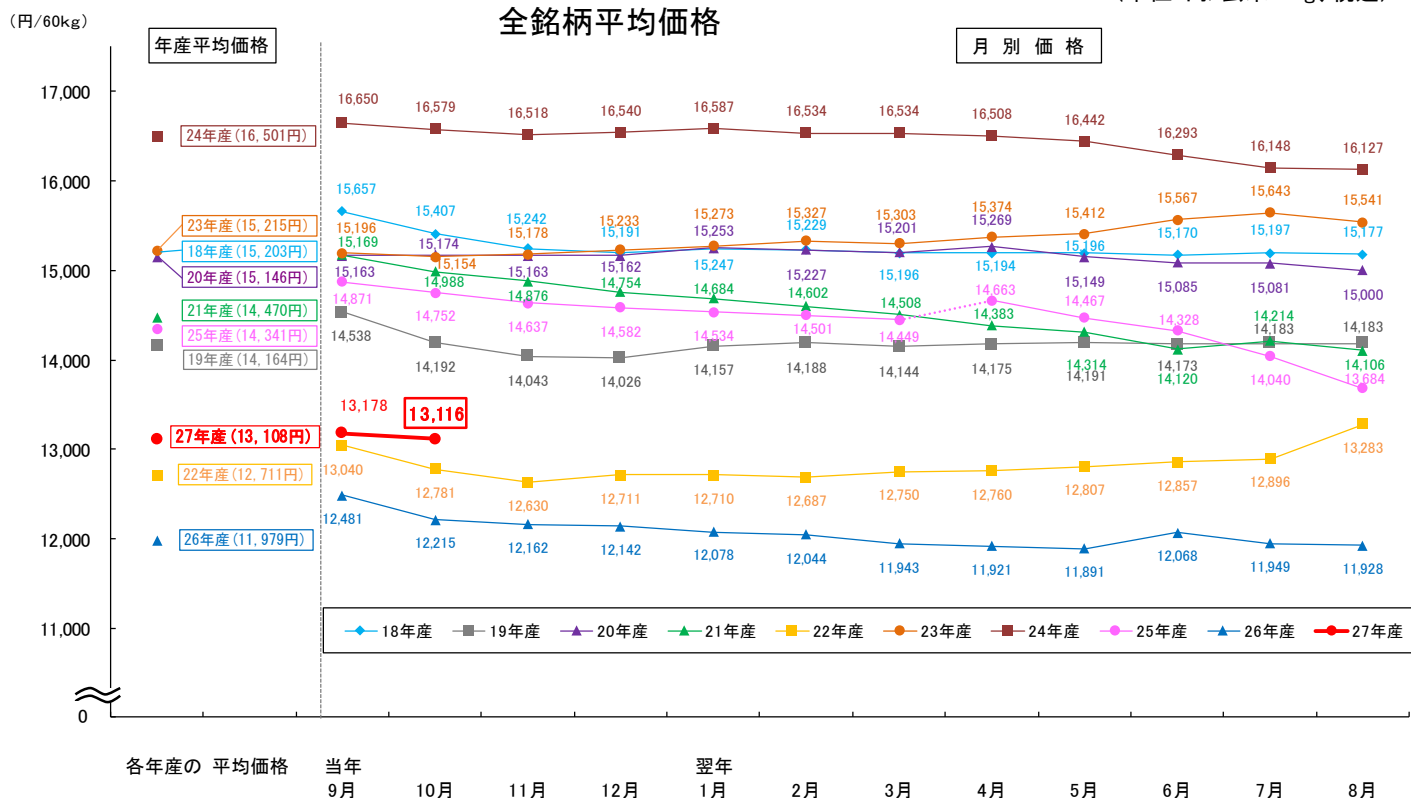


資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：相対取引価格に関する留意点については、6頁①表の脚注を参照。

③ 相対取引価格（年産別）

（単位：円/玄米60kg、税込）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：価格には、運賃、包装代、消費税相当額（8%。ただし、25年産の26年3月分以前は5%）が含まれている。

注2：グラフの左側は各年産の平均価格（注3）、右側は月ごとの価格の推移。

注3：平均価格とは、当該年産の出回りから翌年10月（27年産は当年10月）までの通年平均である（26・27年産は速報値ベース）。

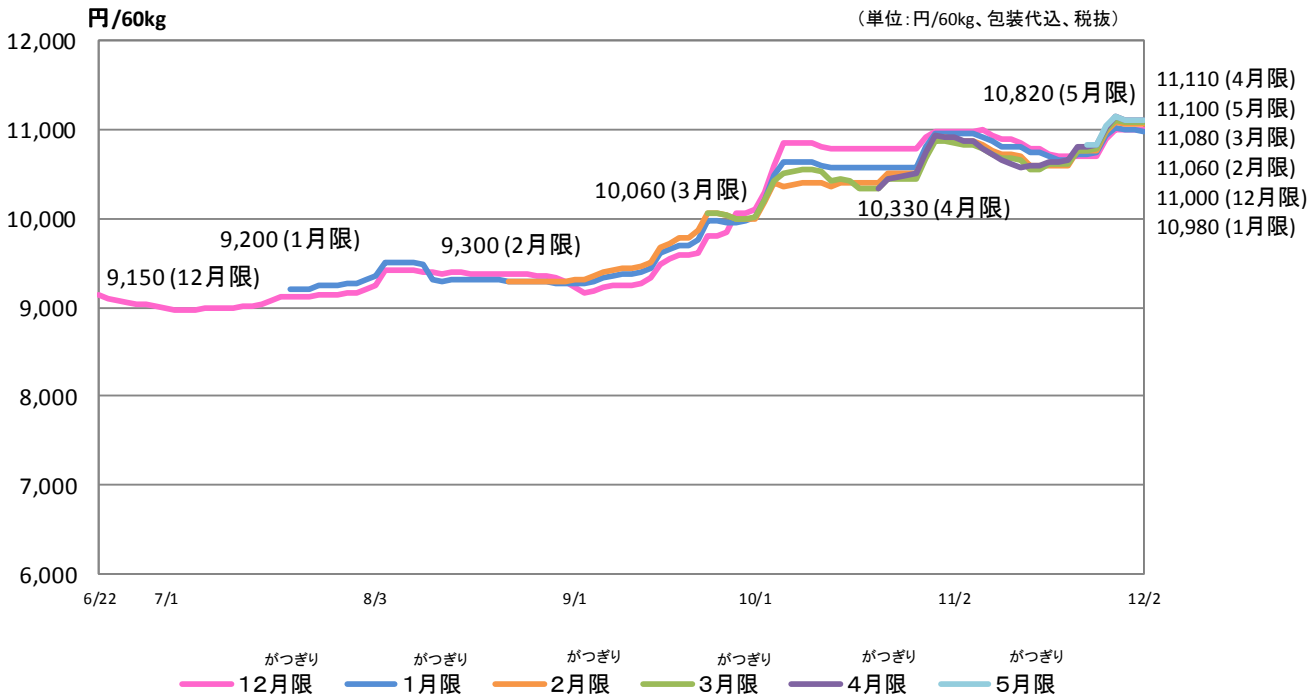
注4：これ以外の留意点については、6頁①表の脚注を参照。

米の先物取引価格(12月2日)は、先月(11月2日)に比べ終値で、東京コメが+20円/60kg(12月限)~+240円/60kg(3月限)、大阪コメが▲100円/60kg(1月限、2月限)~+190円/60kg(4月限)。

(2) 米の先物取引価格の推移

税抜価格

①東京コメ

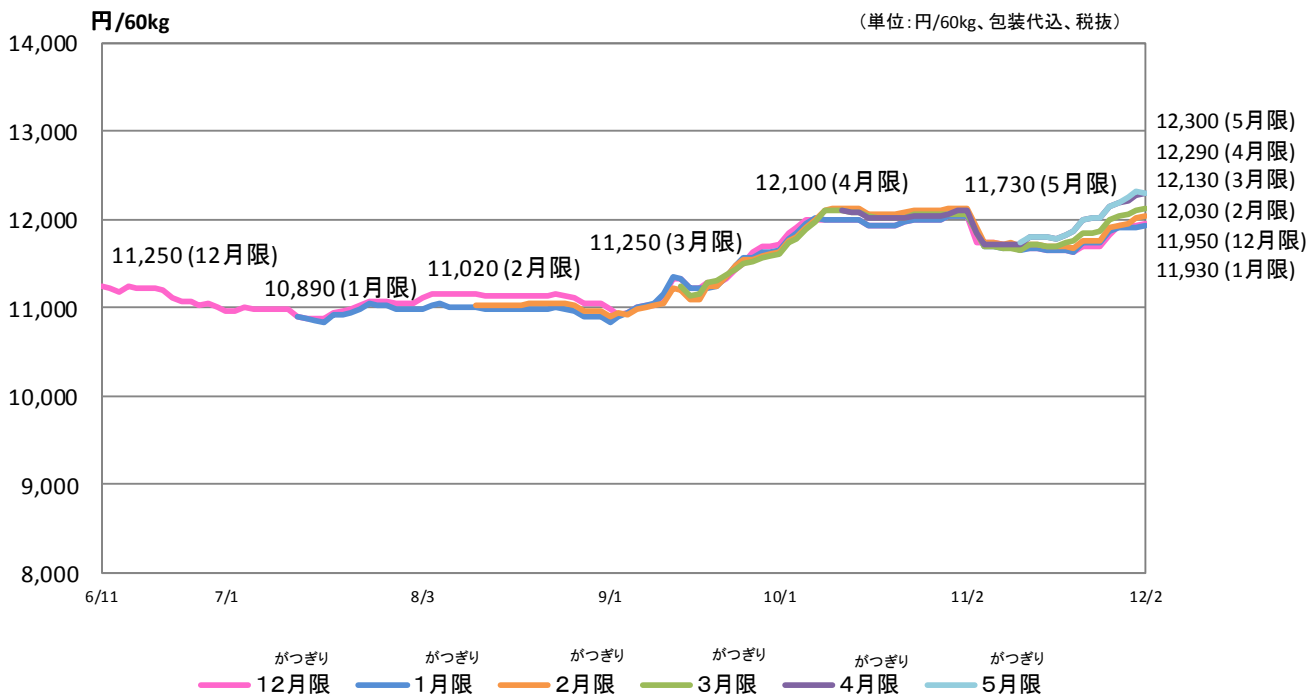


出典:大阪堂島商品取引所

注:取引開始から本レポート公表日の2日前の後場第3節までの価格の推移である。

②大阪コメ

税抜価格



出典:大阪堂島商品取引所

注:取引開始から本レポート公表日の2日前の後場第3節までの価格の推移である。

(3) 業者間取引の状況

税抜価格

① 日本コメ市場（随時取引の結果）

○ 価格は、主にスポット取引の価格であり、相当期間にわたり安定的に行う取引の価格とは性格を異にするので利用に当たっては注意が必要。

(関東到着基準、1等、包装代込、税抜、円/60kg)

年産・産地銘柄		9月下旬	10月上旬	10月下旬	11月上旬
27年産	秋田あきたこまち	11,724	11,675	11,722	-
27年産	福島中通コシヒカリ	-	11,450	11,429	-
27年産	茨城コシヒカリ	11,463	11,661	-	11,800
27年産	栃木コシヒカリ	-	-	-	11,700

出典： 日本コメ市場株式会社HP

- 注： 1 随時取引とは、取引日を限定せずに、ファックス、電話、IT等によって行う取引である。
 2 上記価格は、日本コメ市場株式の取引における成約価格を取引数量により加重平均したものである。
 3 上期は、1日から15日まで、下期は、16日から月末までを示す。
 4 「-」に関しては、成約数量が日本コメ市場の内部規程で定める基準を満たさなかったため非公表。

② 日本コメ市場・クリスタルライス(取引会の結果)
(主たる銘柄の成約状況)

税抜価格

(関東到着基準、1等、包装代込、税抜、円/60kg、トン)

年産・産地銘柄		平成27年度			
		第3回 8月20日		第4回 10月1日	
		成約価格	成約数量	成約価格	成約数量
27年産	北海道ななつぼし	-	-	12,406	87
27年産	秋田あきたこまち	-	-	11,732	125
27年産	茨城コシヒカリ	10,861	182	11,766	37
27年産	茨城あきたこまち	10,500	24	-	-
27年産	千葉ふさおとめ	10,134	38	10,851	50
27年産	新潟一般コシヒカリ	-	-	14,971	23
成約米穀の平均価格(加重平均)		10,999	755	12,378	1,014

出典： 日本コメ市場株式会社HP

- 注： 1 取引会における取引は、原則毎月、東京、大阪及び福岡において開催される取引会において入札により行われるものである。
 2 価格は、取引における成約価格を取引数量により加重平均したものである。
 3 「-」は、同社のホームページにおいて非公表を示す。

③ (株) 加工用米取引センターの取引結果 (27年産米)

【平成27年産】

税抜価格

(単位: 成約数量・トン、成約価格・円/60kg(包装代込み・税抜き))

取引日	産地、銘柄	等級	成約数量	成約価格
平成27年 8月11日	三重あきたこまち(主食用)	1等	12	11,500

資料: (株)加工用米取引センターHP

- 注: 1 すべて玄米60kg当りの価格。
 2 商品形態は、玄米30kg紙袋である。ただし、売側・買側の合意があった場合には、フレコンも可とされている。
 3 成約価格は、着地持込価格。

④ (株) 日本農産情報の取引結果 (27年産米)

税抜価格

【平成27年産】

(成約価格・円/60kg、包装代込み、税抜き)

産地、銘柄	平成27年 7月末	8月末	9月末	10月末
北海道ななつぼし			12,400	12,100
北海道ゆめぴりか			13,900	13,800
青森まっしぐら				11,300
青森つがるロマン				11,400
岩手ひとめぼれ				11,300
岩手あきたこまち				11,200
宮城ひとめぼれ				11,700
秋田あきたこまち			11,600	11,700
山形はえぬき			11,000	11,300
山形ヒメノモチ			15,000	15,000
福島中通コシヒカリ				11,600
福島中通ひとめぼれ			10,600	11,000
茨城コシヒカリ		11,000	11,400	11,600
茨城あきたこまち		10,400	10,800	11,100
栃木あさひの夢			10,300	10,800
埼玉彩のかがやき				11,000
千葉コシヒカリ		11,300		
千葉ふさこがね		9,800		
千葉ふさおとめ		9,900	10,500	10,900
千葉あきたこまち		10,300		
千葉ヒメノモチ			14,700	14,700
新潟コシヒカリ(一般)			14,600	14,700
新潟コシヒカリ(魚沼)				19,600
新潟こしいぶき			11,300	11,800
富山コシヒカリ(近畿着)			13,300	13,400
福井ハナエチゼン		11,100		
三重コシヒカリ(近畿着)		11,900		
三重あきたこまち(近畿着)		11,400		
島根ハナエチゼン(近畿着)		11,200		
徳島コシヒカリ(近畿着)		12,500		
高知2等コシヒカリ(近畿着)		12,100		
宮崎コシヒカリ(近畿着)	13,500	13,300		
鹿児島コシヒカリ(近畿着)		12,800		

資料: (株)日本農産情報HP

注: 特にことわりの無い場合は、価格は1口10トン以上の1等東京着値基準で、消費税抜き中卸価格。

⑤ 米の現物市場の状況

	(株)日本農産情報 (昭和54年～)	日本コメ市場(株) (平成9年～)	(株)加工用米取引センター (平成23年～)
取引形態	<p>○ ホームページ上で売り注文、買い注文を随時掲載(1時間毎に更新)。</p> <p>注文が成立した場合の流れは以下の通り。</p> <p>① 買い手はまず日本農産情報あてに代金を振り込み。</p> <p>② 日本農産情報は買い手からの入金確認後、売りに発送を依頼。</p> <p>③ 買い手は商品受取後、日本農産情報に納品を伝達。その後日本農産情報は売り手の速やかに代金を振り込み。</p>	<p>① 東京・大阪・福岡の3会場において1～2ヶ月に一度程度開催される取引会における入札取引(日本コメ市場・クリスタルライスの共催)</p> <p>② 電話・FAX・IT等により成立する随時取引の2形態で行われており、会員間取引が原則。</p>	<p>① 加工用米取引センターのホームページ上で数量と価格を付して取引(枚数・価格による匿名取引)</p> <p>② 電話等において仲介・斡旋を行うことにより成立する随時取引の2形態で行われており、会員間取引が原則。</p>
取扱数量	○年間取扱高は約400万俵(24万トン)。	○年間取扱高は約3万トン(平成25年度)。 ○取引会1回当たりの上場数量は4千～1万3千トン程度、落札数量は400～1,200トン程度(平成25年度実績:取引会を計7回開催)。	○年間取扱高は約2千トン(平成26年度)。
参加者数	○全国約3,000社(組合含む)。	○1回当たりの参加は50～80卸(70～100名程度)。 ○会員数約200社。	○参加会社数21社。
参加条件	○利用には取引口座の開設が必要。	①日本コメ市場(株)の会員であること(入会金:50万円) ②米穀機構との債務保証契約を締結することが必要。保証がない場合は前金制度で取引。	○原則として登録会員のみとし、非会員は登録会員を通じて売買が可能(入会費5万円、年会費2万円)。 ○会員になるには、米穀取引業者の資格を有し、年間60トン以上の取扱いを行っていることが必要。
公表	○成約状況(銘柄及び成約価格)については、市場概況としてホームページや業界紙に掲載。	○成約状況(銘柄及び成約価格)については、市場概況としてホームページや業界紙に掲載。	○成約状況(銘柄及び成約価格)については、市場概況としてホームページで公表。

	複数年産米コメ市場 (国産米使用推進団体協議会) (26年10月1日から開始)	中長期米仲介市場 (全国米穀販売事業共済協同組合) (27年7月1日から開始)	※参考:個別申込取引 (全農) (26年産から開始)
趣旨	○ 大型農業者が将来を見通して安心してコメ生産を行うとともに、需要者が安定的に原料米確保を行えるよう、複数年契約での取引を推進するための市場を創設。平成30年産までの間は斡旋業務を実施。	○ 既存のスポット的な取引の場とは異なる、年間を通じた中長期的な米の取引の場を開設。	○ 全農の相対基準価格の参考とするため、相対取引の手法の一つとして、26年8月以降、毎月1回を基本として「個別申込取引」を導入。
仕組み	○ 米政策の見直しの平成30年産を見据え、29年産までは試行期間として以下のとおり斡旋業務を行う。 ① 売り手構成員・買い手構成員は、希望する品名・数量・価格等を提示。 ② 「市場」は、売り手・買い手のそれぞれの条件を勘案し、引き合わせ、仲介。 ③ 両者が合意した場合には、その後の諸手続きは当事者間で実施。 ④ 斡旋業務は、(株)加工用米取引センターが、業務委託を受けて実施。	○ 年産・産地・銘柄・等級・受渡地・引取期限・包装・数量・価格等の取引条件を付した実物取引を仲介。 ○ 対象米穀は、翌月以降1ヶ月単位での引取期限が付された国産米。 ○ 取引参加者は、毎週金曜日までに翌週の取引の買注文及び売注文を出す。 ○ 買受者は米穀取引の都度、100円/60kgを(株)クリスタルライスに支払う。	○ 対象産地銘柄は全農各県本部の手挙げ。 ○ 全農は、取引先から購入希望数量と価格をセットで申し込みを受ける。 ○ 全農は、申し込み内容を各県本部に連絡し、各県本部は、価格の高いものから順に、各県本部の判断する価格まで成約させる。 ○ 取引先に積極的な参加を促進するため、契約価格は個別の成約価格にメリットを減じた価格とする。
取引単位	契約単位:原則100ト以上 取引単位:1ロット12ト	申込単位:原則100ト以上 引取単位:原則12ト以上	各県本部は、年間販売数量に応じて1回ごとの提示数量を判断。
参加条件・取引対象	○ 入会金及び年会費1万円を納め構成員として認められた以下の者(クローズされたコメ市場)。 ① 生産者:原則30ha以上の耕作面積。 ② 実需者、集荷業者、流通業者:原則として年間取扱数量が1,000ト以上。3年間債務超過でないこと。	○ 以下のいずれかの要件を満たし、登録料1万円を納め、(株)クリスタルライスの登録を受けた者。 ① 原則として年間で500ト以上の生産実績又は集荷実績がある者。 ② 原則として年間で1,000ト以上の仕入実績がある者。 ※ 現在の参加登録者数 64 (9月24日現在)。	○全農と売買基本契約を締結している米穀卸売事業者等。
公表	○成約内容は、非公表。	○成約内容は、非公表。	○成約内容は、非公表。

平成27年産米の平成27年10月末現在の集荷・契約・販売状況については、前年産の同期より集荷数量は少ないが、契約は進んでいる状況。

- ・ 集荷数量は 217万トン（前年産同期差：▲23万トン）
- ・ 契約数量は 150万トン（ // : +25万トン）
- ・ 販売数量は 31万トン（ // : ▲ 2万トン）

2 契約・販売情報

(1) 産地別契約・販売状況（速報）

平成27年産米の産地別契約・販売状況（累計、うるち米、平成27年10月末現在）

27年産米の「契約比率」及び「販売比率」（集荷数量に対する進捗状況）については、集荷が一定程度進んだ段階で掲載します。

集荷・契約・販売数量（北海道から静岡まで）

	集荷数量 (玄米千ト)	契約数量 (玄米千ト)	販売数量 (玄米千ト)
北海道	244.2	192.3	41.5
（ななつぼし）	116.0	91.3	15.4
（きらら397）	34.2	38.7	3.6
（ゆめびりか）	53.9	34.5	8.4
青森	94.5	57.7	8.3
（まっしぐら）	51.3	37.3	2.3
（つがるロマン）	37.3	16.7	3.1
岩手	109.3	72.9	4.7
（ひとめぼれ）	89.3	57.6	3.5
（あきたこまち）	15.9	12.8	0.5
（いわてっこ）	2.9	1.3	0.1
宮城	129.5	112.8	8.7
（ひとめぼれ）	105.1	93.8	6.4
（ササニシキ）	8.5	5.0	0.8
（つや姫）	9.5	6.3	0.9
秋田	182.9	99.1	21.0
（あきたこまち）	161.7	82.2	18.4
（めんこいな）	8.2	4.1	0.4
（ひとめぼれ）	4.2	6.0	1.1
山形	155.2	48.8	10.5
（はえぬき）	96.8	18.6	4.0
（つや姫）	21.2	11.1	3.2
（ひとめぼれ）	14.7	9.0	1.0
福島	98.7	42.9	4.8
（コシヒカリ中通り）	33.8	3.3	1.2
（コシヒカリ会津）	29.0	23.6	0.7
（コシヒカリ浜通り）	3.1	0.8	0.2
（ひとめぼれ）	20.7	11.7	1.5
（天のつぶ）	5.5	2.3	0.3

	集荷数量 (玄米千ト)	契約数量 (玄米千ト)	販売数量 (玄米千ト)
茨城	64.3	65.8	9.4
（コシヒカリ）	49.9	54.4	4.8
（あきたこまち）	9.6	9.7	4.0
（ゆめひたち）	0.5	0.1	0.1
栃木	117.0	77.1	15.4
（コシヒカリ）	100.5	65.8	13.1
（あさひの夢）	5.7	4.5	0.2
（なすひかり）	6.6	3.8	1.6
群馬	4.4	0.3	0.2
（あさひの夢）	2.5	0.1	0.1
（ゆめまつり）	1.2	0.1	0.1
（ゴロピカリ）	0.0	0.0	0.0
埼玉	13.5	6.4	1.3
（彩のかがやき）	5.0	3.3	0.8
（コシヒカリ）	6.4	1.9	0.5
（キヌヒカリ）	0.3	0.2	0.0
千葉	89.5	70.2	20.9
（コシヒカリ）	48.9	35.3	7.9
（ふさこがね）	16.4	12.5	3.0
（ふさおとめ）	19.8	19.0	8.6
東京	-	-	-
神奈川	2.4	0.2	0.2
山梨	3.9	0.4	0.4
（コシヒカリ）	3.5	0.4	0.4
（あさひの夢）	0.1	0.0	0.0
長野	45.0	26.3	4.3
（コシヒカリ）	35.0	19.5	2.7
（あきたこまち）	5.4	2.5	0.7
静岡	8.7	1.3	1.3
（コシヒカリ）	6.1	1.2	1.2
（きぬむすめ）	1.1	0.0	0.0
（あいちのかおり）	0.7	0.0	0.0

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。
- 2 報告対象米穀は、水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米（醸造用玄米を含む。）である。
- 3 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。
- 4 契約数量は、報告対象業者が自ら販売するために契約を締結（確認書等により数量のみが決定した契約を含む。）した数量である。
- 5 販売数量は、集荷数量のうち契約のあと実際に卸売業者等に引き取られた数量である。
- 6 銘柄ごとの集荷数量、契約数量、販売数量は、当該産地の内数として掲載している。
- 7 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。
- 8 「-」は、集荷数量、契約数量、販売数量に該当がないもの。

集荷・契約・販売数量(新潟から沖縄まで)

	集荷数量	契約数量	販売数量
	(玄米千ト)	(玄米千ト)	(玄米千ト)
新潟	237.9	183.1	34.8
(コシヒカリ一般)	131.4	100.6	15.7
(コシヒカリ魚沼)	21.0	13.4	4.1
(コシヒカリ岩船)	11.8	10.4	1.7
(コシヒカリ佐渡)	12.5	12.7	2.5
(こしいぶき)	39.7	30.9	6.4
富山	95.9	42.7	18.0
(コシヒカリ)	80.7	35.2	15.0
(てんたかく)	8.5	4.6	2.0
石川	32.5	15.8	1.2
(コシヒカリ)	22.2	9.8	0.9
(ゆめみづほ)	7.8	5.0	0.1
福井	56.4	21.0	13.2
(コシヒカリ)	25.7	7.1	4.3
(ハナエチゼン)	17.6	6.9	5.6
岐阜	13.1	12.0	3.2
(ハツシモ)	1.8	4.8	0.5
(コシヒカリ)	5.3	3.0	0.7
(あきたこまち)	2.3	1.8	1.3
愛知	20.5	25.8	4.5
(あいちのかおり)	6.0	12.1	0.9
(コシヒカリ)	10.9	9.7	2.3
(大地の風)	0.4	1.2	0.2
三重	26.9	17.8	4.3
(コシヒカリ一般)	15.5	10.0	2.2
(コシヒカリ伊賀)	5.2	3.9	0.8
(キヌヒカリ)	2.6	1.0	0.3
滋賀	39.6	51.8	9.1
(コシヒカリ)	15.2	19.5	4.1
(キヌヒカリ)	7.8	10.9	1.6
(日本晴)	3.4	4.8	0.4
京都	8.5	8.7	1.6
(コシヒカリ)	5.7	4.4	1.0
(キヌヒカリ)	1.9	2.8	0.3
大阪	-	-	-
兵庫	28.0	17.8	5.0
(コシヒカリ)	12.4	2.5	2.0
(ヒノヒカリ)	1.6	0.3	0.2
(キヌヒカリ)	4.9	0.8	0.6
奈良	5.8	5.8	0.6
(ヒノヒカリ)	4.0	4.0	0.4
(コシヒカリ)	0.5	0.5	0.1
和歌山	1.6	1.6	0.1
鳥取	12.5	7.2	2.8
(ひとめぼれ)	4.5	3.4	1.1
(コシヒカリ)	5.0	2.4	1.3
(きぬむすめ)	2.7	1.3	0.3
島根	22.9	21.1	3.9
(コシヒカリ)	12.4	9.5	2.0
(きぬむすめ)	6.8	6.7	0.4
(ハナエチゼン)	1.2	1.2	0.7

	集荷数量	契約数量	販売数量
	(玄米千ト)	(玄米千ト)	(玄米千ト)
岡山	3.5	9.5	1.2
(アケボノ)	0.0	0.7	0.0
(あきたこまち)	1.2	1.2	0.4
(ヒノヒカリ)	0.3	0.3	0.0
広島	31.0	28.8	4.2
(コシヒカリ)	14.4	13.2	2.2
(あきろまん)	3.5	4.0	0.3
(ヒノヒカリ)	2.3	2.4	0.1
山口	27.3	23.1	2.5
(コシヒカリ)	9.0	8.0	1.6
(ひとめぼれ)	7.7	5.4	0.6
(ヒノヒカリ)	4.9	5.4	0.2
徳島	5.2	1.9	1.4
(コシヒカリ)	3.2	1.3	1.0
(キヌヒカリ)	1.4	0.4	0.1
香川	13.8	12.2	1.8
(ヒノヒカリ)	3.7	5.9	0.5
(コシヒカリ)	7.1	3.9	1.1
愛媛	7.4	1.9	1.6
(コシヒカリ)	4.0	1.1	1.0
(ヒノヒカリ)	0.7	0.2	0.1
(あきたこまち)	1.4	0.3	0.3
高知	5.9	2.5	2.3
(コシヒカリ)	4.7	1.6	1.6
(ヒノヒカリ)	0.1	0.0	0.0
福岡	16.1	29.5	3.5
(夢つくし)	9.7	9.9	2.2
(ヒノヒカリ)	1.4	8.3	0.2
(元気つくし)	3.7	9.8	0.8
佐賀	23.7	25.9	3.2
(夢しずく)	9.6	8.5	1.2
(さがびより)	2.1	7.6	0.2
(ヒノヒカリ)	7.3	6.4	0.3
長崎	5.4	0.7	0.7
(にこまる)	1.2	0.0	0.0
(ヒノヒカリ)	1.9	0.1	0.1
(コシヒカリ)	1.5	0.4	0.4
熊本	17.1	26.4	4.4
(ヒノヒカリ)	6.7	8.8	0.8
(森のくまさん)	1.9	5.0	0.2
(コシヒカリ)	5.0	7.1	2.3
大分	5.7	2.2	0.9
(ヒノヒカリ)	3.6	1.3	0.2
(ひとめぼれ)	0.3	0.1	0.1
宮崎	11.3	11.3	9.7
(コシヒカリ)	8.8	8.8	8.8
(ヒノヒカリ)	2.1	2.1	0.6
鹿児島	9.1	9.1	5.8
(ヒノヒカリ)	4.0	4.0	0.9
(コシヒカリ)	3.2	3.2	3.2
(あきほなみ)	0.2	0.2	0.0
沖縄	1.4	1.4	1.3
全国①	2,165	1,503	310
参考 前年同月(26年産)②	2,398	1,257	325
参考 前年同月差(①-②)	▲233	246	▲15

平成27年産米の事前契約数量は、前年産に比べ11万トン多い114万トン。

〔事前契約数量は、複数年契約、は種前契約、収穫前契約といった米の収穫時期の前にあらかじめ契約されたものをいいます。〕

(2) 産地別事前契約数量

平成24から27年産米の産地別事前契約数量（累計、うるち米、平成27年10月末現在）（速報）

27年産米の「事前契約比率」(集荷数量に対する事前契約数量の比率)については、集荷が一定程度進んだ段階で掲載します。

単位：玄米千トン

	24年産			25年産			26年産			27年産(平成27年10月末現在)	
	集荷数量 ①	うち事前契約分 ②	事前契約比率 ②/①	集荷数量 ③	うち事前契約分 ④	事前契約比率 ④/③	集荷数量 ⑤	うち事前契約分 ⑥	事前契約比率 ⑥/⑤	集荷数量 ⑦	事前契約数量 ⑧
北海道	407.4	226.1	56%	389.9	167.0	43%	398.0	161.0	40%	244.2	145.8
青森	123.6	43.3	35%	165.1	46.9	28%	169.6	26.1	15%	94.5	45.8
岩手	163.3	85.3	52%	148.8	82.3	55%	150.2	47.7	32%	109.3	70.9
宮城	203.8	105.6	52%	196.2	141.7	72%	216.3	111.3	51%	129.5	106.6
秋田	297.7	148.7	50%	319.5	102.6	32%	303.9	68.5	23%	182.9	79.5
山形	235.0	75.5	32%	259.0	56.9	22%	242.7	52.8	22%	155.2	30.6
福島	157.4	50.4	32%	173.9	27.9	16%	153.3	20.0	13%	98.7	35.1
茨城	98.0	60.1	61%	107.8	39.0	36%	109.8	46.0	42%	64.3	53.2
栃木	164.7	59.0	36%	191.8	43.1	22%	184.0	36.8	20%	117.0	61.2
群馬	27.9	-	-	26.9	-	-	26.3	-	-	4.4	-
埼玉	19.7	6.7	34%	23.1	5.9	25%	28.5	3.2	11%	13.5	5.8
千葉	104.9	33.6	32%	111.0	20.0	18%	123.8	31.3	25%	89.5	37.6
東京	-	-	-	0.0	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	2.2	-	-	2.1	-	-	2.4	-	-	2.4	-
山梨	6.1	-	-	6.3	-	-	5.9	-	-	3.9	-
長野	74.8	39.1	52%	77.8	42.0	54%	69.9	22.0	31%	45.0	21.4
静岡	9.6	-	-	7.9	-	-	10.2	-	-	8.7	-
新潟	345.0	190.8	55%	306.0	144.4	47%	292.4	122.3	42%	237.9	141.6
富山	103.0	48.3	47%	111.6	53.8	48%	111.6	36.2	32%	95.9	29.5
石川	38.2	31.1	82%	38.2	29.4	77%	36.6	14.2	39%	32.5	11.9
福井	71.7	41.9	58%	72.0	56.3	78%	65.2	7.8	12%	56.4	7.2
岐阜	38.9	18.8	48%	39.6	17.0	43%	34.4	15.3	44%	13.1	9.6
愛知	40.3	7.9	20%	43.5	7.8	18%	41.1	-	-	20.5	10.6
三重	31.0	19.1	62%	39.0	20.0	51%	31.3	15.9	51%	26.9	17.4
滋賀	73.2	41.7	57%	77.2	40.6	53%	67.2	25.7	38%	39.6	38.7
京都	17.7	10.6	60%	17.3	8.0	46%	15.5	7.2	47%	8.5	6.1
大阪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫	42.4	-	-	42.6	-	-	41.1	-	-	28.0	-
奈良	8.4	-	-	8.6	-	-	9.7	-	-	5.8	-
和歌山	1.4	1.4	98%	1.3	1.3	98%	1.4	1.4	99%	1.6	1.5
鳥取	29.3	7.5	25%	29.0	10.6	37%	27.0	6.9	25%	12.5	5.7
島根	48.2	19.9	41%	39.3	21.8	56%	43.5	11.3	26%	22.9	18.8
岡山	31.5	-	-	31.9	-	-	30.1	10.0	33%	3.5	-
広島	45.3	-	-	41.6	1.9	5%	36.9	1.9	5%	31.0	24.5
山口	47.1	22.1	47%	42.9	22.9	53%	37.0	20.5	55%	27.3	22.9
徳島	15.0	-	-	14.3	-	-	10.3	-	-	5.2	-
香川	32.1	19.3	60%	31.7	19.1	60%	28.3	13.2	46%	13.8	12.2
愛媛	15.6	-	-	15.2	-	-	14.6	-	-	7.4	-
高知	9.2	-	-	8.8	-	-	7.6	-	-	5.9	1.2
福岡	54.1	23.7	44%	54.2	25.7	47%	56.9	25.0	44%	16.1	26.8
佐賀	42.4	20.4	48%	37.8	23.8	63%	42.7	23.8	56%	23.7	24.3
長崎	11.2	-	-	11.6	-	-	10.9	-	-	5.4	-
熊本	49.1	25.7	52%	49.3	23.9	48%	45.1	22.9	51%	17.1	23.3
大分	18.0	1.1	6%	18.6	1.6	9%	17.9	1.0	5%	5.7	0.2
宮崎	23.0	19.8	86%	22.4	18.7	84%	20.8	14.7	71%	11.3	9.3
鹿児島	19.8	-	-	21.9	-	-	19.0	-	-	9.1	-
沖縄	1.7	-	-	1.7	-	-	1.7	-	-	1.4	-
全 国	3,400	1,507	44%	3,516	1,324	38%	3,436	1,024	30%	2,165	1,137

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 報告対象米穀は、水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）である。

3 24年産は、25年産の報告対象業者から26年2月末時点で聞き取った数量、25年産は26年10月末時点、26年産及び27年産は27年9月末時点の数量である。

4 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。

5 事前契約分とは、3の集荷数量のうち、は種前・収穫前契約及び複数年の契約による数量（確認書等により数量のみが決定した契約を含む。）である。

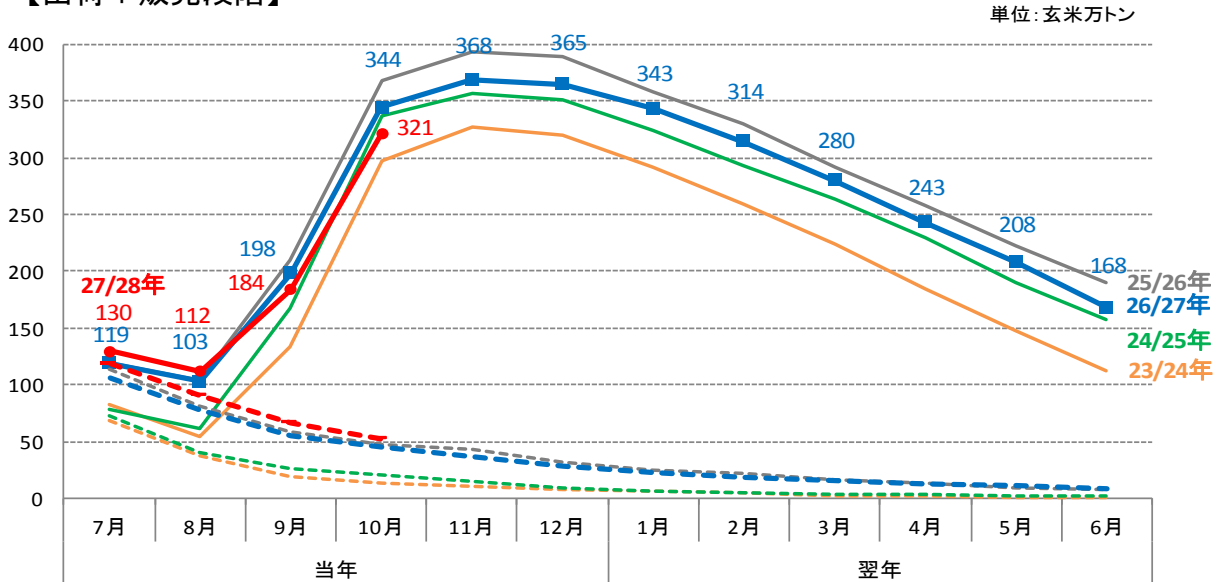
6 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

7 「-」は、集荷数量や事前契約に該当がないもの。

- 平成27年10月末の出荷及び販売段階における民間在庫は、前年同月より▲23万トン少ない321万トン。
- 平成21年以降の10月末では、平成23年に次ぐ低い水準。

3 在庫情報

(1) 全国段階の民間在庫の推移（うるち米、平成21年7月末～平成27年10月末）（速報） 【出荷＋販売段階】



注：グラフ中の実線は総在庫数量。破線は1年古米在庫数量である。

【出荷＋販売段階】

(単位：玄米万トン)

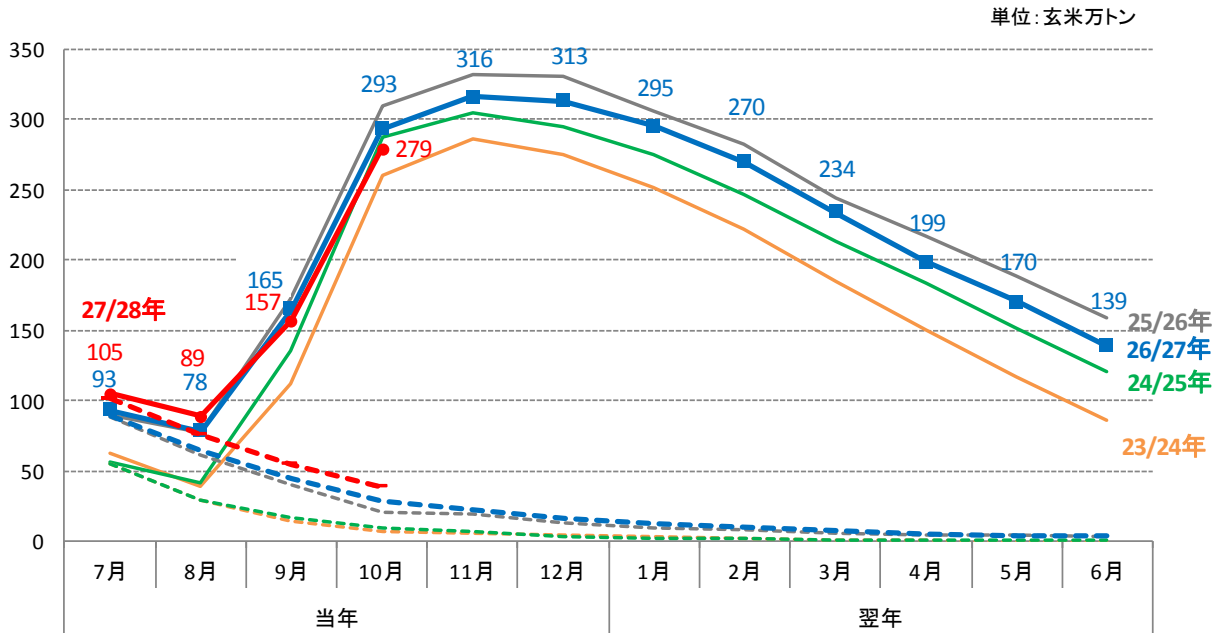
	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
21/22年	113	93	164	349	380	372	347	320	267	228	191	154
対前年差	+47	+44	+30	+24	+29	+26	+25	+26	+10	+7	▲4	+6
21年産米	2	14	107	297	333	335	316	293	246	213	180	146
1年古米(20年産)	106	76	52	42	35	27	22	18	12	8	6	4
22/23年	118	102	212	351	372	363	339	304	238	200	156	118
対前年差	+5	+9	+48	+1	▲8	▲8	▲8	▲15	▲29	▲29	▲34	▲36
22年産米	0	16	145	290	314	315	297	268	208	174	135	99
1年古米(21年産)	112	81	60	52	49	41	35	29	24	20	16	13
23/24年	83	55	134	298	327	320	291	259	224	185	147	113
対前年差	▲36	▲47	▲78	▲53	▲46	▲43	▲48	▲46	▲14	▲14	▲9	▲5
23年産米	0	8	106	273	304	300	275	246	214	177	141	108
1年古米(22年産)	69	37	19	13	11	8	6	5	2	2	1	1
24/25年	78	62	167	337	357	351	324	293	264	229	190	157
対前年差	▲5	+8	+33	+39	+30	+30	+33	+34	+40	+43	+43	+44
24年産米	0	16	135	306	331	331	307	279	252	219	182	150
1年古米(23年産)	73	41	26	20	15	9	7	5	4	3	2	2
25/26年	120	104	210	368	393	389	358	330	291	258	223	190
対前年差	+42	+42	+43	+32	+36	+39	+34	+36	+27	+29	+33	+33
25年産米	1	19	145	310	337	345	320	297	264	236	205	175
1年古米(24年産)	114	82	59	47	43	32	25	22	17	13	10	8
26/27年	(注7) 119	103	198	344	368	365	343	314	280	243	208	168
対前年差	▲1	▲2	▲12	▲24	▲25	▲24	▲15	▲16	▲11	▲15	▲15	▲21
26年産米	0	14	131	285	316	323	306	283	255	220	188	155
1年古米(25年産)	106	78	55	45	37	28	23	19	15	13	11	9
27/28年	130	112	184	321								
対前年差	+11	+9	▲13	▲23								
27年産米	0	13	112	261								
1年古米(26年産)	119	90	66	52								

資料：農林水産省「米麦の出荷又は販売の事業を行う者等の流通状況調査」

- 注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上若しくは年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。
 4 期間については、27/28年であれば、27年7月～28年6月である。
 5 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、当該年産米と1年古米の計と一致しない。
 6 26年産米は、政府備蓄米を含まない。それ以前の年産は、政府による買入までの間の政府備蓄米を含む。
 7 米穀機構の25年産買入数量（35万トン）は、26/27年7月以降の在庫に含まれていない。

- 平成27年10月末の出荷段階における民間在庫は、前年同月より▲15万トン少ない279万トン。
- 平成21年以降の10月末では、平成23年に次ぐ低い水準。

【出荷段階】



注：グラフ中の実線は総在庫数量。破線は1年古米在庫数量である。

【出荷段階】

(単位：玄米万トン)

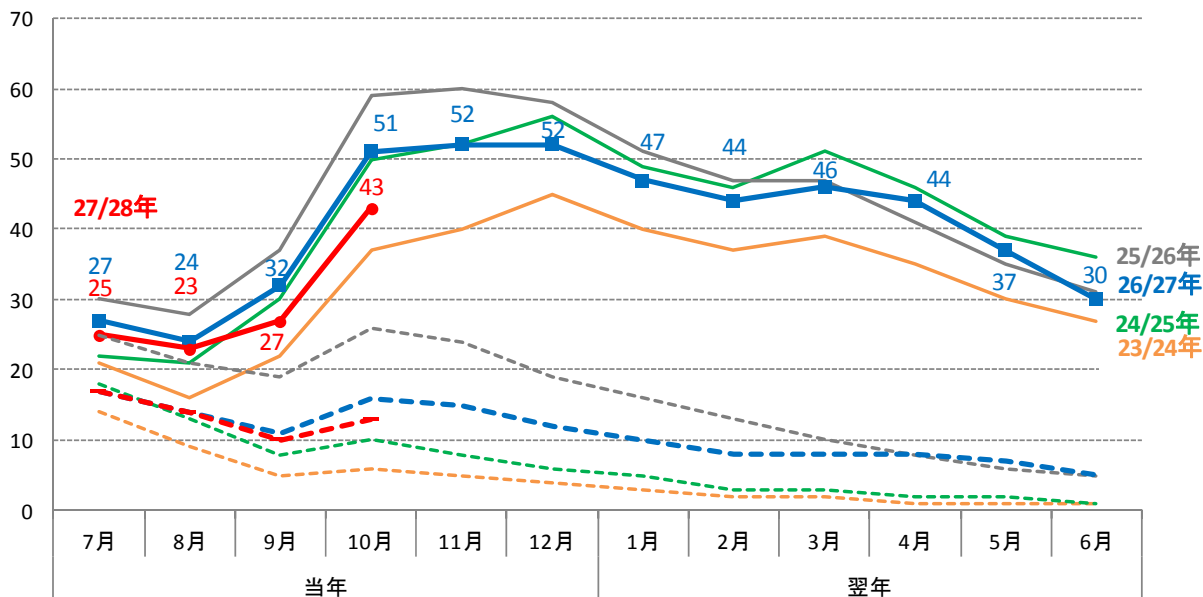
	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
21/22年	91	73	133	299	328	321	303	279	232	197	165	132
対前年差	+44	+41	+22	+14	+20	+25	+26	+28	+18	+15	+2	+11
21年産米	1	11	96	275	309	308	291	271	225	191	162	130
1年古米(20年産)	90	61	36	21	15	11	9	7	5	3	2	2
22/23年	100	85	187	311	329	321	301	268	201	164	128	92
対前年差	+9	+12	+54	+12	+1	±0	▲1	▲11	▲31	▲32	▲37	▲40
22年産米	0	13	134	271	294	291	276	247	184	151	117	82
1年古米(21年産)	99	70	51	37	34	28	23	20	16	13	11	8
23/24年	62	39	112	260	286	275	252	222	185	150	117	86
対前年差	▲38	▲46	▲75	▲50	▲43	▲45	▲49	▲46	▲16	▲15	▲11	▲6
23年産米	0	5	94	249	276	266	245	217	182	148	116	85
1年古米(22年産)	55	29	14	7	6	4	3	2	1	1	0	0
24/25年	56	41	136	287	305	295	275	247	213	183	151	121
対前年差	▲6	+2	+24	+26	+19	+20	+23	+25	+28	+33	+34	+35
24年産米	0	12	118	274	296	290	271	243	210	181	150	120
1年古米(23年産)	55	29	17	10	7	3	2	2	1	1	1	1
25/26年	90	77	173	309	332	331	306	282	244	217	188	159
対前年差	+34	+35	+37	+23	+27	+36	+31	+35	+31	+34	+37	+38
25年産米	1	16	132	285	310	316	294	271	236	210	183	155
1年古米(24年産)	89	61	40	21	19	13	10	8	6	5	4	3
26/27年	93	78	165	293	316	313	295	270	234	199	170	139
対前年差	+2	+2	▲8	▲16	▲17	▲18	▲11	▲12	▲10	▲18	▲18	▲20
26年産米	0	12	119	261	289	293	280	257	225	192	165	134
1年古米(25年産)	89	64	44	29	22	16	13	10	7	5	4	4
27/28年	105	89	157	279								
対前年差	+12	+11	▲8	▲15								
27年産米	0	11	100	237								
1年古米(26年産)	101	76	55	39								

※本表の注意点は前頁の出荷＋販売段階の脚注を参照

平成27年10月末の販売段階における民間在庫は、前年同月より▲8万トン少ない43万トン。

【販売段階】

単位：玄米万トン



注：グラフ中の実線は総在庫数量。破線は1年古米在庫数量である。

【販売段階】

(単位：玄米万トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
21/22年	22	20	31	51	52	51	45	40	35	32	26	22
対前年差	▲3	+4	+8	+10	+9	+1	±0	▲2	▲8	▲7	▲6	▲5
21年産米	0	3	11	22	24	27	24	23	22	22	18	16
1年古米(20年産)	17	14	16	21	20	15	13	11	7	5	4	3
22/23年	18	17	25	40	43	43	38	36	37	35	28	26
対前年差	▲3	▲3	▲6	▲11	▲9	▲8	-▲7	▲4	+2	+3	+3	+4
22年産米	0	3	12	19	21	23	21	22	24	23	19	17
1年古米(21年産)	14	11	9	15	16	13	11	9	8	8	6	5
23/24年	21	16	22	37	40	45	40	37	39	35	30	27
対前年差	+2	▲1	▲3	▲3	▲3	+2	+2	+1	+2	±0	+2	+1
23年産米	0	3	13	24	28	34	30	29	32	30	25	23
1年古米(22年産)	14	9	5	6	5	4	3	2	2	1	1	1
24/25年	22	21	30	50	52	56	49	46	51	46	39	36
対前年差	+1	+5	+8	+13	+11	+11	+9	+9	+12	+10	+8	+9
24年産米	0	4	17	32	35	41	37	36	42	38	32	31
1年古米(23年産)	18	13	8	10	8	6	5	3	3	2	2	1
25/26年	30	28	37	59	60	58	51	47	47	41	35	31
対前年差	+8	+7	+6	+9	+9	+3	+2	+1	▲4	▲4	▲4	▲5
25年産米	0	3	13	25	27	29	27	25	28	26	21	20
1年古米(24年産)	25	21	19	26	24	19	16	13	10	8	6	5
26/27年	27	24	32	51	52	52	47	44	46	44	37	30
対前年差	▲3	▲3	▲4	▲8	▲8	▲6	▲4	▲4	▲1	+3	+3	▲1
26年産米	0	3	13	24	26	30	27	26	29	29	24	21
1年古米(25年産)	17	14	11	16	15	12	10	8	8	8	7	5
27/28年	25	23	27	43								
対前年差	▲2	▲2	▲5	▲8								
27年産米	0	2	11	24								
1年古米(26年産)	17	14	10	13								

※本表の注意点は前々頁の出荷+販売段階の脚注を参照

(2) 26・27年産の産地別民間在庫の推移 (うるち米、平成27年7月末から平成27年10月末) (速報)

(北海道から秋田)

(単位: 玄米千トン)

		27年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
北海道	出荷+販売段階	124.8	91.8	119.3	326.9								
	27年産米	0.0	0.0	58.7	277.6								
	1年古米(26年産)	122.8	90.4	59.6	48.5								
	出荷段階	96.2	67.8	94.9	269.6								
	27年産米	0.0	0.0	51.1	239.9								
	1年古米(26年産)	95.6	67.5	43.5	29.6								
	販売段階	28.6	24.0	24.5	57.3								
	27年産米	0.0	0.0	7.5	37.7								
	1年古米(26年産)	27.2	22.9	16.1	18.9								
青森	出荷+販売段階	71.6	54.7	64.5	144.3								
	27年産米	0.0	0.0	25.4	116.6								
	1年古米(26年産)	69.5	53.1	38.0	26.8								
	出荷段階	56.6	43.4	55.4	130.0								
	27年産米	0.0	0.0	24.9	110.5								
	1年古米(26年産)	56.6	43.3	30.5	19.4								
	販売段階	14.9	11.3	9.1	14.4								
	27年産米	0.0	0.0	0.5	6.0								
	1年古米(26年産)	12.9	9.8	7.5	7.4								
岩手	出荷+販売段階	57.6	44.3	42.7	142.4								
	27年産米	0.0	0.0	9.9	115.0								
	1年古米(26年産)	56.2	43.4	32.4	27.0								
	出荷段階	51.7	39.6	39.0	132.0								
	27年産米	0.0	0.0	9.4	108.9								
	1年古米(26年産)	51.4	39.4	29.4	22.9								
	販売段階	5.9	4.7	3.7	10.4								
	27年産米	0.0	0.0	0.4	6.1								
	1年古米(26年産)	4.8	4.0	3.0	4.1								
宮城	出荷+販売段階	113.9	95.8	123.2	214.6								
	27年産米	0.0	0.0	46.3	146.9								
	1年古米(26年産)	110.2	93.4	75.3	66.3								
	出荷段階	99.9	85.2	113.9	198.2								
	27年産米	0.0	0.0	44.8	140.4								
	1年古米(26年産)	99.4	84.8	68.8	57.6								
	販売段階	14.0	10.7	9.3	16.4								
	27年産米	0.0	0.0	1.5	6.5								
	1年古米(26年産)	10.8	8.6	6.5	8.8								
秋田	出荷+販売段階	129.8	99.6	144.7	284.5								
	27年産米	0.0	0.0	70.1	221.8								
	1年古米(26年産)	104.8	81.1	60.5	52.1								
	出荷段階	110.7	83.8	130.3	264.5								
	27年産米	0.0	0.0	68.3	212.5								
	1年古米(26年産)	93.6	72.1	53.7	46.2								
	販売段階	19.2	15.7	14.5	19.9								
	27年産米	0.0	0.0	1.8	9.2								
	1年古米(26年産)	11.2	9.0	6.9	5.9								

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上若しくは年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。
 4 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、26年産米と1年古米（26年産）の合計と一致しない場合がある。

(お知らせ)

平成26年2月から同6月までの産地別民間在庫の推移については、農林水産省ホームページに掲載しています。
 (ホーム > 組織・政策 > 政策統括官 > 米(稲)・麦・大豆 > 米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等)
<http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

(山形から埼玉)

(単位: 玄米千トン)

		27年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
山形	出荷+販売段階	109.3	87.7	102.4	228.9								
	27年産米	0.0	0.0	32.7	173.6								
	1年古米(26年産)	104.9	84.2	66.6	52.7								
	出荷段階	96.9	77.9	93.1	213.6								
	27年産米	0.0	0.0	31.8	165.9								
	1年古米(26年産)	95.8	77.1	60.6	47.4								
	販売段階	12.4	9.9	9.3	15.3								
	27年産米	0.0	0.0	0.8	7.7								
	1年古米(26年産)	9.1	7.1	6.0	5.4								
福島	出荷+販売段階	60.5	42.3	42.9	173.6								
	27年産米	0.0	0.1	13.8	144.3								
	1年古米(26年産)	58.4	40.7	28.1	28.6								
	出荷段階	47.9	32.2	33.7	146.6								
	27年産米	0.0	0.0	12.6	132.6								
	1年古米(26年産)	47.1	31.6	21.0	13.9								
	販売段階	12.6	10.1	9.2	27.1								
	27年産米	0.0	0.0	1.3	11.7								
	1年古米(26年産)	11.2	9.1	7.2	14.8								
茨城	出荷+販売段階	51.4	53.4	128.8	138.1								
	27年産米	0.0	16.3	99.8	121.1								
	1年古米(26年産)	46.0	32.6	24.8	13.6								
	出荷段階	33.3	33.9	92.4	100.3								
	27年産米	0.0	9.9	75.9	93.4								
	1年古米(26年産)	33.2	23.9	16.4	6.9								
	販売段階	18.1	19.5	36.4	37.9								
	27年産米	0.0	6.4	23.9	27.8								
	1年古米(26年産)	12.8	8.7	8.4	6.7								
栃木	出荷+販売段階	94.4	77.6	135.8	168.7								
	27年産米	0.0	0.0	76.2	123.4								
	1年古米(26年産)	87.6	72.7	56.8	43.8								
	出荷段階	81.3	67.3	123.0	150.6								
	27年産米	0.0	0.0	70.8	112.7								
	1年古米(26年産)	78.4	65.2	51.3	37.4								
	販売段階	13.1	10.2	12.8	18.1								
	27年産米	0.0	0.0	5.4	10.7								
	1年古米(26年産)	9.3	7.5	5.6	6.3								
群馬	出荷+販売段階	12.4	10.1	8.4	10.5								
	27年産米	0.0	0.0	0.5	4.7								
	1年古米(26年産)	11.0	9.0	7.0	5.1								
	出荷段階	9.8	6.6	5.4	7.6								
	27年産米	0.0	0.0	0.4	4.4								
	1年古米(26年産)	9.0	6.6	5.0	3.2								
	販売段階	2.6	3.5	3.0	2.9								
	27年産米	0.0	0.0	0.1	0.3								
	1年古米(26年産)	2.0	2.4	2.0	1.9								
埼玉	出荷+販売段階	15.6	12.6	16.3	28.4								
	27年産米	0.0	0.4	7.0	19.4								
	1年古米(26年産)	15.5	12.2	9.3	9.0								
	出荷段階	14.1	11.1	14.4	23.4								
	27年産米	0.0	0.1	6.2	16.8								
	1年古米(26年産)	14.1	11.0	8.2	6.6								
	販売段階	1.5	1.5	1.9	5.0								
	27年産米	0.0	0.3	0.8	2.6								
	1年古米(26年産)	1.4	1.2	1.1	2.4								

注: 本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

(千葉から静岡)

(単位:玄米千トン)

		27年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
千葉	出荷+販売段階	36.3	89.8	150.9	143.9								
	27年産米	0.0	61.9	127.9	124.9								
	1年古米(26年産)	35.1	27.5	22.6	18.6								
	出荷段階	30.6	82.1	139.7	132.1								
	27年産米	0.0	58.5	119.8	116.7								
	1年古米(26年産)	30.2	23.4	19.8	15.3								
	販売段階	5.7	7.8	11.1	11.8								
	27年産米	0.0	3.4	8.1	8.2								
	1年古米(26年産)	4.8	4.0	2.7	3.3								
東京	出荷+販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0								
	27年産米	0.0	0.0	0.0	0.0								
	1年古米(26年産)	0.0	0.0	0.0	0.0								
	出荷段階	0.0	0.0	0.0	0.0								
	27年産米	0.0	0.0	0.0	0.0								
	1年古米(26年産)	0.0	0.0	0.0	0.0								
	販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0								
	27年産米	0.0	0.0	0.0	0.0								
	1年古米(26年産)	0.0	0.0	0.0	0.0								
神奈川	出荷+販売段階	0.4	0.3	0.4	2.9								
	27年産米	0.0	0.0	0.3	2.9								
	1年古米(26年産)	0.4	0.3	0.0	0.0								
	出荷段階	0.4	0.3	0.4	2.9								
	27年産米	0.0	0.0	0.3	2.9								
	1年古米(26年産)	0.4	0.3	0.0	0.0								
	販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0								
	27年産米	0.0	0.0	0.0	0.0								
	1年古米(26年産)	0.0	0.0	0.0	0.0								
山梨	出荷+販売段階	2.2	1.7	1.6	4.7								
	27年産米	0.0	0.0	0.4	3.7								
	1年古米(26年産)	2.1	1.6	1.2	0.9								
	出荷段階	1.9	1.5	1.4	4.3								
	27年産米	0.0	0.0	0.4	3.5								
	1年古米(26年産)	1.9	1.4	1.0	0.8								
	販売段階	0.3	0.3	0.2	0.3								
	27年産米	0.0	0.0	0.0	0.2								
	1年古米(26年産)	0.3	0.2	0.2	0.1								
長野	出荷+販売段階	21.5	14.9	23.1	58.3								
	27年産米	0.0	0.0	14.2	52.2								
	1年古米(26年産)	21.0	14.5	8.6	5.9								
	出荷段階	18.0	11.8	20.4	53.5								
	27年産米	0.0	0.0	13.6	49.1								
	1年古米(26年産)	17.8	11.7	6.8	4.3								
	販売段階	3.6	3.1	2.7	4.8								
	27年産米	0.0	0.0	0.7	3.1								
	1年古米(26年産)	3.2	2.8	1.8	1.6								
静岡	出荷+販売段階	2.7	4.0	13.2	17.8								
	27年産米	0.0	2.3	12.2	17.2								
	1年古米(26年産)	2.5	1.6	0.8	0.4								
	出荷段階	1.9	2.6	9.1	13.0								
	27年産米	0.0	1.4	8.5	12.9								
	1年古米(26年産)	1.9	1.2	0.6	0.1								
	販売段階	0.8	1.4	4.1	4.8								
	27年産米	0.0	0.9	3.7	4.3								
	1年古米(26年産)	0.6	0.4	0.2	0.3								

注: 本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

(新潟から愛知)

(単位:玄米千トン)

		27年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
新潟	出荷+販売段階	67.5	43.7	187.8	287.7								
	27年産米	0.0	0.4	161.4	264.8								
	1年古米(26年産)	66.0	42.1	25.5	22.2								
	出荷段階	57.8	34.7	174.8	265.8								
	27年産米	0.0	0.3	152.9	249.1								
	1年古米(26年産)	56.8	33.5	21.2	16.3								
	販売段階	9.7	9.0	13.0	21.9								
	27年産米	0.0	0.0	8.4	15.7								
	1年古米(26年産)	9.2	8.6	4.2	5.9								
富山	出荷+販売段階	22.6	16.4	72.2	104.6								
	27年産米	0.0	0.6	61.2	96.0								
	1年古米(26年産)	21.8	15.1	10.6	8.3								
	出荷段階	18.6	12.2	66.8	96.9								
	27年産米	0.0	0.4	58.1	91.6								
	1年古米(26年産)	18.5	11.8	8.7	5.3								
	販売段階	4.1	4.2	5.4	7.7								
	27年産米	0.0	0.3	3.1	4.5								
	1年古米(26年産)	3.2	3.3	1.9	2.9								
石川	出荷+販売段階	19.9	18.1	61.7	72.0								
	27年産米	0.0	3.6	50.4	63.2								
	1年古米(26年産)	19.3	14.1	11.0	8.5								
	出荷段階	17.0	15.2	44.6	52.3								
	27年産米	0.0	2.5	34.8	45.2								
	1年古米(26年産)	16.8	12.5	9.7	7.0								
	販売段階	2.8	2.9	17.1	19.6								
	27年産米	0.0	1.1	15.6	18.0								
	1年古米(26年産)	2.5	1.6	1.3	1.5								
福井	出荷+販売段階	15.4	14.1	42.1	63.4								
	27年産米	0.0	2.3	33.0	56.1								
	1年古米(26年産)	14.5	11.1	8.7	7.0								
	出荷段階	11.6	10.4	36.9	56.0								
	27年産米	0.0	1.4	29.4	50.4								
	1年古米(26年産)	11.6	8.9	7.5	5.6								
	販売段階	3.7	3.7	5.3	7.4								
	27年産米	0.0	0.9	3.6	5.7								
	1年古米(26年産)	2.9	2.2	1.2	1.4								
岐阜	出荷+販売段階	16.4	15.4	15.3	20.4								
	27年産米	0.0	1.8	4.4	11.8								
	1年古米(26年産)	14.6	12.1	9.5	7.4								
	出荷段階	13.4	12.7	12.3	16.5								
	27年産米	0.0	1.6	3.8	10.0								
	1年古米(26年産)	13.0	10.9	8.5	6.5								
	販売段階	3.0	2.7	3.0	3.9								
	27年産米	0.0	0.2	0.6	1.8								
	1年古米(26年産)	1.6	1.2	1.0	0.9								
愛知	出荷+販売段階	15.5	13.3	16.4	26.7								
	27年産米	0.0	1.8	8.3	20.8								
	1年古米(26年産)	14.3	10.8	7.6	5.5								
	出荷段階	13.3	11.3	14.3	23.6								
	27年産米	0.0	1.4	7.2	18.5								
	1年古米(26年産)	13.0	9.6	6.8	5.0								
	販売段階	2.2	2.1	2.1	3.1								
	27年産米	0.0	0.4	1.1	2.3								
	1年古米(26年産)	1.3	1.2	0.7	0.6								

注: 本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

(三重から奈良)

(単位:玄米千トン)

		27年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
三重	出荷+販売段階	7.7	14.7	38.3	43.9								
	27年産米	0.0	9.3	34.1	40.1								
	1年古米(26年産)	7.6	5.3	4.1	3.7								
	出荷段階	6.2	12.2	35.3	40.5								
	27年産米	0.0	7.9	31.8	37.9								
	1年古米(26年産)	6.2	4.4	3.5	2.6								
	販売段階	1.5	2.5	3.1	3.5								
	27年産米	0.0	1.4	2.3	2.2								
	1年古米(26年産)	1.4	0.9	0.6	1.1								
滋賀	出荷+販売段階	18.5	15.2	53.9	59.7								
	27年産米	0.0	2.1	45.0	54.2								
	1年古米(26年産)	16.8	12.0	8.1	4.9								
	出荷段階	15.3	12.1	50.4	55.1								
	27年産米	0.0	1.9	43.5	51.3								
	1年古米(26年産)	14.7	9.7	6.6	3.5								
	販売段階	3.2	3.2	3.5	4.6								
	27年産米	0.0	0.1	1.5	2.8								
	1年古米(26年産)	2.2	2.2	1.4	1.3								
京都	出荷+販売段階	4.6	3.5	8.0	12.1								
	27年産米	0.0	0.0	5.6	10.7								
	1年古米(26年産)	4.6	3.4	2.3	1.4								
	出荷段階	4.0	3.0	7.2	9.8								
	27年産米	0.0	0.0	5.2	9.7								
	1年古米(26年産)	4.0	3.0	2.0	0.1								
	販売段階	0.7	0.5	0.8	2.4								
	27年産米	0.0	0.0	0.4	1.0								
	1年古米(26年産)	0.6	0.4	0.3	1.3								
大阪	出荷+販売段階	0.6	0.5	0.6	1.0								
	27年産米	0.0	0.0	0.3	0.8								
	1年古米(26年産)	0.6	0.5	0.3	0.2								
	出荷段階	0.5	0.3	0.4	0.9								
	27年産米	0.0	0.0	0.3	0.7								
	1年古米(26年産)	0.5	0.3	0.2	0.1								
	販売段階	0.1	0.2	0.1	0.1								
	27年産米	0.0	0.0	0.0	0.0								
	1年古米(26年産)	0.1	0.2	0.1	0.1								
兵庫	出荷+販売段階	10.6	7.6	20.6	33.3								
	27年産米	0.0	0.0	15.7	31.9								
	1年古米(26年産)	10.4	7.4	4.7	1.3								
	出荷段階	8.9	5.9	18.4	29.8								
	27年産米	0.0	0.0	14.8	29.8								
	1年古米(26年産)	8.9	5.9	3.6	0.0								
	販売段階	1.7	1.7	2.3	3.5								
	27年産米	0.0	0.0	1.0	2.2								
	1年古米(26年産)	1.5	1.5	1.1	1.2								
奈良	出荷+販売段階	2.5	1.7	1.7	6.5								
	27年産米	0.0	0.0	0.8	6.1								
	1年古米(26年産)	2.3	1.5	0.8	0.4								
	出荷段階	2.1	1.3	1.3	5.4								
	27年産米	0.0	0.0	0.8	5.2								
	1年古米(26年産)	2.1	1.3	0.5	0.2								
	販売段階	0.4	0.4	0.4	1.2								
	27年産米	0.0	0.0	0.1	0.9								
	1年古米(26年産)	0.3	0.2	0.2	0.2								

注: 本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

(和歌山から山口)

(単位:玄米千トン)

		27年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
和歌山	出荷+販売段階	1.0	0.8	1.4	2.1								
	27年産米	0.0	0.0	0.8	1.6								
	1年古米(26年産)	0.8	0.6	0.5	0.4								
	出荷段階	0.5	0.4	1.0	1.7								
	27年産米	0.0	0.0	0.8	1.4								
	1年古米(26年産)	0.5	0.4	0.3	0.3								
	販売段階	0.5	0.4	0.4	0.5								
	27年産米	0.0	0.0	0.0	0.2								
	1年古米(26年産)	0.3	0.2	0.2	0.1								
鳥取	出荷+販売段階	10.2	7.3	8.8	20.8								
	27年産米	0.0	0.0	4.7	17.8								
	1年古米(26年産)	9.5	6.8	3.7	2.6								
	出荷段階	7.8	5.2	6.9	17.9								
	27年産米	0.0	0.0	4.2	16.4								
	1年古米(26年産)	7.5	5.0	2.5	1.4								
	販売段階	2.4	2.1	1.9	2.8								
	27年産米	0.0	0.0	0.5	1.4								
	1年古米(26年産)	2.0	1.8	1.2	1.2								
島根	出荷+販売段階	16.9	14.7	20.6	26.6								
	27年産米	0.0	0.4	10.9	20.7								
	1年古米(26年産)	15.8	13.5	9.0	5.3								
	出荷段階	14.7	12.9	18.4	23.6								
	27年産米	0.0	0.4	10.0	19.0								
	1年古米(26年産)	14.7	12.5	8.4	4.5								
	販売段階	2.1	1.9	2.3	3.0								
	27年産米	0.0	0.1	0.9	1.7								
	1年古米(26年産)	1.1	1.0	0.7	0.8								
岡山	出荷+販売段階	19.4	14.4	16.6	31.1								
	27年産米	0.0	0.0	6.4	23.9								
	1年古米(26年産)	18.5	14.0	10.0	7.1								
	出荷段階	15.8	11.3	12.8	25.0								
	27年産米	0.0	0.0	5.1	20.5								
	1年古米(26年産)	15.4	11.2	7.6	4.4								
	販売段階	3.5	3.1	3.9	6.1								
	27年産米	0.0	0.0	1.3	3.4								
	1年古米(26年産)	3.1	2.9	2.4	2.7								
広島	出荷+販売段階	10.7	7.7	17.4	36.8								
	27年産米	0.0	0.1	12.6	33.7								
	1年古米(26年産)	10.1	7.2	4.5	3.0								
	出荷段階	7.3	4.9	14.0	31.1								
	27年産米	0.0	0.1	11.6	31.0								
	1年古米(26年産)	7.3	4.7	2.4	0.1								
	販売段階	3.4	2.9	3.4	5.7								
	27年産米	0.0	0.0	1.0	2.7								
	1年古米(26年産)	2.9	2.4	2.1	2.9								
山口	出荷+販売段階	11.4	10.7	16.4	34.2								
	27年産米	0.0	0.4	9.4	28.3								
	1年古米(26年産)	10.1	9.3	6.2	5.3								
	出荷段階	9.6	9.2	14.9	31.0								
	27年産米	0.0	0.3	9.1	27.4								
	1年古米(26年産)	8.9	8.3	5.4	3.3								
	販売段階	1.7	1.5	1.5	3.1								
	27年産米	0.0	0.1	0.3	0.9								
	1年古米(26年産)	1.1	1.0	0.8	2.0								

注: 本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

(徳島から佐賀)

(単位:玄米千トン)

		27年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
徳島	出荷+販売段階	1.9	8.3	12.2	11.1								
	27年産米	0.0	7.2	11.5	10.6								
	1年古米(26年産)	1.9	1.0	0.6	0.4								
	出荷段階	0.9	6.5	9.0	7.9								
	27年産米	0.0	6.3	8.9	7.9								
	1年古米(26年産)	0.9	0.3	0.0	0.0								
	販売段階	1.1	1.7	3.2	3.2								
	27年産米	0.0	0.9	2.6	2.7								
	1年古米(26年産)	1.0	0.8	0.5	0.4								
香川	出荷+販売段階	8.5	6.1	7.2	14.3								
	27年産米	0.0	0.4	3.6	12.4								
	1年古米(26年産)	7.6	5.3	3.4	1.8								
	出荷段階	6.7	4.9	6.1	12.5								
	27年産米	0.0	0.4	3.4	11.9								
	1年古米(26年産)	6.7	4.5	2.7	0.5								
	販売段階	1.8	1.2	1.2	1.9								
	27年産米	0.0	0.0	0.2	0.5								
	1年古米(26年産)	0.9	0.8	0.7	1.3								
愛媛	出荷+販売段階	5.6	6.7	8.4	13.4								
	27年産米	0.0	2.3	5.0	10.6								
	1年古米(26年産)	4.8	3.8	3.0	2.6								
	出荷段階	4.5	5.8	7.7	12.6								
	27年産米	0.0	2.2	4.9	10.3								
	1年古米(26年産)	4.5	3.6	2.8	2.3								
	販売段階	1.1	0.9	0.7	0.8								
	27年産米	0.0	0.1	0.2	0.3								
	1年古米(26年産)	0.3	0.2	0.1	0.3								
高知	出荷+販売段階	2.1	8.6	8.0	10.4								
	27年産米	0.5	7.3	7.0	9.7								
	1年古米(26年産)	1.0	0.8	0.6	0.4								
	出荷段階	0.8	5.0	4.9	6.8								
	27年産米	0.3	4.6	4.7	6.6								
	1年古米(26年産)	0.3	0.2	0.1	0.1								
	販売段階	1.3	3.6	3.1	3.7								
	27年産米	0.1	2.7	2.3	3.1								
	1年古米(26年産)	0.7	0.6	0.5	0.3								
福岡	出荷+販売段階	21.0	14.6	21.2	41.3								
	27年産米	0.0	0.3	11.7	33.4								
	1年古米(26年産)	19.2	12.8	8.2	6.8								
	出荷段階	17.9	12.0	16.8	32.7								
	27年産米	0.0	0.2	8.9	28.0								
	1年古米(26年産)	17.2	11.2	7.4	4.5								
	販売段階	3.2	2.6	4.4	8.5								
	27年産米	0.0	0.1	2.8	5.4								
	1年古米(26年産)	2.0	1.5	0.8	2.4								
佐賀	出荷+販売段階	13.6	11.2	10.1	26.6								
	27年産米	0.0	0.9	3.1	22.2								
	1年古米(26年産)	13.4	10.2	6.9	4.4								
	出荷段階	12.2	10.1	9.0	23.8								
	27年産米	0.0	0.8	2.9	21.4								
	1年古米(26年産)	12.2	9.3	6.2	2.4								
	販売段階	1.4	1.1	1.0	2.9								
	27年産米	0.0	0.1	0.2	0.8								
	1年古米(26年産)	1.2	0.9	0.7	2.0								

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

(長崎から沖縄)

(単位:玄米千トン)

		27年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
長崎	出荷+販売段階	3.3	2.8	3.1	7.3								
	27年産米	0.0	0.4	1.6	6.0								
	1年古米(26年産)	3.3	2.4	1.4	1.3								
	出荷段階	3.0	2.6	2.8	6.3								
	27年産米	0.0	0.4	1.5	5.6								
	1年古米(26年産)	3.0	2.2	1.3	0.6								
	販売段階	0.3	0.2	0.3	1.0								
	27年産米	0.0	0.0	0.2	0.3								
	1年古米(26年産)	0.2	0.2	0.1	0.7								
熊本	出荷+販売段階	13.3	10.9	9.6	28.3								
	27年産米	0.0	2.3	4.8	26.1								
	1年古米(26年産)	12.9	8.3	4.6	2.1								
	出荷段階	10.0	7.5	6.4	20.7								
	27年産米	0.0	1.6	3.2	19.7								
	1年古米(26年産)	10.0	5.9	3.1	1.0								
	販売段階	3.3	3.4	3.3	7.6								
	27年産米	0.0	0.8	1.6	6.4								
	1年古米(26年産)	2.9	2.5	1.5	1.1								
大分	出荷+販売段階	7.8	6.1	5.2	12.0								
	27年産米	0.0	0.4	1.5	9.6								
	1年古米(26年産)	7.0	5.1	3.2	2.0								
	出荷段階	6.0	4.6	3.7	8.8								
	27年産米	0.0	0.3	1.0	7.2								
	1年古米(26年産)	5.7	4.1	2.5	1.4								
	販売段階	1.7	1.5	1.5	3.3								
	27年産米	0.0	0.1	0.5	2.4								
	1年古米(26年産)	1.3	1.1	0.7	0.6								
宮崎	出荷+販売段階	5.1	5.0	2.9	9.3								
	27年産米	2.5	3.3	2.2	8.9								
	1年古米(26年産)	2.4	1.5	0.6	0.3								
	出荷段階	3.2	2.4	0.4	6.4								
	27年産米	1.8	1.7	0.2	6.4								
	1年古米(26年産)	1.4	0.8	0.2	0.0								
	販売段階	1.9	2.6	2.6	2.9								
	27年産米	0.8	1.6	2.0	2.5								
	1年古米(26年産)	1.0	0.8	0.4	0.2								
鹿児島	出荷+販売段階	8.9	9.8	7.6	15.6								
	27年産米	0.8	3.4	2.8	12.6								
	1年古米(26年産)	6.7	5.2	3.7	2.1								
	出荷段階	5.8	5.1	3.6	11.2								
	27年産米	0.4	1.0	0.6	9.6								
	1年古米(26年産)	5.1	3.9	2.7	1.4								
	販売段階	3.1	4.6	4.0	4.4								
	27年産米	0.3	2.4	2.1	3.0								
	1年古米(26年産)	1.6	1.3	1.0	0.7								
沖縄	出荷+販売段階	0.4	0.3	0.3	0.3								
	27年産米	0.4	0.3	0.3	0.3								
	1年古米(26年産)	0.0	0.0	0.0	0.0								
	出荷段階	0.2	0.2	0.2	0.1								
	27年産米	0.2	0.2	0.2	0.1								
	1年古米(26年産)	0.0	0.0	0.0	0.0								
	販売段階	0.2	0.2	0.1	0.1								
	27年産米	0.2	0.2	0.1	0.1								
	1年古米(26年産)	0.0	0.0	0.0	0.0								

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

(2) 25・26年産の産地別民間在庫の推移 (うるち米、平成26年7月末から平成27年6月末) (速報)

(北海道から秋田)

(単位: 玄米千トン)

		26年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
北海道	出荷+販売段階	100.7	67.7	129.7	290.5	356.6	366.9	348.6	314.2	280.3	241.9	206.5	167.1
	26年産米	0.0	0.0	87.7	258.7	325.1	347.6	334.9	305.3	274.5	237.3	203.0	164.3
	1年古米(25年産)	97.4	65.3	40.4	30.7	28.6	18.6	13.1	8.3	5.5	4.3	3.3	2.6
	出荷段階	75.0	47.8	104.0	236.4	296.5	304.9	291.8	263.3	234.2	197.4	168.6	134.0
	26年産米	0.0	0.0	75.1	218.7	281.2	297.2	286.8	260.4	232.3	196.0	167.6	133.2
	1年古米(25年産)	74.1	47.2	28.7	17.5	13.2	7.6	5.0	2.9	1.9	1.5	1.0	0.8
	販売段階	25.7	19.9	25.6	54.2	60.1	62.0	56.9	50.8	46.1	44.5	37.9	33.1
	26年産米	0.0	0.0	12.6	39.9	43.9	50.3	48.2	44.9	42.2	41.4	35.4	31.1
	1年古米(25年産)	23.3	18.1	11.7	13.2	15.5	11.0	8.1	5.4	3.5	2.8	2.2	1.8
青森	出荷+販売段階	69.2	55.2	78.5	160.8	170.5	176.8	163.0	150.9	128.8	119.8	106.1	91.4
	26年産米	0.0	0.0	38.5	139.3	149.4	162.1	152.4	143.5	123.4	115.4	102.4	88.6
	1年古米(25年産)	67.4	53.8	39.0	20.6	20.4	14.1	10.1	7.1	5.3	4.2	3.5	2.7
	出荷段階	51.3	41.7	66.5	141.7	147.8	155.7	146.6	137.0	105.3	94.4	85.5	70.0
	26年産米	0.0	0.0	37.9	132.6	141.2	151.2	143.1	134.9	104.5	93.8	85.2	69.8
	1年古米(25年産)	51.2	41.6	28.6	9.1	6.6	4.6	3.5	2.1	0.9	0.5	0.4	0.2
	販売段階	18.0	13.6	11.9	19.0	22.7	21.0	16.3	13.9	23.5	25.5	20.5	21.4
	26年産米	0.0	0.0	0.6	6.7	8.2	10.9	9.2	8.6	18.9	21.6	17.3	18.8
	1年古米(25年産)	16.2	12.2	10.4	11.6	13.8	9.5	6.6	4.9	4.4	3.7	3.1	2.5
岩手	出荷+販売段階	45.6	33.1	32.4	125.6	136.9	152.8	145.6	132.5	119.1	102.6	88.1	73.0
	26年産米	0.0	0.0	9.5	104.7	120.5	147.1	139.5	127.4	114.7	99.6	85.6	71.0
	1年古米(25年産)	44.7	32.5	22.5	20.5	16.1	5.6	6.0	5.0	4.3	2.9	2.4	1.9
	出荷段階	39.9	28.8	28.6	112.9	124.3	139.2	133.0	121.5	107.6	92.5	80.1	66.2
	26年産米	0.0	0.0	9.0	99.0	113.3	137.2	131.6	120.4	106.7	91.9	79.6	65.8
	1年古米(25年産)	39.7	28.7	19.5	13.9	11.0	2.0	1.4	1.1	0.9	0.6	0.5	0.3
	販売段階	5.7	4.3	3.8	12.7	12.6	13.6	12.6	11.0	11.5	10.1	8.0	6.8
	26年産米	0.0	0.0	0.5	5.7	7.2	9.9	7.9	7.0	8.0	7.7	6.0	5.2
	1年古米(25年産)	5.0	3.8	3.0	6.7	5.1	3.6	4.6	3.9	3.4	2.3	2.0	1.5
宮城	出荷+販売段階	74.3	57.9	96.5	208.6	207.1	207.4	206.4	205.9	198.1	175.9	156.7	137.4
	26年産米	0.0	0.0	54.8	172.4	178.1	186.8	191.6	194.6	189.7	169.2	150.9	132.7
	1年古米(25年産)	72.2	56.1	40.1	34.8	27.7	19.3	13.6	10.3	7.5	6.0	5.0	4.1
	出荷段階	63.5	47.5	85.2	185.7	185.7	186.2	189.4	190.9	172.7	153.3	138.1	121.1
	26年産米	0.0	0.0	53.2	165.0	170.1	176.2	182.5	186.4	170.3	151.9	137.1	120.4
	1年古米(25年産)	62.9	47.0	31.6	20.3	15.3	9.7	6.7	4.3	2.2	1.3	0.8	0.7
	販売段階	10.8	10.4	11.3	22.9	21.4	21.1	16.9	15.0	25.4	22.6	18.6	16.3
	26年産米	0.0	0.0	1.6	7.4	8.0	10.6	9.1	8.2	19.4	17.3	13.8	12.3
	1年古米(25年産)	9.3	9.2	8.6	14.5	12.4	9.6	6.9	6.0	5.2	4.7	4.2	3.5
秋田	出荷+販売段階	91.4	68.6	126.2	298.3	300.0	303.9	283.9	271.6	251.5	228.6	196.7	165.1
	26年産米	0.0	0.0	72.1	247.3	251.9	259.7	241.6	232.8	215.3	188.3	161.1	134.5
	1年古米(25年産)	82.9	61.0	47.6	45.4	43.4	40.3	39.0	35.8	33.5	38.0	33.2	28.3
	出荷段階	81.8	60.3	117.6	282.8	284.5	285.9	267.3	256.3	226.8	195.8	170.1	142.9
	26年産米	0.0	0.0	69.8	238.7	242.7	246.9	230.8	222.6	196.0	168.2	145.5	121.7
	1年古米(25年産)	75.7	54.6	42.8	39.6	37.9	35.7	33.7	31.1	28.5	25.4	22.5	19.1
	販売段階	9.6	8.3	8.6	15.5	15.6	18.0	16.6	15.3	24.7	32.9	26.5	22.2
	26年産米	0.0	0.0	2.2	8.6	9.2	12.8	10.8	10.2	19.3	20.1	15.5	12.8
	1年古米(25年産)	7.2	6.3	4.9	5.8	5.5	4.6	5.3	4.7	5.1	12.5	10.8	9.2

資料： 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注： 1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上若しくは年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。
 4 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、26年産米と1年古米（25年産）の合計と一致しない場合がある。
 5 米穀機構の買入数量（平成25年産米で35万トン）は、26年7月以降の在庫に含まれていない。

(山形から埼玉)

(単位:玄米千トン)

		26年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	
山形	出荷+販売段階	101.7	83.6	94.5	239.9	251.0	257.3	245.4	226.3	215.9	189.4	165.1	140.2	
	26年産米	0.0	0.0	42.0	198.6	218.2	231.7	225.5	210.3	204.0	181.3	157.9	134.6	
	1年古米(25年産)	96.3	79.0	48.5	37.9	29.7	22.8	17.3	13.5	9.8	6.2	5.5	4.1	
	出荷段階	88.1	71.0	81.2	216.4	227.4	234.1	226.8	210.2	194.2	169.3	148.7	125.3	
	26年産米	0.0	0.0	41.3	190.5	208.7	220.0	216.1	201.9	188.9	166.4	146.0	123.5	
	1年古米(25年産)	85.3	68.6	37.7	24.0	16.9	12.4	9.2	6.8	4.0	1.8	1.7	0.8	
	販売段階	13.6	12.7	13.4	23.5	23.6	23.2	18.6	16.1	21.8	20.1	16.4	14.9	
	26年産米	0.0	0.0	0.7	8.1	9.5	11.7	9.4	8.4	15.1	14.9	11.9	11.1	
	1年古米(25年産)	10.9	10.4	10.8	13.9	12.8	10.4	8.1	6.7	5.8	4.4	3.9	3.3	
	福島	出荷+販売段階	56.7	41.5	50.4	191.5	210.8	199.5	183.2	159.8	141.3	118.7	100.2	82.3
		26年産米	0.0	0.0	17.7	160.8	187.1	182.6	172.1	150.9	134.4	113.5	96.6	79.5
		1年古米(25年産)	44.7	30.8	22.8	21.5	17.6	11.7	7.0	5.5	4.3	2.9	1.9	1.5
出荷段階		39.3	27.4	36.9	162.6	182.5	172.0	158.9	129.0	114.0	95.1	81.5	66.3	
26年産米		0.0	0.0	16.4	149.3	172.2	165.5	155.0	125.9	111.7	93.4	80.2	65.2	
1年古米(25年産)		35.6	24.0	17.4	10.6	8.0	4.4	2.2	1.6	0.9	0.5	0.2	0.1	
販売段階		17.5	14.1	13.6	28.9	28.3	27.5	24.3	30.7	27.2	23.6	18.7	16.0	
26年産米		0.0	0.0	1.3	11.5	14.9	17.1	17.2	25.0	22.7	20.1	16.5	14.3	
1年古米(25年産)		9.1	6.7	5.4	11.0	9.6	7.3	4.8	4.0	3.4	2.5	1.7	1.4	
茨城		出荷+販売段階	47.6	51.3	149.6	168.9	160.4	150.0	140.8	129.0	110.4	100.3	85.3	69.8
		26年産米	0.0	18.5	126.4	150.3	144.0	135.4	128.0	117.9	105.5	92.5	78.2	63.6
		1年古米(25年産)	45.6	31.1	21.9	17.6	15.5	13.7	12.1	10.5	4.4	7.4	6.7	5.9
	出荷段階	33.8	35.8	111.2	129.3	123.2	114.2	105.3	97.2	76.5	65.6	56.5	46.9	
	26年産米	0.0	13.0	96.3	116.9	111.6	103.4	96.0	89.2	76.3	65.4	56.3	46.7	
	1年古米(25年産)	33.6	22.6	14.7	12.2	11.4	10.6	9.3	7.9	0.2	0.2	0.1	0.1	
	販売段階	13.8	15.5	38.4	39.5	37.2	35.8	35.5	31.9	33.9	34.7	28.8	23.0	
	26年産米	0.0	5.6	30.1	33.4	32.4	32.0	32.0	28.7	29.2	27.1	21.9	16.9	
	1年古米(25年産)	12.0	8.5	7.3	5.4	4.0	3.1	2.8	2.6	4.2	7.2	6.5	5.8	
	栃木	出荷+販売段階	89.9	75.2	146.8	192.8	210.4	204.3	190.9	180.7	169.6	151.2	133.5	113.5
		26年産米	0.0	0.0	86.5	142.0	172.7	176.8	168.3	161.6	150.9	135.1	120.9	104.1
		1年古米(25年産)	88.1	74.0	59.7	50.3	37.5	27.4	22.4	19.0	18.6	16.1	12.5	9.4
出荷段階		81.4	68.0	134.6	171.0	191.2	184.2	172.4	161.2	146.4	129.6	115.4	98.8	
26年産米		0.0	0.0	80.5	131.1	161.4	162.4	156.0	148.7	137.0	122.6	110.0	94.7	
1年古米(25年産)		80.8	67.7	54.0	39.9	29.9	21.7	16.4	12.5	9.4	7.0	5.4	4.1	
販売段階		8.5	7.2	12.2	21.7	19.2	20.2	18.5	19.5	23.2	21.6	18.1	14.7	
26年産米		0.0	0.0	6.0	10.9	11.3	14.3	12.3	12.9	13.9	12.4	10.9	9.4	
1年古米(25年産)		7.3	6.3	5.6	10.4	7.6	5.7	6.0	6.6	9.2	9.2	7.2	5.3	
群馬		出荷+販売段階	14.9	12.9	10.6	12.7	24.6	36.4	37.0	35.0	28.1	22.7	18.8	15.9
		26年産米	0.0	0.0	0.4	6.1	18.9	31.7	32.8	31.7	26.0	20.5	16.9	14.2
		1年古米(25年産)	14.1	12.2	9.6	6.1	5.3	4.4	3.9	3.3	2.1	2.2	1.8	1.6
	出荷段階	12.1	10.5	8.6	10.5	21.9	33.0	33.9	32.1	24.1	18.6	15.5	12.9	
	26年産米	0.0	0.0	0.3	5.6	17.5	29.4	30.7	29.3	22.7	17.3	14.3	11.9	
	1年古米(25年産)	12.1	10.5	8.3	4.9	4.3	3.6	3.3	2.7	1.4	1.3	1.1	1.0	
	販売段階	2.9	2.4	1.9	2.2	2.7	3.4	3.0	3.0	4.0	4.1	3.3	3.0	
	26年産米	0.0	0.0	0.1	0.5	1.4	2.3	2.2	2.4	3.2	3.2	2.6	2.3	
	1年古米(25年産)	2.0	1.7	1.2	1.3	1.0	0.8	0.7	0.5	0.7	0.9	0.7	0.7	
	埼玉	出荷+販売段階	5.7	4.0	10.4	24.7	32.4	34.7	34.0	31.8	28.6	24.7	21.5	18.4
		26年産米	0.0	0.3	7.9	22.6	30.7	33.1	33.0	31.0	27.6	24.0	21.0	18.0
		1年古米(25年産)	5.4	3.6	2.4	2.0	1.7	1.6	1.0	0.8	1.0	0.7	0.6	0.4
出荷段階		4.2	2.7	8.7	21.9	29.4	31.8	31.7	29.6	26.1	22.4	19.6	16.7	
26年産米		0.0	0.1	7.1	20.5	28.1	30.8	31.0	29.0	25.7	22.1	19.4	16.6	
1年古米(25年産)		4.2	2.5	1.6	1.4	1.3	1.0	0.7	0.6	0.4	0.3	0.2	0.1	
販売段階		1.4	1.3	1.7	2.7	3.0	2.9	2.3	2.2	2.5	2.3	1.9	1.7	
26年産米		0.0	0.1	0.8	2.1	2.5	2.3	2.0	1.9	1.9	1.9	1.6	1.5	
1年古米(25年産)		1.3	1.1	0.8	0.6	0.4	0.6	0.3	0.3	0.6	0.4	0.3	0.3	

注: 本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

(千葉から静岡)

(単位:玄米千トン)

		26年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
千葉	出荷+販売段階	33.4	95.6	179.5	168.0	160.3	143.2	130.1	115.4	96.7	81.3	67.1	51.8
	26年産米	0.0	73.4	162.9	155.9	150.3	137.4	125.8	112.1	94.3	78.2	64.5	49.8
	1年古米(25年産)	32.5	21.3	15.8	11.5	9.5	5.4	3.9	2.8	2.0	2.7	2.2	1.7
	出荷段階	27.2	87.0	167.7	157.6	151.6	132.6	121.0	107.2	86.9	69.0	57.9	44.4
	26年産米	0.0	70.1	154.9	147.9	143.5	128.7	118.0	105.0	85.6	67.9	56.8	43.6
	1年古米(25年産)	27.2	16.9	12.8	9.7	8.1	4.0	2.9	2.2	1.4	1.2	1.0	0.8
	販売段階	6.2	8.6	11.7	10.4	8.7	10.6	9.2	8.2	9.8	12.2	9.2	7.5
	26年産米	0.0	3.3	7.9	8.0	6.9	8.7	7.8	7.1	8.8	10.3	7.6	6.2
	1年古米(25年産)	5.3	4.5	3.1	1.8	1.3	1.4	0.9	0.6	0.6	1.5	1.2	0.9
東京	出荷+販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年産米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1年古米(25年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	出荷段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年産米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1年古米(25年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年産米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1年古米(25年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
神奈川	出荷+販売段階	0.4	0.3	0.4	2.5	2.5	2.3	2.0	1.6	1.5	1.1	0.8	0.6
	26年産米	0.0	0.0	0.3	2.5	2.5	2.3	2.0	1.6	1.5	1.1	0.8	0.6
	1年古米(25年産)	0.4	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	出荷段階	0.4	0.3	0.4	2.5	2.5	2.3	2.0	1.6	1.5	1.1	0.8	0.6
	26年産米	0.0	0.0	0.3	2.5	2.5	2.3	2.0	1.6	1.5	1.1	0.8	0.6
	1年古米(25年産)	0.4	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年産米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1年古米(25年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
山梨	出荷+販売段階	2.6	2.1	2.3	4.9	5.5	6.1	5.5	5.0	4.2	3.7	3.2	2.7
	26年産米	0.0	0.0	0.6	3.4	4.3	5.2	4.8	4.4	4.0	3.5	3.1	2.6
	1年古米(25年産)	2.5	2.0	1.6	1.4	1.2	0.8	0.7	0.5	0.2	0.1	0.1	0.1
	出荷段階	2.3	1.9	2.1	4.5	4.9	5.3	4.9	4.4	3.7	3.2	2.8	2.3
	26年産米	0.0	0.0	0.6	3.1	3.7	4.6	4.2	3.9	3.6	3.1	2.7	2.3
	1年古米(25年産)	2.2	1.8	1.4	1.3	1.1	0.7	0.6	0.5	0.1	0.1	0.1	0.0
	販売段階	0.3	0.3	0.2	0.3	0.6	0.7	0.6	0.6	0.5	0.5	0.4	0.3
	26年産米	0.0	0.0	0.0	0.2	0.5	0.7	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4	0.3
	1年古米(25年産)	0.2	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
長野	出荷+販売段階	23.3	16.6	27.5	63.7	79.2	74.5	68.1	61.9	53.8	45.2	37.1	29.2
	26年産米	0.0	0.0	16.0	52.4	70.0	68.5	63.0	57.5	51.2	43.2	35.5	28.0
	1年古米(25年産)	21.7	15.4	10.7	10.7	8.6	5.4	4.7	3.9	2.5	2.0	1.5	1.0
	出荷段階	18.5	12.7	23.2	54.0	69.2	65.0	59.4	53.5	46.2	38.1	31.6	25.2
	26年産米	0.0	0.0	15.1	49.1	65.5	63.0	57.9	52.1	45.7	37.7	31.2	24.9
	1年古米(25年産)	18.5	12.7	8.1	4.9	3.7	2.0	1.5	1.3	0.5	0.4	0.3	0.2
	販売段階	4.7	3.9	4.3	9.7	10.0	9.5	8.8	8.5	7.6	7.1	5.5	4.1
	26年産米	0.0	0.0	1.0	3.4	4.5	5.5	5.1	5.4	5.5	5.5	4.3	3.1
	1年古米(25年産)	3.2	2.7	2.6	5.7	4.9	3.4	3.2	2.5	2.0	1.5	1.2	0.8
静岡	出荷+販売段階	2.7	3.6	14.7	18.4	18.1	14.2	12.4	10.6	9.0	7.1	5.5	4.0
	26年産米	0.0	1.9	13.6	17.9	17.6	13.7	12.0	10.2	8.8	6.8	5.3	3.8
	1年古米(25年産)	2.6	1.7	1.0	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2
	出荷段階	1.9	2.4	10.4	14.1	14.1	10.9	9.5	8.0	6.8	5.2	3.9	2.8
	26年産米	0.0	1.2	9.8	14.0	14.1	10.8	9.5	8.0	6.8	5.2	3.9	2.8
	1年古米(25年産)	1.9	1.2	0.6	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	0.7	1.3	4.3	4.4	4.0	3.3	2.9	2.6	2.3	1.8	1.7	1.2
	26年産米	0.0	0.7	3.8	3.9	3.5	2.9	2.5	2.2	2.0	1.6	1.5	1.0
	1年古米(25年産)	0.6	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

(新潟から愛知)

(単位:玄米千トン)

		26年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
新潟	出荷+販売段階	58.7	32.8	206.3	313.8	303.9	272.6	244.1	212.3	182.0	150.5	123.1	96.6
	26年産米	0.0	0.2	187.4	299.1	292.4	264.1	237.4	206.8	177.9	147.3	120.6	94.8
	1年古米(25年産)	49.6	25.3	12.9	10.0	7.9	5.6	4.3	3.6	2.8	2.2	1.9	1.5
	出荷段階	45.3	23.2	191.1	290.8	283.8	250.5	225.7	196.2	167.3	136.1	110.5	85.0
	26年産米	0.0	0.2	178.0	282.8	277.0	245.3	221.4	192.8	164.6	134.0	108.9	83.8
	1年古米(25年産)	40.1	18.6	9.4	5.1	4.4	3.2	2.7	2.3	1.9	1.5	1.3	1.0
	販売段階	13.4	9.6	15.1	23.0	20.1	22.1	18.4	16.1	14.7	14.3	12.6	11.6
	26年産米	0.0	0.0	9.4	16.4	15.4	18.8	16.0	14.0	13.3	13.3	11.7	10.9
	1年古米(25年産)	9.6	6.7	3.5	4.9	3.5	2.4	1.7	1.3	0.9	0.7	0.6	0.5
	富山	出荷+販売段階	28.0	19.0	85.1	112.4	103.8	94.5	85.5	75.9	61.9	51.3	41.0
26年産米		0.0	0.2	71.1	100.0	97.8	89.7	81.3	72.5	60.5	49.9	40.0	30.5
1年古米(25年産)		27.1	18.1	13.4	11.8	5.5	4.4	3.8	3.1	1.1	1.1	0.8	0.7
出荷段階		23.2	15.4	79.9	105.4	97.3	88.1	80.1	71.2	56.5	45.3	36.4	27.3
26年産米		0.0	0.1	68.5	96.5	94.0	85.2	77.5	69.1	56.4	45.2	36.4	27.3
1年古米(25年産)		23.0	15.2	11.3	8.8	3.2	2.9	2.5	2.1	0.1	0.1	0.0	0.0
販売段階		4.8	3.6	5.2	7.1	6.5	6.4	5.4	4.7	5.3	6.0	4.6	4.2
26年産米		0.0	0.1	2.6	3.6	3.8	4.5	3.8	3.4	4.0	4.7	3.6	3.3
1年古米(25年産)		4.1	2.9	2.1	3.1	2.3	1.5	1.3	1.0	1.1	1.1	0.8	0.7
石川		出荷+販売段階	13.2	10.3	56.9	66.3	63.0	59.6	54.3	49.7	43.0	36.9	32.1
	26年産米	0.0	1.9	51.1	62.0	59.7	56.6	51.4	47.5	41.2	35.7	31.1	25.0
	1年古米(25年産)	13.0	8.3	5.7	4.3	3.4	3.0	2.9	2.2	1.7	1.2	0.9	0.7
	出荷段階	11.2	7.9	40.9	48.1	47.1	45.0	42.5	40.2	34.7	30.1	26.8	22.1
	26年産米	0.0	1.0	36.0	44.3	44.2	42.7	40.8	39.0	34.0	29.6	26.4	21.7
	1年古米(25年産)	11.1	6.9	4.9	3.8	3.0	2.3	1.7	1.2	0.7	0.5	0.4	0.3
	販売段階	1.9	2.4	16.0	18.2	15.9	14.6	11.8	9.5	8.3	6.8	5.3	3.7
	26年産米	0.0	0.9	15.1	17.7	15.5	13.9	10.6	8.5	7.3	6.1	4.7	3.3
	1年古米(25年産)	1.9	1.4	0.9	0.5	0.4	0.7	1.2	1.0	1.0	0.7	0.5	0.4
	福井	出荷+販売段階	18.3	16.3	44.8	67.9	62.3	55.9	51.1	43.5	36.6	30.8	25.1
26年産米		0.0	2.6	34.4	59.0	54.3	50.0	45.6	39.7	34.6	29.0	23.7	18.8
1年古米(25年産)		17.5	13.2	10.0	8.5	7.7	5.7	5.4	3.7	2.0	1.7	1.4	1.1
出荷段階		14.5	11.8	38.4	56.9	52.9	44.9	41.8	36.1	29.4	24.5	19.9	15.7
26年産米		0.0	1.5	30.6	53.5	49.7	43.2	40.2	34.7	29.4	24.4	19.9	15.7
1年古米(25年産)		14.5	10.3	7.8	3.4	3.2	1.6	1.6	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0
販売段階		3.8	4.5	6.4	11.0	9.4	11.0	9.4	7.4	7.2	6.3	5.2	4.2
26年産米		0.0	1.1	3.7	5.5	4.6	6.7	5.4	5.0	5.2	4.5	3.8	3.2
1年古米(25年産)		3.0	2.8	2.2	5.2	4.5	4.0	3.8	2.3	2.0	1.7	1.3	1.0
岐阜		出荷+販売段階	15.1	12.6	14.4	21.4	30.4	36.0	33.4	31.1	28.5	25.7	22.6
	26年産米	0.0	0.4	4.5	13.1	23.2	29.8	28.2	26.6	24.9	22.9	20.3	17.4
	1年古米(25年産)	13.7	11.1	9.1	7.5	6.6	5.4	4.5	3.8	2.9	2.2	1.7	1.5
	出荷段階	12.5	10.2	11.6	17.2	26.0	30.5	28.5	26.7	24.1	21.8	19.1	16.1
	26年産米	0.0	0.2	4.0	11.2	20.7	26.5	25.3	24.0	22.3	20.7	18.3	15.6
	1年古米(25年産)	11.9	9.6	7.6	6.1	5.3	4.0	3.2	2.7	1.8	1.1	0.8	0.5
	販売段階	2.6	2.5	2.8	4.1	4.4	5.4	4.9	4.5	4.4	3.9	3.5	3.4
	26年産米	0.0	0.2	0.5	2.0	2.5	3.3	2.9	2.6	2.6	2.2	1.9	1.8
	1年古米(25年産)	1.8	1.5	1.5	1.5	1.2	1.5	1.3	1.2	1.1	1.0	0.9	1.0
	愛知	出荷+販売段階	16.2	13.9	19.5	29.6	36.9	44.5	41.6	37.7	33.4	29.2	24.3
26年産米		0.0	1.3	9.8	22.3	30.6	38.7	36.4	33.2	29.7	26.0	22.0	18.0
1年古米(25年産)		15.0	11.7	9.0	7.0	6.0	5.6	5.1	4.4	3.6	3.0	2.3	1.5
出荷段階		13.4	11.4	17.1	23.8	28.9	36.3	34.2	31.0	27.7	24.0	20.8	16.9
26年産米		0.0	1.0	9.1	20.4	28.2	35.5	33.5	30.4	27.3	23.6	20.3	16.5
1年古米(25年産)		13.3	10.4	7.9	3.3	0.6	0.7	0.6	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3
販売段階		2.8	2.5	2.4	5.8	8.0	8.2	7.5	6.8	5.7	5.2	3.6	2.7
26年産米		0.0	0.3	0.8	1.8	2.4	3.2	2.9	2.7	2.5	2.5	1.6	1.5
1年古米(25年産)		1.7	1.3	1.1	3.7	5.4	4.9	4.4	3.9	3.2	2.7	1.9	1.2

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

(三重から奈良)

(単位:玄米千トン)

		26年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
三重	出荷+販売段階	7.4	11.0	42.6	46.8	47.9	43.7	40.0	35.8	30.6	23.4	18.5	14.1
	26年産米	0.0	6.5	38.9	43.7	45.1	41.2	38.3	34.4	29.5	22.5	17.7	13.4
	1年古米(25年産)	6.8	4.0	3.4	2.9	2.6	2.3	1.6	1.2	1.0	0.8	0.7	0.5
	出荷段階	4.9	6.9	36.7	41.6	43.1	39.0	35.9	32.4	27.5	20.6	15.9	11.5
	26年産米	0.0	4.3	34.5	39.7	41.4	37.6	35.0	31.7	26.9	20.1	15.5	11.1
	1年古米(25年産)	4.8	2.6	2.2	1.9	1.7	1.4	0.9	0.7	0.6	0.5	0.4	0.4
	販売段階	2.5	4.1	5.9	5.2	4.8	4.7	4.1	3.4	3.1	2.8	2.6	2.6
	26年産米	0.0	2.3	4.4	3.9	3.7	3.6	3.3	2.8	2.6	2.4	2.2	2.3
	1年古米(25年産)	2.0	1.4	1.2	1.1	0.9	0.9	0.6	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2
滋賀	出荷+販売段階	23.7	18.9	54.2	65.5	65.4	62.3	56.9	51.2	46.8	40.8	31.2	24.7
	26年産米	0.0	0.7	40.0	52.9	53.2	54.7	50.6	46.2	42.8	37.7	28.6	22.6
	1年古米(25年産)	22.7	17.4	13.5	12.1	11.8	7.3	6.1	4.9	4.0	3.0	2.5	2.1
	出荷段階	19.9	14.8	47.8	57.9	56.9	54.5	50.5	45.7	42.1	35.8	26.9	21.1
	26年産米	0.0	0.5	38.0	50.3	50.4	50.9	47.5	43.4	40.2	34.4	25.8	20.2
	1年古米(25年産)	19.7	14.1	9.7	7.5	6.4	3.5	2.9	2.2	1.9	1.5	1.1	0.9
	販売段階	3.8	4.1	6.4	7.6	8.5	7.8	6.5	5.6	4.7	5.0	4.3	3.6
	26年産米	0.0	0.2	2.0	2.6	2.7	3.7	3.1	2.7	2.5	3.3	2.8	2.4
	1年古米(25年産)	3.0	3.3	3.9	4.6	5.4	3.7	3.1	2.6	2.0	1.5	1.4	1.2
京都	出荷+販売段階	3.4	2.3	7.8	12.1	12.4	13.0	11.6	10.9	9.8	8.5	7.2	5.8
	26年産米	0.0	0.0	6.4	11.2	11.6	12.4	11.1	10.5	9.6	8.2	7.0	5.7
	1年古米(25年産)	3.2	2.1	1.3	0.8	0.7	0.5	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1
	出荷段階	2.7	1.7	6.8	10.5	10.9	11.6	10.4	9.8	8.7	7.4	6.1	4.9
	26年産米	0.0	0.0	5.8	10.4	10.9	11.6	10.4	9.8	8.7	7.4	6.1	4.9
	1年古米(25年産)	2.7	1.6	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	0.8	0.7	1.1	1.6	1.5	1.4	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	0.9
	26年産米	0.0	0.0	0.5	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7	0.8	0.8	1.0	0.8
	1年古米(25年産)	0.6	0.5	0.4	0.7	0.6	0.5	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1
大阪	出荷+販売段階	0.6	0.5	0.5	0.9	1.1	2.1	2.0	1.6	1.5	1.3	1.1	0.8
	26年産米	0.0	0.0	0.2	0.7	0.9	2.0	1.9	1.6	1.5	1.3	1.1	0.8
	1年古米(25年産)	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	出荷段階	0.5	0.4	0.4	0.8	1.0	1.9	1.7	1.4	1.2	1.1	0.9	0.7
	26年産米	0.0	0.0	0.2	0.7	0.9	1.8	1.6	1.4	1.2	1.1	0.9	0.7
	1年古米(25年産)	0.3	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1
	26年産米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1
	1年古米(25年産)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
兵庫	出荷+販売段階	11.5	7.8	17.8	33.4	41.8	38.6	32.7	27.3	24.0	20.5	17.1	13.9
	26年産米	0.0	0.0	13.2	31.7	40.5	37.7	32.1	26.8	23.6	20.3	16.9	13.7
	1年古米(25年産)	11.2	7.5	4.4	1.5	1.1	0.8	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1
	出荷段階	9.0	5.7	15.5	30.1	38.6	35.7	30.1	24.9	21.5	18.2	15.2	12.1
	26年産米	0.0	0.0	12.3	29.9	38.5	35.6	30.0	24.8	21.5	18.2	15.2	12.1
	1年古米(25年産)	9.0	5.7	3.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	2.5	2.1	2.3	3.3	3.2	2.9	2.6	2.4	2.5	2.3	2.0	1.8
	26年産米	0.0	0.0	0.9	1.8	2.0	2.1	2.1	1.9	2.1	2.0	1.7	1.6
	1年古米(25年産)	2.2	1.9	1.2	1.3	1.0	0.7	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1
奈良	出荷+販売段階	4.5	3.8	3.7	8.5	11.8	11.0	10.2	9.3	7.1	5.9	4.6	3.6
	26年産米	0.0	0.0	1.1	6.2	9.5	8.8	8.1	7.3	6.3	5.2	4.0	3.2
	1年古米(25年産)	4.2	3.5	2.5	2.3	2.2	2.2	2.1	2.0	0.8	0.7	0.6	0.4
	出荷段階	3.8	3.3	3.2	7.3	10.5	9.9	9.4	8.6	5.8	4.7	3.7	2.9
	26年産米	0.0	0.0	1.1	5.3	8.6	8.0	7.4	6.6	5.8	4.7	3.7	2.9
	1年古米(25年産)	3.8	3.3	2.1	2.0	2.0	2.0	1.9	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	0.6	0.4	0.5	1.2	1.2	1.1	0.8	0.8	1.3	1.2	1.0	0.7
	26年産米	0.0	0.0	0.0	0.9	1.0	0.9	0.7	0.7	0.6	0.5	0.4	0.3
	1年古米(25年産)	0.4	0.2	0.4	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.8	0.7	0.6	0.4

注: 本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

(和歌山から山口)

(単位:玄米千トン)

		26年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
和歌山	出荷+販売段階	0.7	0.6	0.5	1.9	2.1	2.1	1.9	1.8	1.7	1.5	1.3	1.1
	26年産米	0.0	0.0	0.0	1.5	1.8	1.7	1.6	1.5	1.4	1.2	1.1	0.9
	1年古米(25年産)	0.7	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2
	出荷段階	0.5	0.5	0.4	1.6	1.5	1.2	1.1	1.0	0.9	0.8	0.7	0.6
	26年産米	0.0	0.0	0.0	1.2	1.2	1.2	1.1	1.0	0.9	0.8	0.7	0.6
	1年古米(25年産)	0.5	0.5	0.4	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	0.2	0.1	0.1	0.3	0.6	0.9	0.9	0.8	0.8	0.7	0.6	0.6
	26年産米	0.0	0.0	0.0	0.2	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3
	1年古米(25年産)	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2
鳥取	出荷+販売段階	11.6	7.4	13.3	26.7	32.1	34.9	32.6	30.5	26.1	20.9	17.1	13.2
	26年産米	0.0	0.0	8.0	22.2	28.0	31.4	29.5	28.1	24.4	19.6	16.1	12.3
	1年古米(25年産)	11.5	7.4	5.2	4.4	4.0	3.4	3.0	2.3	1.6	1.2	1.0	0.9
	出荷段階	9.4	5.5	11.6	24.3	29.4	32.2	28.9	25.8	22.3	17.3	14.1	10.6
	26年産米	0.0	0.0	7.6	21.2	26.8	29.9	27.1	24.6	21.5	16.7	13.6	10.2
	1年古米(25年産)	9.4	5.5	4.0	3.0	2.6	2.3	1.7	1.2	0.9	0.6	0.4	0.4
	販売段階	2.2	1.9	1.6	2.5	2.7	2.7	3.7	4.7	3.7	3.6	3.1	2.6
	26年産米	0.0	0.0	0.4	1.0	1.3	1.5	2.4	3.5	3.0	2.9	2.5	2.1
	1年古米(25年産)	2.1	1.8	1.1	1.4	1.3	1.2	1.3	1.1	0.7	0.6	0.6	0.5
島根	出荷+販売段階	12.5	9.8	23.2	33.9	33.7	35.6	35.8	32.8	29.1	26.4	23.4	20.2
	26年産米	0.0	0.2	15.2	27.7	28.0	31.1	31.8	29.8	27.1	24.7	21.9	18.9
	1年古米(25年産)	11.5	8.9	7.4	5.7	5.3	4.2	3.6	2.7	1.7	1.3	1.2	1.0
	出荷段階	10.3	7.9	20.8	28.5	28.5	30.0	30.4	28.4	25.8	23.1	20.4	17.5
	26年産米	0.0	0.1	14.5	26.1	26.3	29.2	30.2	28.2	25.6	23.0	20.2	17.4
	1年古米(25年産)	10.3	7.7	6.3	2.4	2.2	0.8	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1
	販売段階	2.2	2.0	2.4	5.4	5.2	5.6	5.3	4.4	3.4	3.2	3.0	2.6
	26年産米	0.0	0.0	0.8	1.6	1.6	1.9	1.6	1.5	1.5	1.7	1.6	1.4
	1年古米(25年産)	1.2	1.1	1.0	3.3	3.1	3.4	3.4	2.5	1.5	1.2	1.0	0.9
岡山	出荷+販売段階	21.9	15.9	18.8	31.1	41.0	48.6	50.2	46.0	42.1	35.9	30.4	24.4
	26年産米	0.0	0.0	6.9	20.1	32.4	41.8	44.8	41.7	37.8	32.8	28.6	23.1
	1年古米(25年産)	21.6	15.6	11.7	10.9	8.4	6.7	5.3	4.2	4.2	3.1	1.7	1.2
	出荷段階	19.3	14.1	16.7	25.3	32.6	40.6	43.4	40.3	36.0	30.3	25.6	20.3
	26年産米	0.0	0.0	6.4	18.9	27.6	36.4	39.9	37.3	33.6	28.5	24.7	19.7
	1年古米(25年産)	19.2	14.0	10.1	6.4	5.0	4.2	3.5	3.0	2.5	1.8	0.8	0.6
	販売段階	2.7	1.8	2.1	5.8	8.3	8.0	6.9	5.7	6.0	5.7	4.8	4.1
	26年産米	0.0	0.0	0.5	1.2	4.8	5.4	5.0	4.3	4.2	4.3	3.8	3.4
	1年古米(25年産)	2.4	1.7	1.5	4.4	3.4	2.5	1.8	1.3	1.7	1.3	0.9	0.7
広島	出荷+販売段階	11.9	8.5	19.3	38.5	38.9	34.7	31.3	27.8	23.7	20.0	17.2	13.9
	26年産米	0.0	0.1	14.4	35.2	36.2	32.5	29.6	26.4	22.6	19.1	16.4	13.2
	1年古米(25年産)	11.6	8.3	4.7	3.2	2.6	2.1	1.6	1.3	1.1	0.9	0.7	0.6
	出荷段階	8.5	5.3	16.0	32.9	33.2	29.4	26.3	23.3	18.3	15.2	12.9	10.0
	26年産米	0.0	0.1	13.4	32.8	33.0	29.4	26.3	23.3	18.3	15.2	12.9	10.0
	1年古米(25年産)	8.4	5.2	2.6	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	3.4	3.2	3.3	5.6	5.7	5.3	5.0	4.5	5.5	4.8	4.3	3.9
	26年産米	0.0	0.0	1.0	2.4	3.2	3.2	3.4	3.1	4.3	3.9	3.5	3.2
	1年古米(25年産)	3.2	3.1	2.1	3.0	2.4	2.0	1.6	1.3	1.1	0.9	0.7	0.6
山口	出荷+販売段階	13.9	10.6	18.4	37.7	39.8	37.6	36.2	33.3	30.3	26.2	22.7	18.3
	26年産米	0.0	0.4	11.3	30.4	33.3	32.0	31.8	29.7	27.5	24.0	20.9	16.7
	1年古米(25年産)	13.4	10.0	6.9	7.3	6.5	5.6	4.4	3.6	2.8	2.1	1.8	1.6
	出荷段階	12.4	9.3	17.4	34.1	36.5	34.2	33.4	30.5	26.9	23.6	20.5	16.4
	26年産米	0.0	0.2	11.0	29.5	32.4	30.8	30.7	28.6	25.6	22.5	19.5	15.6
	1年古米(25年産)	12.3	9.0	6.3	4.6	4.1	3.3	2.6	2.0	1.4	1.1	1.0	0.8
	販売段階	1.5	1.2	1.0	3.6	3.3	3.5	2.9	2.8	3.4	2.6	2.3	1.9
	26年産米	0.0	0.1	0.3	0.9	0.9	1.2	1.0	1.1	1.9	1.5	1.4	1.2
	1年古米(25年産)	1.2	1.0	0.7	2.7	2.4	2.3	1.8	1.6	1.4	1.0	0.8	0.7

注: 本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

(徳島から佐賀)

(単位: 玄米千トン)

		26年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
徳島	出荷+販売段階	3.3	9.2	16.0	13.8	12.8	11.6	10.3	9.3	7.7	6.2	4.9	3.6
	26年産米	0.0	7.3	14.8	13.1	12.2	11.2	10.0	9.0	7.5	6.1	4.8	3.5
	1年古米(25年産)	2.7	1.5	0.9	0.5	0.4	0.4	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1
	出荷段階	1.5	7.1	12.7	10.4	9.5	8.6	7.6	6.9	3.3	2.8	2.1	1.4
	26年産米	0.0	6.4	12.3	10.3	9.5	8.5	7.6	6.9	3.3	2.7	2.1	1.4
	1年古米(25年産)	1.5	0.7	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	1.9	2.1	3.3	3.4	3.3	3.1	2.7	2.4	4.4	3.4	2.8	2.2
	26年産米	0.0	0.9	2.5	2.8	2.8	2.6	2.4	2.1	4.2	3.3	2.7	2.2
	1年古米(25年産)	1.3	0.8	0.5	0.5	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1
香川	出荷+販売段階	9.9	8.1	10.2	17.7	27.5	25.8	23.9	21.9	19.2	16.9	14.0	11.7
	26年産米	0.0	0.2	3.8	14.0	24.8	23.1	21.3	19.3	17.3	15.3	12.8	10.5
	1年古米(25年産)	9.1	7.1	5.7	3.2	2.1	2.2	2.2	2.0	1.4	1.2	0.9	0.7
	出荷段階	8.2	6.3	8.2	15.0	24.2	22.5	20.7	18.7	16.3	13.9	11.7	9.5
	26年産米	0.0	0.2	3.6	13.4	23.8	22.1	20.3	18.4	16.2	13.9	11.7	9.5
	1年古米(25年産)	8.2	6.2	4.6	1.6	0.4	0.4	0.4	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0
	販売段階	1.8	1.8	2.0	2.7	3.3	3.3	3.2	3.1	2.9	2.9	2.3	2.1
	26年産米	0.0	0.0	0.2	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.1	1.4	1.1	1.0
	1年古米(25年産)	0.9	0.9	1.2	1.6	1.7	1.8	1.7	1.6	1.3	1.2	0.9	0.7
愛媛	出荷+販売段階	5.4	5.8	8.6	15.0	17.1	15.7	14.1	12.8	11.4	9.8	8.3	7.0
	26年産米	0.0	1.8	5.2	11.8	14.6	13.5	11.9	10.9	9.7	8.3	7.1	5.9
	1年古米(25年産)	5.4	4.0	3.4	3.2	2.5	2.3	2.1	1.9	1.7	1.5	1.2	1.0
	出荷段階	5.1	5.4	8.1	14.4	14.4	13.2	11.7	10.6	9.4	8.0	6.8	5.7
	26年産米	0.0	1.8	5.0	11.5	14.4	13.2	11.7	10.6	9.4	8.0	6.8	5.7
	1年古米(25年産)	5.1	3.7	3.1	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	0.4	0.4	0.4	0.6	2.7	2.5	2.4	2.2	2.0	1.8	1.5	1.3
	26年産米	0.0	0.1	0.1	0.3	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.3	0.2
	1年古米(25年産)	0.3	0.3	0.3	0.3	2.4	2.2	2.1	1.9	1.7	1.5	1.2	1.0
高知	出荷+販売段階	4.3	11.2	10.6	11.1	10.1	8.6	7.6	6.7	4.9	4.0	3.2	2.3
	26年産米	0.7	8.2	8.1	8.9	8.0	6.8	5.9	5.1	3.7	3.0	2.3	1.5
	1年古米(25年産)	2.8	2.2	1.8	1.6	1.5	1.4	1.4	1.3	1.1	1.0	0.9	0.7
	出荷段階	2.4	7.2	6.8	6.8	6.2	5.3	4.6	3.9	2.8	2.2	1.7	0.6
	26年産米	0.5	5.7	5.7	6.2	5.6	4.7	4.1	3.4	2.4	1.9	1.4	0.4
	1年古米(25年産)	1.8	1.4	1.1	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2
	販売段階	1.9	4.0	3.8	4.4	3.9	3.3	3.0	2.8	2.1	1.7	1.5	1.7
	26年産米	0.1	2.5	2.5	2.8	2.4	2.0	1.8	1.7	1.4	1.1	0.9	1.1
	1年古米(25年産)	0.9	0.7	0.7	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9	0.7	0.6	0.6	0.6
福岡	出荷+販売段階	17.4	12.2	18.1	37.0	45.5	58.0	60.7	56.7	49.5	42.3	35.2	27.8
	26年産米	0.0	0.1	10.3	29.8	39.4	53.0	56.2	52.8	46.2	39.6	32.9	25.8
	1年古米(25年産)	16.9	11.7	7.5	6.9	5.8	4.8	4.3	3.8	3.2	2.7	2.2	1.9
	出荷段階	15.3	10.5	14.2	28.6	37.9	51.4	55.1	51.1	44.5	37.7	31.5	24.3
	26年産米	0.0	0.1	7.5	24.8	34.7	48.9	52.9	49.6	43.2	36.6	30.6	23.7
	1年古米(25年産)	15.2	10.4	6.5	3.7	3.1	2.5	2.2	1.5	1.3	1.1	0.8	0.7
	販売段階	2.1	1.7	4.0	8.4	7.6	6.6	5.6	5.6	4.9	4.6	3.7	3.4
	26年産米	0.0	0.0	2.7	4.9	4.7	4.0	3.4	3.2	3.0	3.0	2.3	2.1
	1年古米(25年産)	1.7	1.4	0.9	3.2	2.7	2.4	2.1	2.3	1.9	1.6	1.4	1.2
佐賀	出荷+販売段階	10.3	7.9	7.8	25.7	30.7	33.6	33.0	31.7	29.0	25.1	21.9	17.6
	26年産米	0.0	0.4	2.9	22.7	28.1	31.6	31.4	30.7	28.3	24.7	21.7	17.4
	1年古米(25年産)	10.1	7.3	4.7	2.8	2.5	1.9	1.5	1.0	0.7	0.4	0.2	0.1
	出荷段階	8.8	6.5	6.4	22.0	27.2	30.5	30.3	29.6	27.3	23.4	20.5	16.3
	26年産米	0.0	0.3	2.6	21.8	26.9	30.3	30.1	29.5	27.2	23.3	20.5	16.3
	1年古米(25年産)	8.8	6.2	3.8	0.3	0.3	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	1.4	1.4	1.3	3.6	3.5	3.1	2.7	2.2	1.8	1.8	1.4	1.2
	26年産米	0.0	0.1	0.3	1.0	1.2	1.3	1.2	1.1	1.1	1.4	1.2	1.1
	1年古米(25年産)	1.3	1.1	0.9	2.5	2.2	1.7	1.4	1.0	0.7	0.4	0.2	0.1

注: 本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

(長崎から沖縄)

(単位:玄米千トン)

		26年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
長崎	出荷+販売段階	3.4	2.9	3.2	6.5	11.1	10.7	11.0	10.4	9.5	6.8	5.8	4.5
	26年産米	0.0	0.3	1.6	5.3	10.1	10.0	10.4	10.1	9.4	6.7	5.7	4.5
	1年古米(25年産)	3.4	2.6	1.6	1.2	0.9	0.7	0.5	0.4	0.2	0.1	0.0	0.0
	出荷段階	3.2	2.6	2.8	5.5	10.0	9.9	10.3	9.9	9.2	6.4	5.4	4.2
	26年産米	0.0	0.2	1.4	4.9	9.6	9.6	10.0	9.7	9.1	6.4	5.4	4.2
	1年古米(25年産)	3.2	2.4	1.4	0.6	0.5	0.3	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	0.3	0.3	0.4	1.0	1.0	0.8	0.7	0.6	0.4	0.4	0.3	0.3
	26年産米	0.0	0.0	0.2	0.4	0.6	0.5	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2
	1年古米(25年産)	0.2	0.2	0.2	0.6	0.5	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0
熊本	出荷+販売段階	17.9	15.9	14.1	39.3	50.3	53.8	49.0	43.0	36.5	30.4	25.3	19.2
	26年産米	0.0	2.8	5.9	34.2	46.4	50.9	46.6	41.0	35.0	29.1	24.4	18.5
	1年古米(25年産)	17.1	12.6	7.8	4.9	3.7	2.8	2.4	1.8	1.4	1.3	0.8	0.6
	出荷段階	13.7	11.6	9.6	29.5	40.0	44.3	41.0	36.0	30.5	24.2	19.8	15.0
	26年産米	0.0	1.7	3.9	27.1	38.3	42.9	40.0	35.3	30.3	24.0	19.8	15.0
	1年古米(25年産)	13.6	9.8	5.7	2.4	1.8	1.4	1.0	0.7	0.3	0.3	0.0	0.0
	販売段階	4.2	4.4	4.5	9.8	10.2	9.5	8.0	6.9	6.0	6.2	5.4	4.2
	26年産米	0.0	1.1	2.0	7.1	8.2	8.0	6.6	5.7	4.8	5.1	4.6	3.5
	1年古米(25年産)	3.5	2.7	2.2	2.6	1.9	1.4	1.3	1.2	1.1	1.0	0.8	0.6
大分	出荷+販売段階	8.6	7.0	5.5	16.2	24.2	23.7	22.1	20.2	17.7	14.8	12.6	10.1
	26年産米	0.0	0.4	1.0	12.4	21.0	21.2	20.1	18.1	16.1	13.5	11.4	9.1
	1年古米(25年産)	7.6	5.6	3.7	3.0	2.5	1.9	1.5	1.5	1.1	0.9	0.7	0.6
	出荷段階	6.7	5.2	3.7	12.5	19.4	19.0	17.9	16.2	14.1	11.8	10.0	8.1
	26年産米	0.0	0.3	0.7	10.4	17.6	17.7	17.0	15.3	13.5	11.2	9.5	7.7
	1年古米(25年産)	6.0	4.3	2.6	1.8	1.5	1.0	0.8	0.7	0.5	0.4	0.4	0.3
	販売段階	1.9	1.8	1.8	3.6	4.8	4.7	4.2	3.9	3.6	3.0	2.6	2.0
	26年産米	0.0	0.1	0.3	2.0	3.3	3.5	3.1	2.8	2.6	2.3	1.9	1.4
	1年古米(25年産)	1.5	1.3	1.1	1.2	1.1	0.8	0.7	0.8	0.7	0.4	0.4	0.3
宮崎	出荷+販売段階	8.0	8.5	5.5	11.4	13.6	13.8	12.3	10.7	8.7	6.9	5.1	3.7
	26年産米	2.8	4.8	2.9	9.6	11.9	12.2	11.2	9.9	8.1	6.4	4.8	3.4
	1年古米(25年産)	4.2	3.0	2.2	1.4	1.3	1.2	0.9	0.7	0.5	0.3	0.2	0.2
	出荷段階	5.9	5.8	3.7	9.2	11.3	11.4	10.2	8.9	7.1	5.2	3.5	2.3
	26年産米	2.4	3.3	1.9	8.2	10.2	10.5	9.6	8.5	6.8	5.1	3.5	2.3
	1年古米(25年産)	3.3	2.4	1.8	1.1	1.0	0.8	0.6	0.4	0.3	0.2	0.0	0.0
	販売段階	2.1	2.6	1.9	2.2	2.3	2.3	2.1	1.8	1.6	1.7	1.6	1.4
	26年産米	0.4	1.5	1.0	1.5	1.7	1.7	1.6	1.4	1.3	1.4	1.3	1.2
	1年古米(25年産)	0.8	0.6	0.4	0.4	0.3	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1
鹿児島	出荷+販売段階	10.4	14.8	11.2	19.8	22.6	22.5	21.0	19.6	17.5	15.9	13.3	10.7
	26年産米	0.6	6.7	4.8	14.8	18.5	20.0	18.8	17.3	15.3	13.9	11.4	8.9
	1年古米(25年産)	8.8	7.2	5.6	4.2	3.5	2.1	1.9	2.0	1.9	1.8	1.7	1.5
	出荷段階	7.0	8.5	6.0	13.4	16.0	16.7	15.9	14.4	12.8	11.2	8.8	7.0
	26年産米	0.3	3.0	1.9	10.4	13.7	15.7	15.2	13.8	12.3	10.8	8.4	6.7
	1年古米(25年産)	6.6	5.4	4.1	2.9	2.3	1.0	0.7	0.7	0.5	0.4	0.3	0.3
	販売段階	3.4	6.3	5.1	6.4	6.6	5.8	5.1	5.2	4.7	4.7	4.5	3.6
	26年産米	0.3	3.7	2.9	4.4	4.8	4.3	3.6	3.6	3.0	3.1	3.0	2.2
	1年古米(25年産)	2.2	1.7	1.4	1.3	1.2	1.1	1.2	1.4	1.5	1.4	1.3	1.2
沖縄	出荷+販売段階	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.3
	26年産米	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	1年古米(25年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	出荷段階	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年産米	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1年古米(25年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
	26年産米	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1年古米(25年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

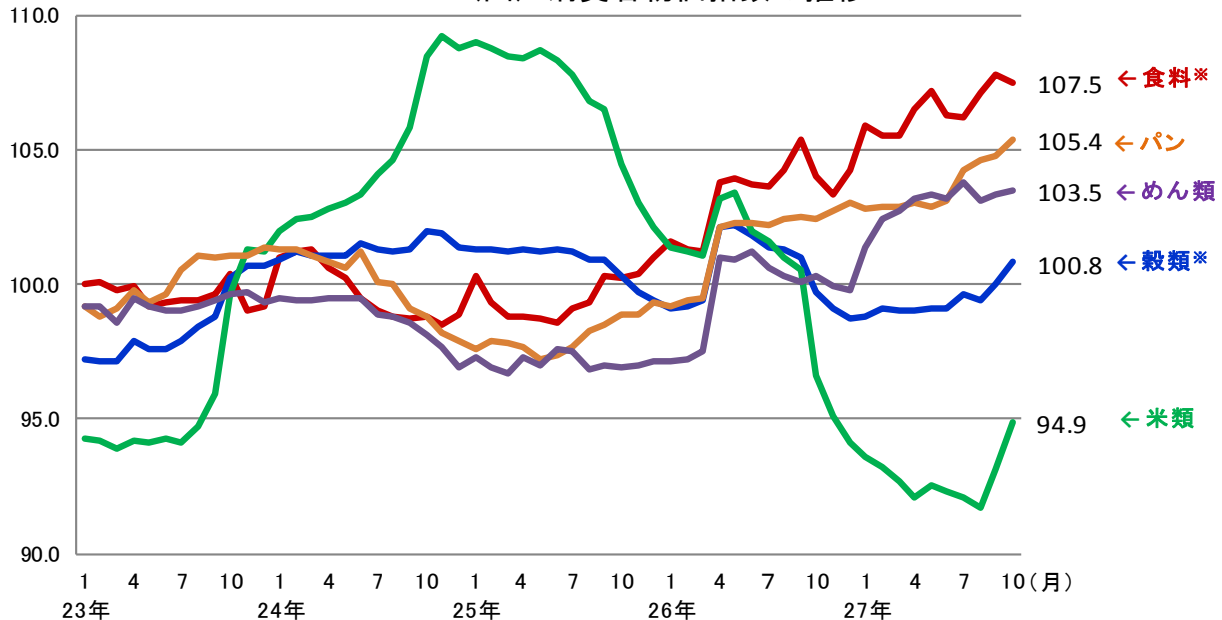
注: 本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

- ・ 総務省が公表している消費者物価指数によると、平成27年10月の米類の指数は、先月より+2ポイントの95ポイント。
- ・ なお、前年同月との比較では▲2ポイント。

Ⅲ 小売・消費段階の動向

(1) 消費者物価指数の推移

(図) 消費者物価指数の推移



- 注：1 図中の実線は、平成22年の平均価格を100とした数値となる。
 2 図中の数値は、平成27年10月の消費者物価指数となる。
 3 図中の食料とは穀類、魚介類、肉類等を、穀類とは米類、パン、めん類、他の穀類をいう。

(表) 消費者物価指数の推移 (対前年同月比)

	食料		穀類		米類		うるち米		パン		めん類	
	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	
平成17年	96.8	▲0.9%	98.5	▲6.6%	109.8	▲13.3%	109.8	▲12.9%	91.6	▲1.1%	91.2	▲0.9%
平成18年	97.3	0.5%	96.8	▲1.7%	106.4	▲3.1%	106.5	▲3.0%	91.5	▲0.1%	90.1	▲1.2%
平成19年	97.6	0.3%	96.4	▲0.4%	104.5	▲1.8%	104.7	▲1.7%	92.1	0.7%	89.7	▲0.4%
平成20年	100.1	2.6%	102.6	6.4%	103.2	▲1.2%	103.4	▲1.2%	103.8	12.7%	100.2	11.7%
平成21年	100.3	0.2%	103.3	0.7%	103.6	0.4%	103.6	0.2%	104.0	0.2%	101.9	1.7%
平成22年	100.0	▲0.3%	100.0	▲3.2%	100.0	▲3.5%	100.0	▲3.5%	100.0	▲3.8%	100.0	▲1.9%
平成23年	99.6	▲0.4%	98.4	▲1.6%	96.0	▲4.0%	95.9	▲4.1%	100.2	0.2%	99.2	▲0.8%
平成24年	99.7	0.1%	101.3	2.9%	104.8	9.2%	105.1	9.6%	100.0	▲0.2%	98.8	▲0.4%
平成25年	99.6	▲0.1%	100.8	▲0.5%	106.9	2.0%	107.3	2.1%	98.1	▲1.9%	97.1	▲1.7%
平成26年	103.4	3.8%	100.4	▲0.4%	100.1	▲6.4%	100.1	▲6.7%	101.7	3.7%	99.7	2.7%
平成27年1月	105.9	4.2%	98.8	▲0.3%	93.6	▲7.7%	93.3	▲8.3%	102.8	3.6%	101.4	4.4%
2月	105.5	4.1%	99.1	▲0.1%	93.2	▲7.9%	92.8	▲8.4%	102.9	3.5%	102.4	5.3%
3月	105.5	4.2%	99.0	▲0.4%	92.7	▲8.3%	92.3	▲8.9%	102.9	3.4%	102.7	5.3%
4月	106.5	2.6%	99.0	▲3.0%	92.1	▲10.8%	91.6	▲11.3%	103.0	0.9%	103.2	2.2%
5月	107.2	3.2%	99.1	▲3.0%	92.5	▲10.5%	92.1	▲11.0%	102.9	0.6%	103.3	2.4%
6月	106.3	2.5%	99.1	▲2.7%	92.3	▲9.5%	91.8	▲10.0%	103.1	0.8%	103.2	2.0%
7月	106.2	2.5%	99.6	▲1.8%	92.1	▲9.4%	91.6	▲9.9%	104.2	2.0%	103.8	3.2%
8月	107.1	2.8%	99.4	▲1.9%	91.7	▲9.2%	91.2	▲9.8%	104.6	2.1%	103.1	2.8%
9月	107.8	2.3%	100.0	▲1.0%	93.1	▲7.4%	92.6	▲7.9%	104.8	2.2%	103.3	3.2%
10月	107.5	3.4%	100.8	1.1%	94.9	▲1.8%	94.5	▲1.9%	105.4	2.9%	103.5	3.2%

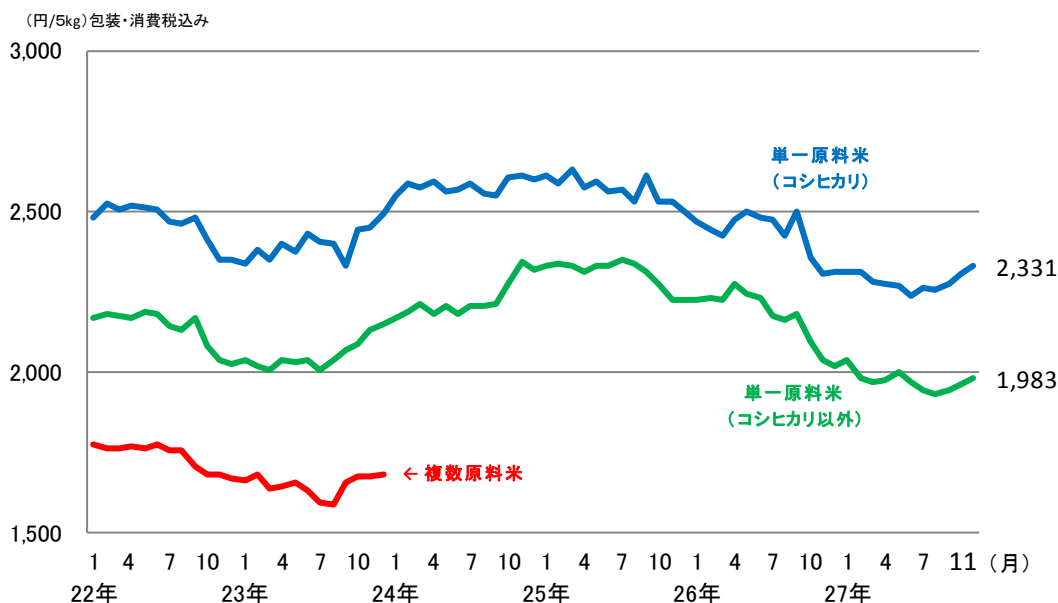
資料：総務省「消費者物価指数」(平成22年基準)

- 注：1 表中の数値は、平成22年の平均価格を100として指数化したものである。
 2 食料は、穀類以外にも、魚介類、肉類等を含んでいる。
 3 穀類は、米類(うるち米、もち米)、パン、めん類、他の穀類からなる。
 4 平成17年から平成26年のデータは年平均、平成27年1月以降は月次データを用いている。

- 総務省が公表している小売物価統計によると、平成27年11月のうるち米の小売価格（5kg当たり）は、単一原料米（コシヒカリ）で、前月より+1%、前年同月より+1%の2,331円。
- 単一原料米（コシヒカリ以外）は、前月より+1%、前年同月より▲3%の1,983円。

(2) 小売物価統計の推移

(図) 小売物価統計の推移



(表) 小売物価統計の推移

(単位：円/5kg 包装・消費税込み)

	うるち米				
	単一原料米 (コシヒカリ)	対前年 (同月)比	単一原料米 (コシヒカリ以外)	対前年 (同月)比	複数原料米
平成17年	2,804	-	2,375	-	2,040
平成18年	2,744	▲2.1%	2,341	▲1.4%	1,996
平成19年	2,670	▲2.7%	2,288	▲2.3%	1,950
平成20年	2,610	▲2.2%	2,270	▲0.8%	1,832
平成21年	2,531	▲3.0%	2,201	▲3.0%	1,812
平成22年	2,462	▲2.7%	2,136	▲3.0%	1,739
平成23年	2,399	▲2.5%	2,053	▲3.9%	1,649
平成24年	2,577	7.4%	2,223	8.3%	-
平成25年	2,567	▲0.4%	2,307	3.8%	-
平成26年	2,428	▲5.4%	2,173	▲5.8%	-
平成27年1月	2,311	▲6.3%	2,035	▲8.5%	-
2月	2,314	▲5.2%	1,981	▲11.1%	-
3月	2,279	▲5.9%	1,969	▲11.3%	-
4月	2,271	▲8.2%	1,972	▲13.4%	-
5月	2,265	▲9.3%	2,002	▲10.7%	-
6月	2,239	▲9.8%	1,970	▲11.7%	-
7月	2,263	▲8.5%	1,946	▲10.6%	-
8月	2,253	▲6.9%	1,931	▲10.6%	-
9月	2,275	▲8.9%	1,942	▲10.8%	-
10月	2,307	▲2.1%	1,961	▲6.3%	-
11月	2,331	1.2%	1,983	▲2.6%	-

資料：総務省「小売物価統計」

注1：東京都区部の数値である。

2：特売を除いた価格である。

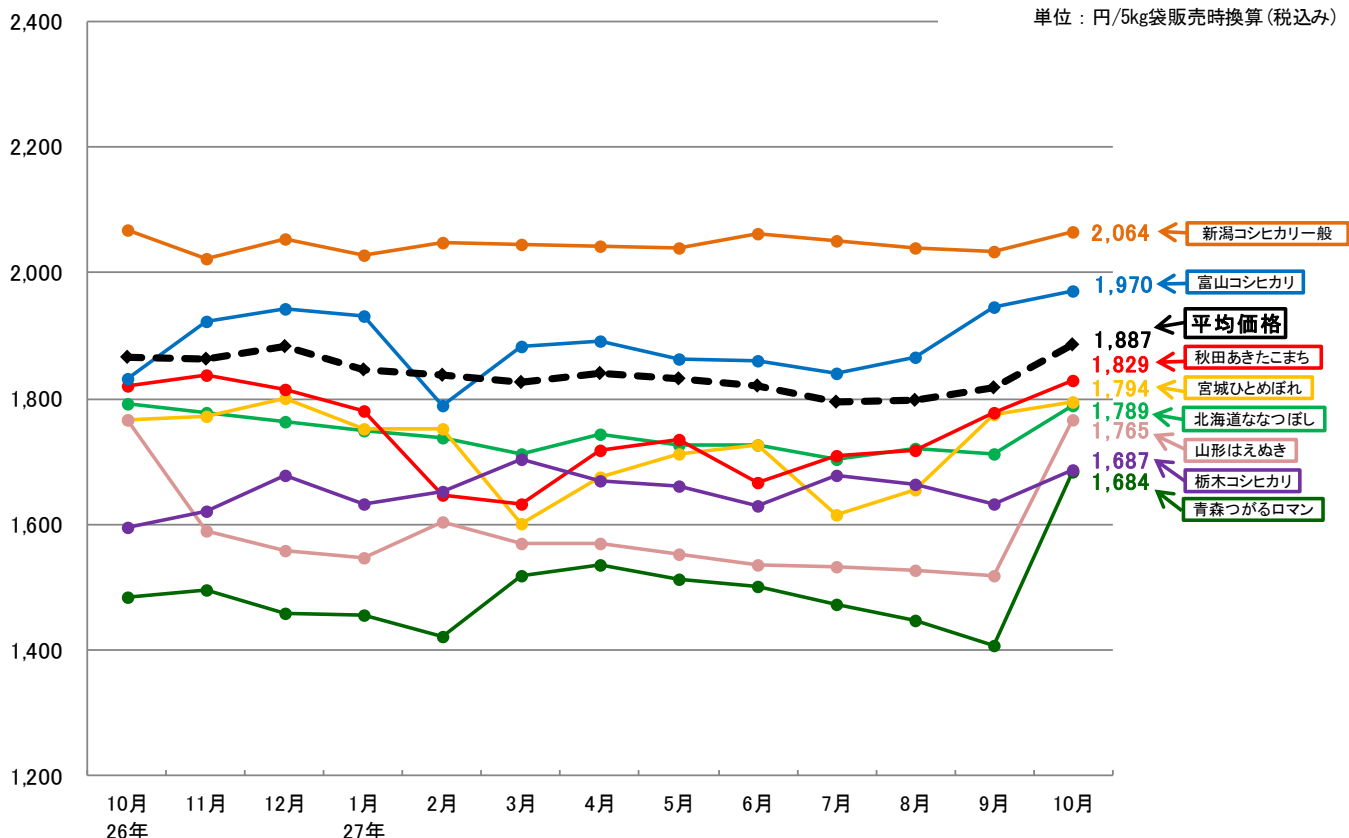
3：精米ベースである。

4：複数原料米については、平成23年12月をもって調査が終了した。

平成27年10月の小売価格(POSデータ)の平均価格(5kg当たり)は、前月より+69円(+4%)、前年同月より+22円(+1%)の1,887円。

(3) 小売価格の推移 (POSデータ)

(図)小売価格の推移



(表)小売価格の推移

単位：円/5kg袋販売時換算(消費税込み)

	品種銘柄									全POS取引 平均価格
	北海道 ななつぼし	青森 つがるロマン	宮城 ひとめぼれ	秋田 あきたこまち	山形 はえぬき	栃木 コシヒカリ	新潟 コシヒカリ一般	富山 コシヒカリ		
26年10月	1,790	1,486	1,767	1,819	1,765	1,596	2,067	1,830	1,865	
11月	1,777	1,494	1,771	1,836	1,589	1,620	2,022	1,923	1,864	
12月	1,762	1,459	1,799	1,816	1,559	1,678	2,054	1,943	1,883	
27年1月	1,750	1,455	1,753	1,780	1,547	1,631	2,027	1,932	1,846	
2月	1,738	1,422	1,753	1,646	1,605	1,652	2,047	1,789	1,838	
3月	1,712	1,518	1,601	1,632	1,570	1,702	2,046	1,882	1,824	
4月	1,743	1,534	1,674	1,718	1,571	1,670	2,043	1,890	1,839	
5月	1,725	1,512	1,713	1,735	1,553	1,659	2,038	1,863	1,831	
6月	1,725	1,500	1,726	1,665	1,535	1,629	2,061	1,859	1,819	
7月	1,703	1,472	1,614	1,709	1,533	1,677	2,052	1,839	1,795	
8月	1,722	1,448	1,655	1,716	1,526	1,662	2,038	1,866	1,798	
9月	1,713	1,407	1,775	1,776	1,519	1,633	2,034	1,945	1,818	
10月	1,789	1,684	1,794	1,829	1,765	1,687	2,064	1,970	1,887	
対前月比	4.5%	19.7%	1.1%	3.0%	16.2%	3.3%	1.5%	1.3%	3.8%	
対前年同月比	▲ 0.1%	13.3%	1.6%	0.5%	0.0%	5.7%	▲ 0.1%	7.7%	1.2%	

資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注：1 (株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約970店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

2 POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

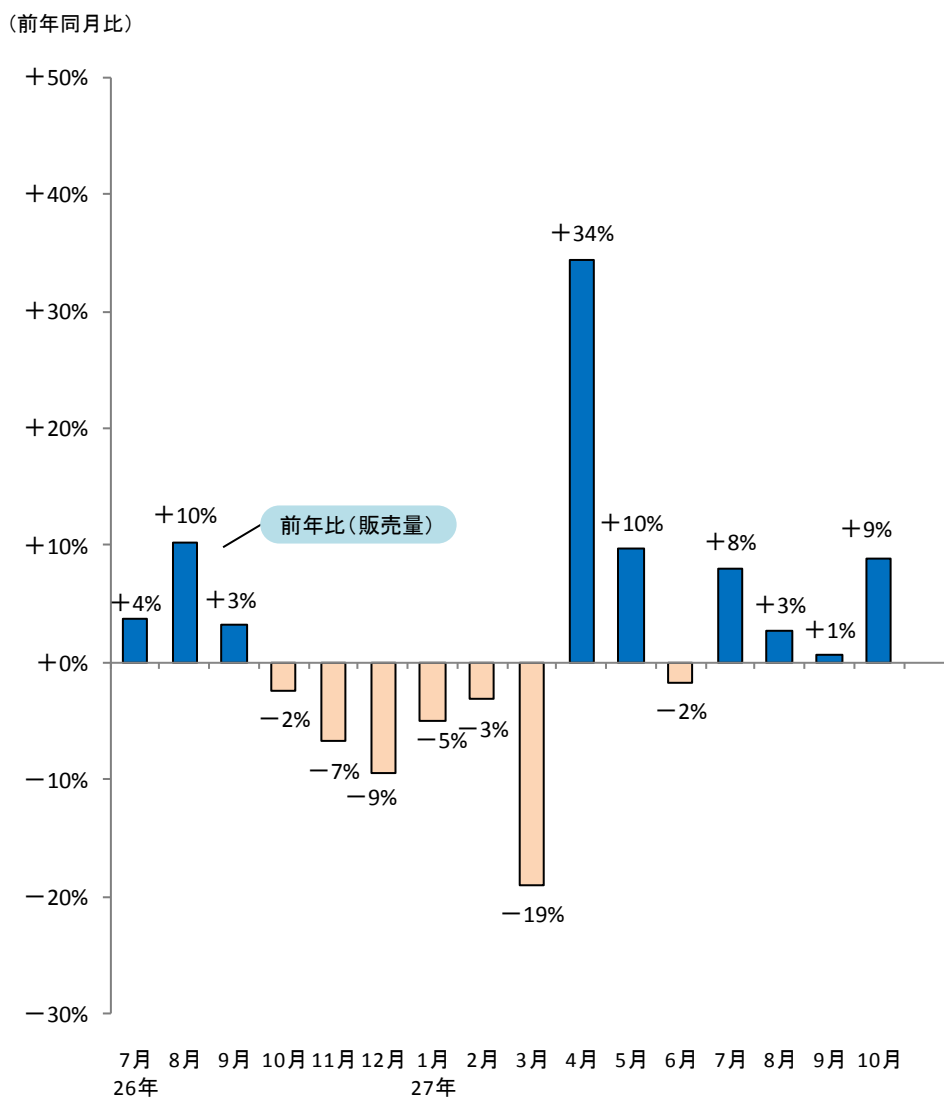
3 POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

4 平均価格は、POSデータで把握できる全ての精米の販売について5kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。

5 価格に含む消費税は8%である。

- 平成27年10月の小売店における精米販売量（POSデータ）は、前年同月に比べ+9%。

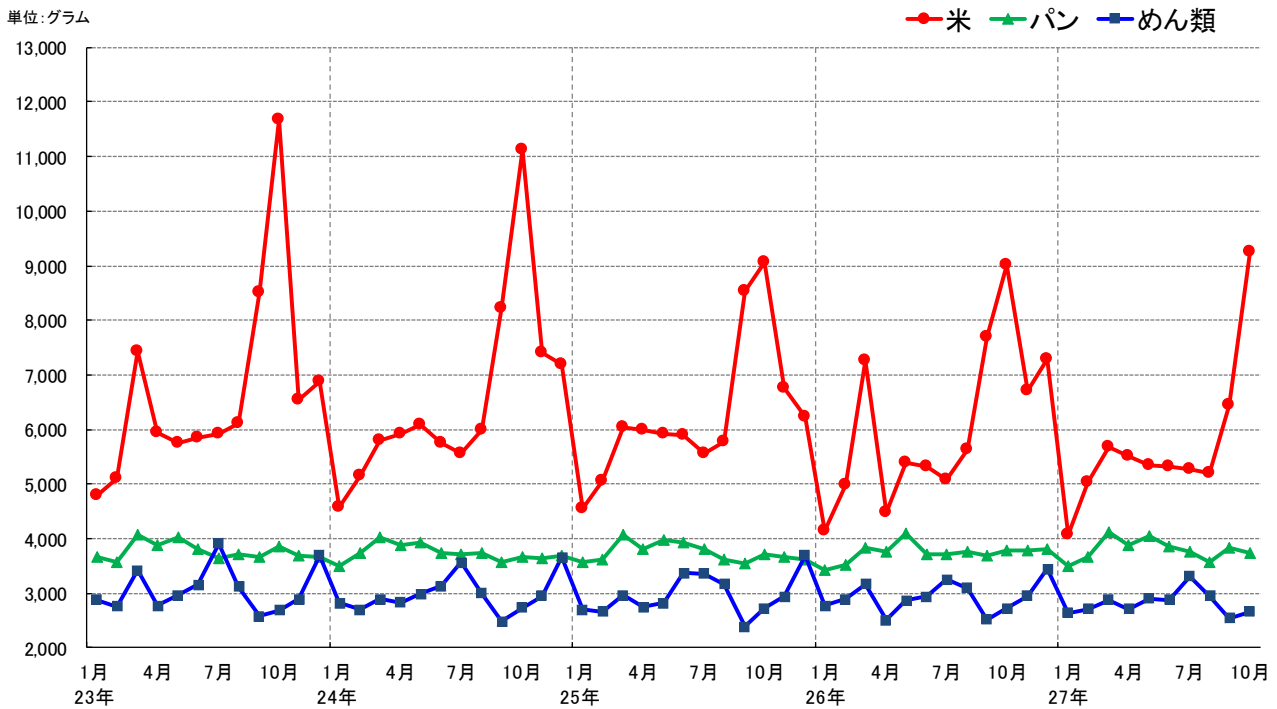
（参考）小売店における精米販売の状況（POSデータ）



- 注：1 各月の全POS取引の平均価格及び数量の前年比である。
 2 留意点は前頁の表脚注を参照。

総務省が公表している家計調査によると、平成27年10月の米の購入数量は、前年同月との比較で+3%の9.3kg、パンについては▲1%の3.7kg、めん類については▲2%の2.7kg。

(4) 購入数量の推移(家計調査) (図)購入数量の推移



(表)購入数量の推移

(単位：グラム)

	米		パン		めん類	
	購入数量	対前年 (同月)比	購入数量	対前年 (同月)比	購入数量	対前年 (同月)比
平成20年	88,550	103.8%	44,445	98.2%	35,899	101.2%
平成21年	85,110	96.1%	45,599	102.6%	36,615	102.0%
平成22年	83,010	97.5%	45,443	99.7%	37,000	101.1%
平成23年	80,580	97.1%	45,255	99.6%	36,931	99.8%
平成24年	78,780	97.8%	44,808	99.0%	35,819	97.0%
平成25年	75,170	95.4%	44,927	100.3%	35,560	99.3%
平成26年	73,050	97.2%	44,926	100.0%	35,176	98.9%
平成27年1月	4,060	97.8%	3,493	101.9%	2,640	95.4%
2月	5,030	101.0%	3,668	103.9%	2,710	93.8%
3月	5,690	78.4%	4,121	107.7%	2,879	90.9%
4月	5,500	123.0%	3,882	102.9%	2,714	108.4%
5月	5,350	99.4%	4,038	98.3%	2,905	101.4%
6月	5,320	99.8%	3,848	103.8%	2,873	97.9%
7月	5,260	103.5%	3,763	101.5%	3,313	101.9%
8月	5,200	92.4%	3,564	94.5%	2,950	95.4%
9月	6,440	83.7%	3,834	103.9%	2,545	101.2%
10月	9,250	102.7%	3,735	98.7%	2,662	97.8%

資料：総務省「家計調査」

- 注：1 二人以上の世帯の数値である。
 2 平成20年から平成26年については、年間の購入数量を示す。
 3 精米ベースである。

- 米穀機構が公表している「米の消費動向」(平成27年10月)によると、1人1ヵ月当たりの精米消費量は、前年同月との比較で▲13%。
- このうち、家庭内での消費量は前年同月との比較で▲15%、中・外食は同▲7%。

(5) 米の消費動向(米穀機構による調査)

〔○ 本調査は、調査実施機関(株)マクロミルのモニターの中から、本調査への協力の意向を示した消費世帯を対象としている(インターネット調査)。〕

① 1人1ヵ月当たり精米消費量の推移

(上段:対前年同月比、下段:実数(精米g/人))

	平成26年4月		平成26年5月		平成26年6月		平成26年7月		平成26年8月		平成26年9月	
	内訳		内訳		内訳		内訳		内訳		内訳	
合計	+4.3%	4,986	+5.7%	4,834	+1.5%	4,643	+2.9%	4,500	+3.6%	4,387	+2.2%	4,495
家庭内	+11.4%	3,529	+9.3%	3,374	+6.0%	3,232	+9.5%	3,163	+9.9%	3,053	+6.5%	3,183
中・外食	▲9.5%	1,457	▲1.9%	1,460	▲7.6%	1,411	▲10.0%	1,337	▲8.3%	1,334	▲6.9%	1,312
中食	▲7.1%	865	▲4.5%	841	▲9.3%	810	▲11.4%	765	▲7.3%	740	▲6.3%	761
外食	▲12.8%	592	+1.8%	619	▲5.2%	601	▲8.0%	572	▲9.5%	594	▲7.9%	551
	平成26年10月		平成26年11月		平成26年12月		平成27年1月		平成27年2月		平成27年3月	
合計	+2.1%	4,624	+4.2%	4,629	▲1.5%	4,299	▲0.4%	4,380	▲1.1%	4,537	▲0.1%	4,333
家庭内	+8.0%	3,291	+10.5%	3,283	+5.3%	3,015	+5.1%	3,128	+2.1%	3,264	+6.3%	3,077
中・外食	▲9.9%	1,334	▲8.5%	1,346	▲14.3%	1,285	▲11.8%	1,252	▲8.5%	1,273	▲12.8%	1,257
中食	▲11.7%	765	▲9.7%	749	▲16.4%	711	▲14.6%	703	▲11.7%	701	▲15.5%	687
外食	▲7.5%	569	▲7.2%	597	▲11.6%	574	▲7.9%	549	▲4.0%	572	▲9.5%	569
	平成27年4月		平成27年5月		平成27年6月		平成27年7月		平成27年8月		平成27年9月	
合計	▲2.2%	4,877	▲7.5%	4,472	▲4.5%	4,436	▲9.8%	4,058	▲14.0%	3,774	▲11.3%	3,989
家庭内	▲5.0%	3,351	▲10.3%	3,025	▲5.5%	3,055	▲12.1%	2,781	▲14.4%	2,612	▲12.4%	2,788
中・外食	+4.7%	1,526	▲0.9%	1,447	▲2.1%	1,381	▲4.5%	1,277	▲12.9%	1,162	▲8.5%	1,201
中食	+5.0%	908	+2.7%	864	+3.6%	839	▲3.0%	742	▲13.0%	644	▲12.1%	669
外食	+4.4%	618	▲5.8%	583	▲10.0%	541	▲6.3%	536	▲12.8%	518	▲3.6%	531
	平成27年10月											
合計	▲12.7%	4,038										
家庭内	▲15.2%	2,791										
中・外食	▲6.5%	1,247										
中食	▲5.1%	726										
外食	▲8.4%	521										

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注：1 27年10月分の有効調査世帯数は2,093世帯。

2 家庭内消費量については、調査当月の月初と月末の精米在庫量及び精米購入数量から把握、中食・外食の消費量については、調査当月の家庭炊飯以外で食べた米飯の数量から推計。

3 集計に際しては、地域毎に世帯人員構成比が平成22年国勢調査「世帯人員構成比」に沿うよう調整した上で推計。

4 四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある。

米穀機構が公表している「米の消費動向」(平成27年10月)によると、精米購入時の入手経路、購入数量ともに「スーパーマーケット」が最も多く、次いで「家族・知人などから無償で入手」が多い。

② 精米購入時の動向

(ア) 入手経路(複数回答)

(%)

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウントストア	コンビニエンスストア	生協(店舗・共同購入含む)	農協(店舗・共同購入含む)	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	家族・知人などから無償で入手	その他
平成23年度	0.7	45.9	3.7	4.2	0.4	8.6	1.4	3.8	1.3	6.8	6.4	23.5	2.2
平成24年度	1.0	45.1	4.3	3.4	0.3	7.8	1.8	4.2	1.8	7.0	7.4	22.9	2.0
平成25年度	0.7	47.4	3.8	2.8	0.3	7.1	1.6	3.8	1.8	6.8	10.0	20.8	1.6
平成26年度	1.2	48.7	4.1	2.4	0.2	8.2	1.5	3.5	2.0	6.7	8.7	19.5	2.6
平成27年4月	1.6	51.2	4.1	2.7	0.2	7.1	1.0	3.3	1.1	4.1	9.5	16.9	2.9
5月	2.2	49.9	3.4	2.7	0.1	6.8	0.5	3.6	1.3	5.6	8.4	19.6	2.7
6月	2.2	49.0	4.0	3.3	0.1	8.1	1.0	3.0	1.3	4.1	10.7	17.3	2.6
7月	2.9	50.1	4.3	1.6	0.05	7.8	0.5	4.5	1.8	5.1	9.7	15.5	2.7
8月	2.3	51.5	3.8	1.9	0.1	6.1	0.9	3.2	1.4	3.4	9.8	21.3	2.1
9月	1.0	51.2	3.6	2.5	0.1	8.1	0.5	3.7	1.3	4.9	9.6	21.2	1.8
10月	1.3	45.1	4.3	2.0	0.05	6.9	1.9	3.7	1.2	5.6	9.5	27.2	3.6

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注：1 平成23～26年度は各年4月から翌年3月までの平均値。

2 27年10月分の有効調査世帯数は1,362世帯。

(イ) 入手経路別の購入数量

(kg, %)

		デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウントストア	コンビニエンスストア	生協(店舗・共同購入含む)	農協(店舗・共同購入含む)	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	家族・知人などから無償で入手	有効調査世帯数
27年4月	購入数量	87	4,405	396	315	11	541	139	314	115	958	980	2,029	1,057
	比率	0.8	42.8	3.8	3.1	0.1	5.3	1.4	3.1	1.1	9.3	9.5	19.7	
	世帯平均購入数量	5.3	8.2	9.2	11.0	6.4	7.2	12.7	9.0	10.3	22.0	9.8	11.4	
5月	購入数量	143	4,490	362	222	3	551	81	372	141	1,127	893	2,275	1,098
	比率	1.3	42.1	3.4	2.1	0.0	5.2	0.8	3.5	1.3	10.6	8.4	21.3	
	世帯平均購入数量	6.1	8.2	9.8	7.6	4.4	7.5	13.6	9.5	9.9	18.2	9.7	10.6	
6月	購入数量	155	5,283	426	376	8	780	147	449	153	893	1,306	2,107	1,321
	比率	1.3	43.7	3.5	3.1	0.1	6.5	1.2	3.7	1.3	7.4	10.8	17.4	
	世帯平均購入数量	5.3	8.2	8.1	8.7	4.7	7.3	11.2	11.3	9.3	16.4	9.2	9.2	
7月	購入数量	195	5,052	424	195	3	704	70	477	155	1,032	1,261	1,678	1,203
	比率	1.7	44.9	3.8	1.7	0.03	6.3	0.6	4.2	1.4	9.2	11.2	14.9	
	世帯平均購入数量	5.7	8.4	8.2	10.0	5.0	7.5	11.2	8.8	7.4	16.7	10.8	9.0	
8月	購入数量	168	4,331	331	196	3	512	118	293	129	636	1,046	2,388	1,064
	比率	1.7	42.7	3.3	1.9	0.03	5.0	1.2	2.9	1.3	6.3	10.3	23.5	
	世帯平均購入数量	6.9	7.9	8.2	9.5	5.0	7.8	12.6	8.6	8.6	17.7	10.0	10.5	
9月	購入数量	70	4,240	315	271	4	715	62	337	127	708	1,144	2,508	1,080
	比率	0.7	40.4	3.0	2.6	0.04	6.8	0.6	3.2	1.2	6.7	10.9	23.9	
	世帯平均購入数量	6.8	7.7	8.2	10.0	3.5	8.3	10.7	8.3	8.8	13.4	11.0	10.9	
10月	購入数量	181	4,940	469	243	3	685	238	479	139	1,439	1,502	3,698	1,362
	比率	1.3	35.2	3.3	1.7	0.02	4.9	1.7	3.4	1.0	10.3	10.7	26.4	
	世帯平均購入数量	10.2	8.0	7.9	8.7	5.0	7.3	9.4	9.4	8.2	19.0	11.6	10.0	

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注：世帯平均購入数量は、精米を購入した世帯の平均購入数量。

- 米穀機構が公表している「米の消費動向」(平成27年10月)によると、精米購入時に重視する点は、従来同様、価格・産地・品種の順となっている状況。
- 平成27年10月末の家庭内在庫数量は、6.7kgで前月より+0.5kgとなっている。また、平成23年以降の同時期との比較では最も少ない状況。

(ウ) 重視する点(複数回答)

(%)

	産地	品種	年産	価格	(おいしさ)	適量感	安全性	無洗米	精米年月日	栽培方法	製造販売業者	販売店	その他
平成23年度	49.8	51.4	36.6	77.8	48.8	9.0	31.1	-	27.4	4.5	7.7	4.6	5.0
平成24年度	53.8	51.4	36.8	74.5	49.0	9.0	32.4	11.4	23.9	5.2	8	4.6	2.5
平成25年度	56.7	54.2	38.7	76.6	47.3	8.6	31.6	11.9	24.0	4.6	8.1	4.1	2.1
平成26年度	60.2	58	42.5	76.3	49.7	8.5	32.6	12.1	27.0	5.3	9	5.6	1.4
平成27年4月	57.8	56.6	36.8	75.2	47.7	7.0	30.5	10.1	24.1	4.5	8.4	4.7	3.3
5月	60.4	57.9	38.2	75.7	50.4	7.7	31.1	11.2	25.6	3.3	8.1	5.3	1.8
6月	58.5	58.1	42.0	76.8	47.2	8.6	29.7	10.8	26.3	3.9	7.6	4.5	2.2
7月	62.7	58.0	41.3	76.9	45.8	9.3	29.8	11.9	25.8	4.5	8.4	4.9	1.9
8月	61.4	59.9	42.7	78.3	46.7	9.5	28.5	11.5	28.0	5.3	8.7	5.9	1.7
9月	62.2	61.8	42.4	76.6	46.9	10.1	28.7	12.0	29.5	4.6	7.9	5.0	1.1
10月	60.5	60.1	45.2	75.6	47.9	9.8	29.6	12.7	28.6	5.3	8.3	5.5	1.5

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注：1 平成23～26年度は各年4月から翌年3月までの平均値。

2 「無洗米」は平成24年度から選択肢に加えた。

3 27年10月分の有効調査世帯数は2,093世帯。

(エ) 家庭内の月末在庫数量

(kg/世帯)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
23年度	月末在庫数量	6.8	7.0	7.0	6.7	6.9	6.9	8.3	7.9	8.3	7.6	7.5	7.2
	平均世帯人員	2.51	2.51	2.54	2.53	2.54	2.53	2.53	2.54	2.54	2.54	2.54	2.54
24年度	月末在庫数量	6.1	6.1	6.3	6.2	6.1	6.5	7.3	7.2	7.4	7.1	6.8	6.8
	平均世帯人員	2.42	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41
25年度	月末在庫数量	6.4	6.3	6.3	6.2	6.4	6.6	7.1	7.1	7.2	6.8	6.7	7.7
	平均世帯人員	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.40	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41
26年度	月末在庫数量	6.8	6.8	6.5	6.3	6.5	6.8	7.3	7.5	7.8	7.1	6.8	6.6
	平均世帯人員	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41
27年度	月末在庫数量	6.0	6.1	6.1	6.1	6.2	6.2	6.7					
	平均世帯人員	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40	2.41					

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注：平均世帯人員は、各月の有効調査世帯の平均人員数。

IV 生産段階の動向

(1) 平成27年産水陸稲の収穫量(平成27年12月4日公表の抜粋)

－ 水稲の収穫量(主食用)は744万2,000 t(前年産に比べ44万 t 減少) －

【調査結果の概要】

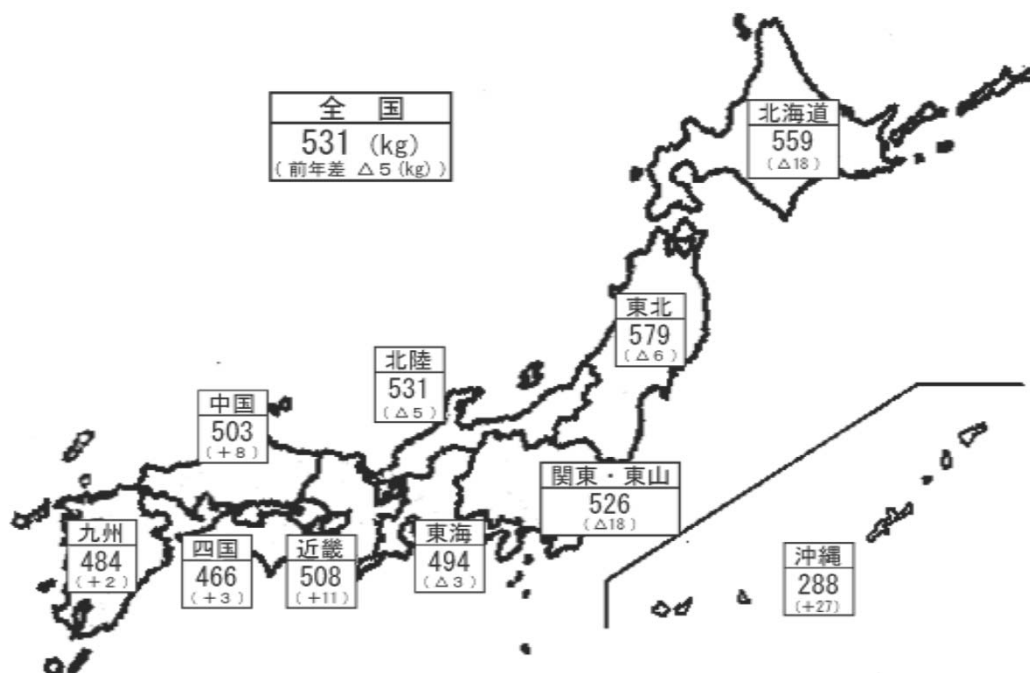
1 平成27年産水稲の作柄は、北海道及び東北では、全もみ数及び登熟がおおむね平年を上回った一方、関東以西では、全もみ数は地域によって差があったものの、8月中旬以降の日照不足や台風等の影響により登熟が総じて平年を下回ったことから、全国の10a当たり収量は平年並みの531kg(前年産に比べ5 kg減少)、収穫量(子実用)は798万6,000 t(同44万9,000 t減少)が見込まれる。

このうち、主食用の収穫量は、744万2,000 tで、前年産に比べ44万 tの減少が見込まれる。

2 ふるい目幅別重量分布について全国平均で見ると、1.85mm未満の玄米の重量割合は4.2%と見込まれ、直近5か年平均値を0.5ポイント上回っている(農家等が使用しているふるい目幅ベースの全国の作況指数は100)。

3 平成27年産陸稲の作付面積(子実用)は1,160ha(前年産に比べ250ha減少)、収穫量(子実用)は2,700 t(同930 t減少)となった。

図1 平成27年産水稲の全国農業地域別10a当たり収量



- 10a 当たり収量及び収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。なお、農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は図2を参照。
- 作付面積(子実用)とは、青刈り面積(飼料用米等を含む。)を除いた面積である。
- 沖縄県については、本公表時点で一部収穫を終えていない地域があり、収穫の状況によっては今後作柄が変動することがある。

- 平成27年産水陸稲の収穫量は「農林水産統計」からの抜粋。詳しくは、下記にて御覧いただけます。
 ホーム > 組織・政策 > 統計情報 > 分野別分類/作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など >
 作物統計 > 作況調査(水陸稲、麦類、豆類、かんしょ、飼肥料作物、工芸農作物)

【 http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html 】

【調査結果】

1 水稻の作柄概況

(1) 平成27年産水稻の全国農業地域別の作柄は、北海道及び東北では、一時低温の時期はあったものの、生育期間を通じておおむね天候に恵まれたことにより、全もみ数は北海道を除いて平年を上回り、登熟もおおむね順調であったことから、北海道はやや良の559kg（作柄が良かった前年産に比べ18kg減少）、東北はやや良の579kg（同6kg減少）となった。

関東から近畿では、8月中旬までは高温・多照傾向で推移したことから、全もみ数は平年並みないしやや多くなったものの、登熟は8月中旬以降の低温・日照不足や台風等による影響がみられたことから、北陸は平年並みの531kg（前年産に比べ5kg減少）、関東・東山はやや不良の526kg（同18kg減少）、東海はやや不良の494kg（同3kg減少）、近畿は平年並みの508kg（同11kg増加）となった。

中国、四国及び九州は、6月以降の断続的な低温・日照不足や台風等の影響により、全もみ数が平年並みないし少なく、登熟も平年を下回ったため、中国はやや不良の503kg（作柄が悪かった前年産に比べ8kg増加）、四国はやや不良の466kg（同3kg増加）、九州はやや不良の484kg（同2kg増加）となった。

沖縄県は、台風の影響等により不良の288kg（作柄が悪かった前年産に比べ27kg増加）が見込まれる。

この結果、全国の10a当たり収量は平年並みの531kg（前年産に比べ5kg減少）が見込まれる。

(2) 以上の結果、収穫量（子実用）は798万6,000t（前年産に比べ44万9,000t減少）が見込まれる。

このうち、主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は744万2,000t（前年産に比べ44万t減少）が見込まれる。

表1 平成27年産水稻の作付面積及び収穫量

	作付面積 (子実用) ①	10a当たり収量			収穫量(子実用)		参 考		
		実 数 ②	前年産 との比較 対 差	前年産 との比較 対 差	実 数 ③=①×②	前年産 との比較 対 差	主食用 作付面積 ④	収 穫 量 (主食用) ⑤=④×②	作況指数
全 国	1,505,000	531	△ 5	7,986,000	△ 449,000	1,406,000	7,442,000	100	
北 海 道	107,800	559	△ 18	602,600	△ 37,900	100,100	559,600	104	
東 北	381,300	579	△ 6	2,209,000	△ 145,000	339,500	1,964,000	103	
北 陸	207,800	531	△ 5	1,104,000	△ 35,000	184,100	977,800	99	
関東・東山	275,100	526	△ 18	1,447,000	△ 147,000	264,200	1,390,000	98	
東 海	95,200	494	△ 3	470,200	△ 24,900	93,100	459,800	98	
近 畿	105,800	508	11	537,200	100	101,900	517,700	100	
中 国	108,100	503	8	543,900	△ 13,000	104,100	523,400	97	
四 国	52,100	466	3	242,800	△ 13,400	51,700	241,000	96	
九 州	170,700	484	2	826,800	△ 32,000	166,300	806,100	96	
沖 縄	788	288	27	2,270	30	788	2,270	94	

注：1 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
 2 収穫量(子実用)及び収穫量(主食用)については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
 3 作況指数は、全国農業地域の農家等が使用しているふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでのふるい目幅(北海道、東北及び北陸は1.85mm、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80mm、四国及び沖縄は1.75mm)以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

2 水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況

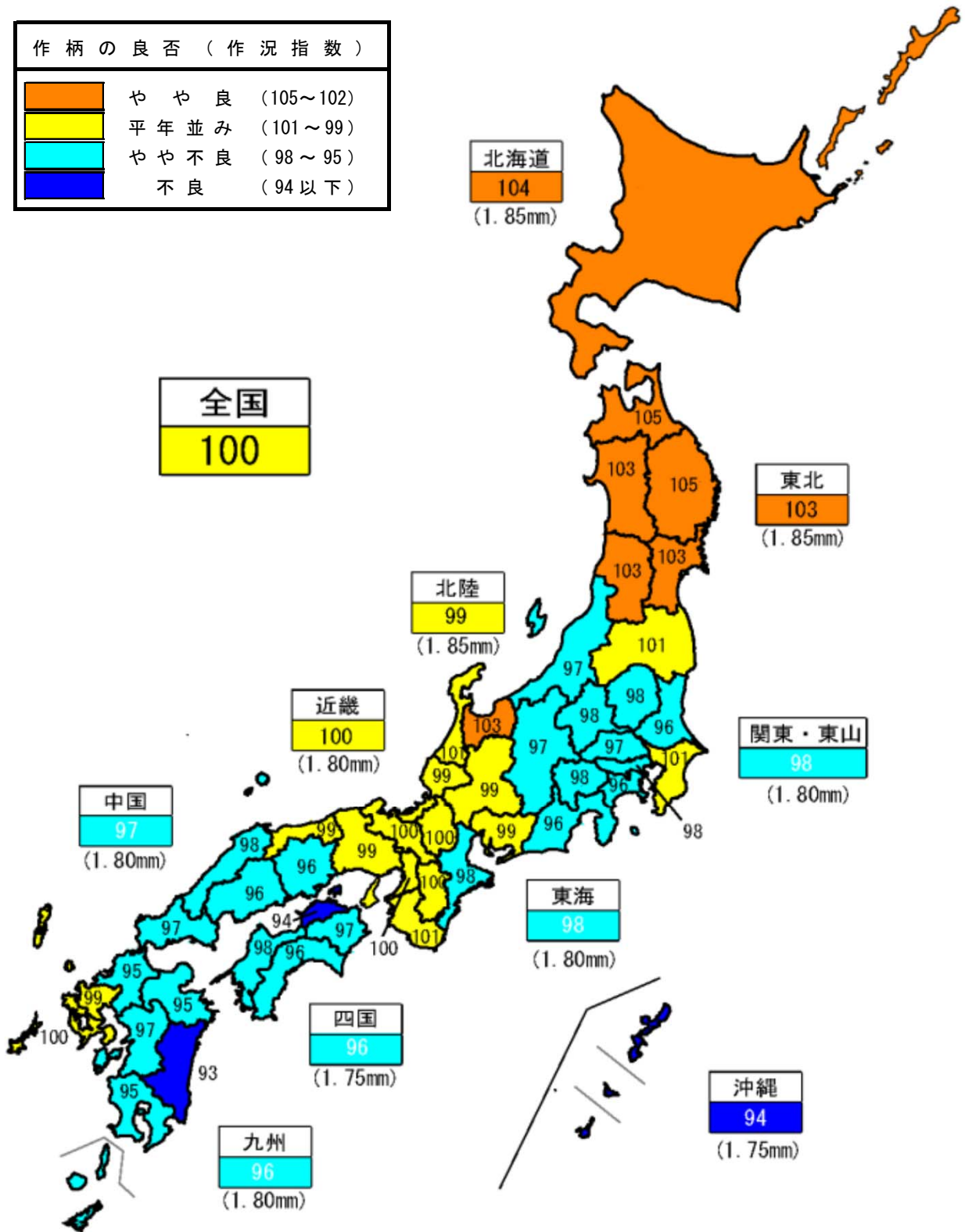
ふるい目幅別重量分布状況を全国農業地域別にみると、全もみ数が少なく登熟期の天候に恵まれた北海道では、1.85mm未満の玄米の重量割合は2.8%と直近5か年平均値に比べ0.1ポイント下回っているが、それ以外の地域では、8月中旬以降の低温・日照不足等により登熟が平年を下回ったことから、1.85mm未満の玄米の重量割合は直近5か年平均値に比べ上回っている。

表2 平成27年産ふるい目幅別重量分布状況

全 国 農業地域	区 分	計	1.70~ 1.75mm	1.75~ 1.80	1.80~ 1.85	1.85~ 1.90	1.90~ 2.00	2.00mm 以上	全 国 農業地域	区 分	計	1.70~ 1.75mm	1.75~ 1.80	1.80~ 1.85	1.85~ 1.90	1.90~ 2.00	2.00mm 以上
全 国	重量割合(%)	100.0	0.8	1.4	2.0	2.7	15.3	77.8	東 海	重量割合(%)	100.0	0.7	1.2	1.7	2.3	12.7	81.4
	平均値	100.0	0.7	1.2	1.8	2.6	14.4	79.3		平均値	100.0	0.8	1.1	1.6	2.5	12.7	81.3
	対平均差	0.0	0.1	0.2	0.2	0.1	0.9	△ 1.5		対平均差	0.0	△ 0.1	0.1	0.1	△ 0.2	0.0	0.1
北 海 道 (1.85mm)	重量割合(%)	100.0	0.6	1.0	1.2	1.7	10.1	85.4	近 畿 (1.80mm)	重量割合(%)	100.0	1.0	1.6	2.3	2.8	14.1	78.2
	平均値	100.0	0.6	1.0	1.3	1.8	10.2	85.1		平均値	100.0	0.9	1.5	2.1	2.6	13.5	79.4
	対平均差	0.0	0.0	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.1	0.3		対平均差	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.6	△ 1.2
東 北 (1.85mm)	重量割合(%)	100.0	0.6	1.1	1.6	2.2	12.3	82.2	中 国 (1.80mm)	重量割合(%)	100.0	0.9	1.4	2.2	2.5	14.0	79.0
	平均値	100.0	0.5	0.9	1.4	2.0	11.6	83.6		平均値	100.0	0.8	1.3	1.8	2.3	12.7	81.1
	対平均差	0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	0.7	△ 1.4		対平均差	0.0	0.1	0.1	0.4	0.2	1.3	△ 2.1
北 陸 (1.85mm)	重量割合(%)	100.0	0.6	1.1	1.6	2.4	15.3	79.0	四 国 (1.75mm)	重量割合(%)	100.0	1.0	1.9	2.6	3.4	17.4	73.7
	平均値	100.0	0.5	1.0	1.4	1.9	12.6	82.6		平均値	100.0	1.1	1.8	2.5	3.8	18.1	72.7
	対平均差	0.0	0.1	0.1	0.2	0.5	2.7	△ 3.6		対平均差	0.0	△ 0.1	0.1	△ 0.4	△ 0.7	△ 1.0	
関東・東山 (1.80mm)	重量割合(%)	100.0	1.0	1.4	2.3	3.4	20.0	71.9	九 州 (1.80mm)	重量割合(%)	100.0	1.4	2.3	3.0	4.3	21.2	67.8
	平均値	100.0	0.7	1.3	2.3	3.2	18.7	73.8		平均値	100.0	1.2	2.0	2.9	4.3	20.6	69.0
	対平均差	0.0	0.3	0.1	0.0	0.2	1.3	△ 1.9		対平均差	0.0	0.2	0.3	0.1	0.0	0.6	△ 1.2

注：1 平均値は、直近5か年の重量割合の平均である。
 2 全国農業地域名の下に記載されているふるい目幅は、全国農業地域の農家等が使用しているふるい目幅分布において、大きいものから数えて9割を占めるふるい目幅である(以下同じ。)

図2 全国農業地域・都道府県別作況指数
【農家等が使用しているふるい目幅ベース】



注：1 作況指数は、全国農業地域の農家等が使用しているふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでのふるいの目幅（北海道、東北及び北陸は1.85mm、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80mm、四国及び沖縄は1.75mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。
2 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作況指数は早期栽培（第一期稲）と普通期栽培（第二期稲）を合算したものである。

表3 平成27年産水稻の作付面積及び収穫量

全 国 都 道 府 県	作付面積 (子実用) ①	10a当たり 収 量 ②	(参考) 農家等が使用している ふるい目幅で選別			収 穫 量 (子 実 用) ⑥=①×②	参 考	
			10a当たり 収 量 ③	10a当たり 平 年 収 量 ④	作 況 指 数 ⑤=③/④		主食用 作付面積 ⑦	収 穫 量 (主 食 用) ⑧=⑦×②
			ha	kg	kg		kg	t
全 国	1,505,000	531	515	517	100	7,986,000	1,406,000	7,442,000
北 海 道	107,800	559	543	522	104	602,600	100,100	559,600
青 森	43,500	616	597	566	105	268,000	37,300	229,800
岩 手	51,400	560	545	518	105	287,800	48,100	269,400
宮 城	66,700	547	531	516	103	364,800	63,700	348,400
秋 田	88,700	589	572	553	103	522,400	71,200	419,400
山 形	65,300	614	594	578	103	400,900	57,700	354,300
福 島	65,600	557	531	526	101	365,400	61,500	342,600
茨 城	70,300	505	496	515	96	355,000	68,400	345,400
栃 木	58,300	531	518	528	98	309,600	54,100	287,300
群 馬	15,800	489	468	479	98	77,300	14,400	70,400
埼 玉	32,200	480	461	476	97	154,600	31,700	152,200
千 葉	57,000	539	529	525	101	307,200	55,200	297,500
東 京	156	405	392	402	98	632	156	632
神 奈 川	3,130	485	457	478	96	15,200	3,130	15,200
新 潟	117,500	527	509	523	97	619,200	102,400	539,600
富 山	38,600	559	542	524	103	215,800	34,200	191,200
石 川	26,100	522	509	504	101	136,200	23,600	123,200
福 井	25,600	518	495	500	99	132,600	23,900	123,800
山 梨	5,030	539	522	533	98	27,100	4,980	26,800
長 野	33,200	604	590	609	97	200,500	32,200	194,500
岐 阜	22,500	481	471	478	99	108,200	22,100	106,300
静 岡	16,300	503	493	513	96	82,000	16,100	81,000
愛 知	28,100	503	495	499	99	141,300	27,200	136,800
三 重	28,300	490	479	488	98	138,700	27,700	135,700
滋 賀	32,200	518	504	506	100	166,800	30,600	158,500
京 都	15,000	510	500	501	100	76,500	14,400	73,400
大 阪	5,440	495	477	479	100	26,900	5,440	26,900
兵 庫	37,300	501	488	491	99	186,900	35,700	178,900
奈 良	8,870	515	501	499	100	45,700	8,850	45,600
和 歌 山	6,900	499	488	484	101	34,400	6,900	34,400
鳥 取	12,900	512	501	504	99	66,000	12,400	63,500
島 根	17,900	503	492	500	98	90,000	17,500	88,000
岡 山	31,000	505	493	515	96	156,600	29,600	149,500
広 島	24,700	507	495	513	96	125,200	24,000	121,700
山 口	21,600	491	478	493	97	106,100	20,500	100,700
徳 島	11,900	457	453	469	97	54,400	11,700	53,500
早期栽培	4,580	450	447	459	97	20,600
普通栽培	7,340	461	456	475	96	33,800
香 川	13,600	470	465	493	94	63,900	13,500	63,500
愛 媛	14,600	488	482	493	98	71,200	14,600	71,200
高 知	12,000	444	440	456	96	53,300	11,900	52,800
早期栽培	6,750	462	459	478	96	31,200
普通栽培	5,290	420	415	426	97	22,200
福 岡	36,500	480	459	481	95	175,200	35,900	172,300
佐 賀	25,300	513	496	502	99	129,800	25,000	128,300
長 崎	12,500	479	460	462	100	59,900	12,500	59,900
熊 本	35,600	500	484	499	97	178,000	34,300	171,500
大 分	21,900	478	457	481	95	104,700	21,700	103,700
宮 崎	17,300	464	448	484	93	80,300	16,100	74,700
早期栽培	7,090	411	399	471	85	29,100
普通栽培	10,200	501	482	493	98	51,100
鹿 児 島	21,600	458	445	470	95	98,900	20,900	95,700
早期栽培	4,910	396	383	435	88	19,400
普通栽培	16,700	476	463	481	96	79,500
沖 縄	788	288	286	305	94	2,270	788	2,270
第一期稲	556	342	341	369	92	1,900
第二期稲	232	160	153	172	89	371

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
 2 主食用作付面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた面積である。
 3 全国の収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
 4 (参考)の農家等が使用しているふるい目幅で選別された③10a当たり収量、④10a当たり年収量及び⑤作況指数については、全国農業地域の農家等が使用しているふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでのふるい目幅（北海道、東北及び北陸は1.85mm、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80mm、四国及び沖縄は1.75mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。
 5 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の主食用作付見込面積は、備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

表4 平成27年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況

全 国 都 道 府 県	ふるい目幅別重量分布状況							対平均差						
	計	1.70~ 1.75mm	1.75 ~1.80	1.80 ~1.85	1.85 ~1.90	1.90 ~2.00	2.00mm 以上	計	1.70 ~1.75mm	1.75 ~1.80	1.80 ~1.85	1.85 ~1.90	1.90 ~2.00	2.00mm 以上
	%	%	%	%	%	%	%	ポイント	ポイント	ポイント	ポイント	ポイント	ポイント	ポイント
全 国	100.0	0.8	1.4	2.0	2.7	15.3	77.8	0.0	0.1	0.2	0.2	0.1	0.9	△ 1.5
北 海 道	100.0	0.6	1.0	1.2	1.7	10.1	85.4	0.0	0.0	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.3
青 森	100.0	0.7	1.1	1.3	1.7	9.4	85.8	0.0	0.1	0.3	0.0	0.1	0.2	△ 0.7
岩 手	100.0	0.6	0.9	1.2	1.6	10.0	85.7	0.0	0.1	0.1	0.0	△ 0.1	△ 1.4	1.3
宮 城	100.0	0.6	0.9	1.5	2.0	11.4	83.6	0.0	0.1	0.1	0.4	0.4	△ 1.1	0.1
秋 田	100.0	0.5	0.9	1.5	2.1	12.5	82.5	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.6	0.0	1.0
山 形	100.0	0.6	1.1	1.5	2.7	14.1	80.0	0.0	0.0	0.3	0.2	0.6	1.2	△ 2.3
福 島	100.0	0.6	1.7	2.3	2.7	14.6	78.1	0.0	0.3	0.7	0.9	0.9	3.9	△ 6.7
茨 城	100.0	0.6	1.2	1.5	2.5	16.5	77.7	0.0	0.3	△ 0.2	△ 0.7	△ 0.6	△ 1.0	2.2
栃 木	100.0	1.0	1.4	2.7	3.8	24.1	67.0	0.0	0.1	0.3	0.4	0.9	4.1	△ 5.8
群 馬	100.0	2.3	2.0	4.3	8.1	23.6	59.7	0.0	0.9	0.2	1.1	1.5	0.8	△ 4.5
埼 玉	100.0	1.5	2.4	3.5	5.0	27.1	60.5	0.0	0.3	0.6	0.5	1.0	2.8	△ 5.2
千 葉	100.0	0.8	1.0	1.8	2.3	18.6	75.5	0.0	0.0	△ 0.1	△ 0.4	△ 0.5	0.0	1.0
東 京	100.0	1.5	1.6	4.3	7.1	18.9	66.6	0.0	0.5	0.0	1.6	3.0	△ 0.8	△ 4.3
神 奈 川	100.0	2.9	2.8	5.5	7.7	21.1	60.0	0.0	1.3	1.3	2.4	4.0	2.1	△ 11.1
新 潟	100.0	0.6	1.2	1.6	2.4	14.1	80.1	0.0	0.1	0.2	0.1	0.5	2.2	△ 3.1
富 山	100.0	0.5	0.9	1.6	2.5	20.7	73.8	0.0	0.1	0.2	0.5	0.7	6.9	△ 8.4
石 川	100.0	0.5	0.8	1.2	2.0	12.9	82.6	0.0	△ 0.1	△ 0.1	0.0	0.1	1.6	△ 1.5
福 井	100.0	0.9	1.5	2.0	2.5	14.5	78.6	0.0	0.2	0.3	0.4	△ 0.1	△ 0.4	△ 0.4
山 梨	100.0	1.3	1.9	2.1	3.8	18.4	72.5	0.0	0.3	0.3	0.0	0.6	0.4	△ 1.6
長 野	100.0	0.8	1.5	1.9	2.9	15.5	77.4	0.0	0.1	0.2	0.4	0.3	1.9	△ 2.9
岐 阜	100.0	0.8	1.3	1.8	2.1	11.4	82.6	0.0	△ 0.1	0.2	0.1	△ 0.6	△ 1.1	1.5
静 岡	100.0	0.6	1.3	2.0	2.6	14.4	79.1	0.0	0.1	0.2	0.4	0.4	2.1	△ 3.2
愛 知	100.0	0.6	1.0	1.4	2.0	12.2	82.8	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.3	△ 0.4
三 重	100.0	0.9	1.3	1.8	2.7	13.3	80.0	0.0	△ 0.2	△ 0.1	0.0	△ 0.2	△ 0.3	0.8
滋 賀	100.0	0.9	1.8	2.4	2.7	14.9	77.3	0.0	0.0	0.3	0.4	0.2	1.9	△ 2.8
京 都	100.0	0.7	1.3	1.5	1.8	10.2	84.5	0.0	0.1	0.2	0.1	0.2	1.2	△ 1.8
大 阪	100.0	1.7	2.0	3.7	5.7	20.3	66.6	0.0	0.5	0.2	△ 0.1	1.9	2.8	△ 5.3
兵 庫	100.0	1.1	1.5	2.4	3.1	14.4	77.5	0.0	0.1	0.0	0.0	0.2	△ 1.2	0.9
奈 良	100.0	0.8	2.0	2.2	3.0	14.1	77.9	0.0	0.0	0.3	0.4	0.2	0.7	△ 1.6
和 歌 山	100.0	0.8	1.4	1.7	1.9	12.6	81.6	0.0	△ 0.2	0.0	△ 0.1	△ 0.5	△ 0.5	1.3
鳥 取	100.0	0.7	1.5	2.0	2.7	12.2	80.9	0.0	△ 0.1	0.3	0.4	0.3	1.3	△ 2.2
島 根	100.0	0.8	1.3	2.3	2.4	14.5	78.7	0.0	0.1	0.3	0.7	0.5	3.6	△ 5.2
岡 山	100.0	0.9	1.4	2.2	2.7	13.8	79.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	△ 0.6
広 島	100.0	0.8	1.5	1.9	2.1	13.6	80.1	0.0	0.1	0.3	0.3	0.1	2.3	△ 3.1
山 口	100.0	1.1	1.5	2.6	2.7	15.5	76.6	0.0	0.2	0.0	0.6	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.4
徳 島	100.0	0.9	1.5	2.5	2.5	14.5	78.1	0.0	△ 0.2	△ 0.2	0.1	△ 0.6	0.2	0.7
早期栽培	100.0	0.7	1.0	1.8	1.9	12.0	82.6	0.0	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.9	△ 2.7	5.0
普通栽培	100.0	1.1	1.8	3.0	2.9	16.1	75.1	0.0	0.0	0.1	0.5	△ 0.3	2.0	△ 2.3
香 川	100.0	1.0	2.6	3.6	4.5	23.1	65.2	0.0	△ 0.3	0.0	0.0	△ 0.8	△ 2.4	3.5
愛 媛	100.0	1.3	1.8	2.5	3.7	17.1	73.6	0.0	0.2	0.1	0.1	0.1	△ 0.5	0.0
高 知	100.0	0.9	1.4	1.6	2.6	13.8	79.7	0.0	0.1	0.2	0.1	△ 0.2	0.0	△ 0.2
早期栽培	100.0	0.7	0.9	1.1	1.9	11.3	84.1	0.0	0.1	0.0	0.0	△ 0.4	△ 1.1	1.4
普通栽培	100.0	1.3	2.0	2.2	3.6	17.4	73.5	0.0	0.2	0.4	0.1	△ 0.1	1.4	△ 2.0
福 岡	100.0	1.6	2.7	3.5	4.4	19.9	67.9	0.0	0.4	0.5	0.6	0.1	0.9	△ 2.5
佐 賀	100.0	1.3	2.1	2.7	3.3	16.0	74.6	0.0	0.1	0.3	0.0	△ 0.1	△ 1.7	1.4
長 崎	100.0	1.3	2.6	3.5	4.9	26.2	61.5	0.0	0.0	0.4	0.2	△ 0.6	0.3	△ 0.3
熊 本	100.0	1.2	2.1	2.6	3.5	17.9	72.7	0.0	0.0	0.2	△ 0.4	△ 0.5	△ 2.8	3.5
大 分	100.0	1.7	2.6	3.3	6.1	25.9	60.4	0.0	0.3	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.1	0.8	△ 0.6
宮 崎	100.0	1.3	2.1	2.8	5.0	28.8	60.0	0.0	0.2	0.4	0.4	1.2	8.6	△ 10.8
早期栽培	100.0	1.0	1.8	2.4	4.6	33.8	56.4	0.0	0.3	0.7	0.9	2.2	17.0	△ 21.1
普通栽培	100.0	1.5	2.3	3.1	5.3	25.9	61.9	0.0	0.2	0.3	0.1	0.6	3.4	△ 4.6
鹿 児 島	100.0	1.0	1.8	2.8	3.9	21.8	68.7	0.0	0.0	0.2	0.3	0.1	2.4	△ 3.0
早期栽培	100.0	1.1	2.1	4.2	6.2	34.8	51.6	0.0	0.2	0.8	2.0	2.4	11.3	△ 16.7
普通栽培	100.0	1.0	1.7	2.5	3.4	18.6	72.8	0.0	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.5	0.0	0.7
沖 縄	100.0	0.5	1.2	2.1	2.9	15.0	78.3	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.5	△ 2.4	3.3

注：1 対平均差に用いた平均値は、直近5か年の重量割合の平均値である。
 2 未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる(以下同じ。)

(2) 水稲作付面積及び収穫量等の年次別推移(全国)

年産	作付面積 (子実用) ha	10a当たり 収 量 kg	10a当たり 平年収量 kg	(参考)農家等が使用して いるふるい目幅で選別		作況 指数	収 穫 量 (子実用) t	(参考)		生産数量 目標 t
				10a当たり 収 量 kg	10a当たり 平年収量 kg			主 食 用 作付面積 ha	収 穫 量 (主食用) t	
18	1,684,000	507	529			96	8,546,000	8,330,000
19	1,669,000	522	529			99	8,705,000	8,280,000
20	1,624,000	543	530			102	8,815,000	1,596,000	8,658,000	8,150,000
21	1,621,000	522	530			98	8,466,000	1,592,000	8,309,000	8,150,000
22	1,625,000	522	530			98	8,478,000	1,580,000	8,239,000	8,130,000
23	1,574,000	533	530			101	8,397,000	1,526,000	8,133,000	7,950,000
24	1,579,000	540	530			102	8,519,000	1,524,000	8,210,000	7,930,000
25	1,597,000	539	530			102	8,603,000	1,522,000	8,182,000	7,910,000
26	1,573,000	536	530			101	8,435,000	1,474,000	7,882,000	7,650,000
27	1,505,000	531		515	517	100	7,986,000	1,406,000	7,442,000	7,510,000

資料： 農林水産省「作物統計」、「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」

- 注： 1 作付面積(子実用)とは、青刈り用の面積を除いた面積である。
 2 主食用作付面積とは、水稲作付面積(青刈り面積を含む。)から、需給調整の取組として取り扱う米穀等(加工用米、新規需要米等)の面積を除いた面積である。
 3 「…」は、事実不詳又は調査を欠くもの。
 4 27年産の作況指数は、農家が使用しているふるい目幅で選別された10a当たり収量と10a当たり平年収量を用いて算定している。
 5 生産数量目標は、食料・農業・農村政策審議会食糧部会で定めた数量目標。

(3) 水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況、10a当たり収量及び収穫量(子実用)の年次別推移

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程に定める三等の品位(整粒歩合45%)以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別された玄米の重量としている。
 農家等が販売するために使用しているふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、参考として刈取り済みの地域について、ふるい目幅別の重量割合の概数値並びにふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量(子実用)の概数値を示すと次のとおりである。

① ふるい目幅別重量分布状況

単位：%

年 産	区 分	合 計	ふるい目幅別重量割合					
			1.70mm	1.75mm	1.80mm	1.85mm	1.90mm	2.00mm 以 上
17		100.0	1.0	1.4	2.3	3.6	20.5	71.2
18		100.0	0.9	1.3	2.2	3.5	19.2	72.9
19		100.0	0.7	1.1	1.8	3.0	17.9	75.5
20		100.0	0.9	1.3	2.1	3.0	16.5	76.2
21		100.0	0.8	1.3	2.1	3.2	17.4	75.2
22		100.0	0.6	1.0	1.6	2.3	13.2	81.3
23		100.0	0.9	1.4	2.2	3.1	16.6	75.8
24		100.0	0.6	1.0	1.5	2.2	13.0	81.7
25		100.0	0.8	1.3	1.9	2.7	14.5	78.8
26		100.0	0.8	1.4	2.0	2.7	14.7	78.4
27		100.0	0.8	1.4	2.0	2.7	15.3	77.8
平均値		100.0	0.7	1.2	1.8	2.6	14.4	79.3
対平年差		0.0	0.1	0.2	0.2	0.1	0.9	▲ 1.5

資料： 農林水産省「作物統計」

- 注： 1 未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる。
 2 平均値は、直近5か年の重量割合の平均。
 3 27年産は、概数値である。

② ふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量(子実用)の推移

単位：kg（10a当たり収量）、トン（収穫量）

年産	区 分	選別ふるい目幅別収穫量及び10a当たり収量					
		1.70mm 選別	1.75mm 選別	1.80mm 選別	1.85mm 選別	1.90mm 選別	2.00mm 選別
17	10a当たり収量	532	527	519	507	488	379
18		507	502	496	485	467	370
19		522	518	513	503	488	394
20		543	538	531	520	503	414
21		522	518	511	500	483	393
22		522	519	514	505	493	424
23		533	528	521	509	492	404
24		10a当たり収量	540	537	531	523	511
	収 穫 量	8,519,000	8,468,000	8,383,000	8,255,000	8,067,000	6,960,000
25	10a当たり収量	539	535	528	517	503	425
	収 穫 量	8,603,000	8,534,000	8,422,000	8,259,000	8,027,000	6,779,000
26	10a当たり収量	536	532	524	513	499	420
	収 穫 量	8,435,000	8,368,000	8,249,000	8,081,000	7,853,000	6,613,000
27	10a当たり収量	531	527	519	509	494	413
	収 穫 量	7,986,000	7,922,000	7,810,000	7,651,000	7,435,000	6,213,000
	対前年比(%)	95	95	95	95	95	94

資料： 農林水産省「作物統計」

注：1 ふるい目幅別の収穫量（子実用）については、平成24年産より集計・公表を行っている。

2 ふるい目幅別の10a当たり収量とは、全国の10a当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

3 ふるい目幅別の収穫量（子実用）とは、全国の収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

4 27年産は、概数値。

- 平成27年産の加工用米の取り組みは、近年、生産量が最も多かった26年産米に比べ▲1万トンの26万トン程度。内訳は、うるち米が21万トン程度、もち米が5万トン程度。
- また、生産量に占める地域流通の割合は63%程度。

(4) 加工用米及び新規需要米の取組状況等

① 加工用米の生産量

(単位:トン)

	うるち米	もち米	合計	流通	
				全国流通	地域流通
平成16年産	117,837	4,404	122,241	121,719	522
17年産	123,996	4,738	128,734	127,160	1,574
18年産	140,596	7,996	148,592	146,529	2,064
19年産	152,145	10,659	162,804	160,670	2,134
20年産	138,895	10,154	149,048	142,803	6,246
21年産	134,389	6,779	141,168	122,771	18,397
22年産	190,883	21,945	212,829	134,958	77,870
23年産	122,699	31,856	154,555	46,087	108,468
24年産	148,695	32,190	180,885	65,821	115,064
25年産	178,411	29,471	207,882	82,534	125,348
26年産	232,315	34,053	266,368	110,914	155,455
27年産	208,199	48,318	256,518	95,747	160,771

資料：農林水産省「加工用米生産量」

注：1 「需要に応じた米生産の推進に関する要領」の規定により報告された生産集出荷数量。ただし、27年産は、需給調整のカウントとなる加工用米の取組として認定を受けた平成27年10月15日現在の値。

注：2 全国流通の値は、生産集出荷数量等のうち、取組主体が全国生産出荷団体であるものの合計値。

注：3 地域流通の値は、生産集出荷数量等のうち、取組主体が都道府県出荷団体、認定方針作成者及び農業者であるものの合計値。

注：4 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。また、「…」については、現在集計中。

② 新規需要米の用途別認定状況

(単位:トン、ha)

用途区分	平成20年産		平成21年産		平成22年産		平成23年産		平成24年産		平成25年産		平成26年産		平成27年産	
	計画生産量	作付面積	計画生産量	作付面積	計画生産量	作付面積	計画生産量	作付面積	計画生産量	作付面積	計画生産量	作付面積	計画生産量	作付面積	計画生産量	作付面積
米粉用米	566	108	13,041	2,401	27,796	4,957	40,311	7,324	34,521	6,437	21,071	3,965	18,161	3,401	22,925	4,245
飼料用米	8,020	1,410	23,264	4,123	81,237	14,883	183,033	33,955	183,431	34,525	115,350	21,802	178,486	33,881	421,077	79,766
WCS用稲 (稲発酵飼料用稲)	-	9,089	-	10,203	-	15,939	-	23,086	-	25,672	-	26,600	-	30,929	-	38,226
バイオエタノール用米	2,426	303	2,314	295	2,940	397	2,998	415	2,793	450	2,594	414	2,373	384	0	0
輸出用米	391	74	926	164	2,184	388	1,626	287	2,524	454	2,825	507	6,092	1,092	8,482	1,547
酒造用米	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4,354	859	7,096	1,387
その他 (わら専用稲、青刈り用稲等)	982	1,330	1,108	956	694	508	852	501	857	553	659	457	1,074	527	15	283
合計	12,386	12,314	40,654	18,142	114,851	37,072	228,820	65,569	224,127	68,091	142,499	53,744	210,540	71,073	459,596	125,454

資料：農林水産省「新規需要米の取組計画認定状況」

注：1 WCS用稲、わら専用、青刈り用稲については子実を採らない用途であるため計画生産量はなし。

注：2 平成27年産は平成27年10月15日現在の値。

注：3 「酒造用」は、「需要に応じた米生産の推進に関する要領」に基づき生産数量目標の枠外で生産された玄米を指す。

注：4 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

③ 加工用米・新規需要米等の取組状況(平成27年産)

(単位:トン)

	加工用米			新規需要米			政府備蓄米	合計
	うるち米	もち米		飼料用米	輸出用米	その他		
北海道	19,774	12,393	7,381	12,523	220	383	14,080	46,980
青森	6,817	5,964	854	41,130	222	14	20,450	68,633
岩手	6,929	6,374	555	22,043	422	279	8,000	37,674
宮城	4,165	3,682	483	25,834	64	331	11,000	41,394
秋田	59,883	40,862	19,021	16,540	660	2,217	25,500	104,800
山形	19,610	18,412	1,198	22,301	838	1,047	13,530	57,327
福島	2,049	2,039	10	19,530	24	75	20,000	41,677
茨城	8,405	8,059	346	36,698		144	1,480	46,727
栃木	10,802	10,790	13	48,874	11	962	11,170	71,819
群馬	5,735	5,709	26	8,659	2	1,248		15,644
埼玉	913	908	5	13,559	0	1,032	640	16,144
千葉	7,681	4,522	3,159	21,362	1	390	1,641	31,075
東京						0		0
神奈川				79				79
新潟	35,008	25,017	9,991	18,523	3,417	10,826	32,400	100,174
富山	5,832	4,741	1,091	3,407	369	844	12,840	23,292
石川	4,218	3,720	499	2,731	577	394	4,020	11,940
福井	2,779	2,591	188	3,729	300	115	640	7,564
山梨	265	265		71		10		346
長野	4,586	4,239	347	2,345	172	239	770	8,113
岐阜	1,255	1,235	20	11,627	1	180	740	13,802
静岡	773	772	0	4,595	8	3	50	5,429
愛知	2,419	2,248	170	8,775	523	277	1,083	13,077
三重	1,300	1,280	21	7,007	381	180	810	9,678
滋賀	6,492	6,125	366	3,386	185	440	1,600	12,103
京都	2,860	2,777	83	558		44		3,462
大阪				14		24		38
兵庫	3,827	3,659	168	885	36	4,284	324	9,356
奈良				310		122		432
和歌山				17				17
鳥取	933	933		5,694		12	1,320	7,960
島根	1,767	1,700	66	5,675	1	67	100	7,609
岡山	2,854	2,758	96	6,176	1	1,196	3,170	13,396
広島	2,233	2,199	34	1,992	3	814	300	5,342
山口	5,121	5,121		2,996	1	82	340	8,539
徳島	167	167		4,666		74	830	5,737
香川	427	427		1,869	1	61		2,357
愛媛	26	26		1,177		23	340	1,567
高知	326	326		4,090		56	23	4,494
福岡	2,295	2,248	48	7,552	26	429	328	10,630
佐賀	693	594	98	1,841		39	806	3,379
長崎	43	43		766	0	40	45	895
熊本	5,451	3,646	1,805	6,679	12	862	590	13,593
大分	515	504	11	6,931	3	87	240	7,776
宮崎	5,524	5,524		2,218		64		7,806
鹿児島	3,766	3,601	165	3,643	3	27		7,438
沖縄								
合計	256,518	208,199	48,318	421,077	8,482	30,037	250,000	966,113

資料： 農林水産省「平成27年産加工用枚の都道府県別の取組計画認定状況」(H27年10月15日現在)、「平成27年産新規需要米の都道府県別の取組計画認定状況」(平成27年10月15日現在)、「国内産政府備蓄米の買入入札の結果」(平成27年産)

注：1 政府備蓄米の合計は、買入対象米穀の産地の指定無し分58,800トンを含んでいる。

注：2 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。 — 53 —

- 平成27年産うるち玄米の平成27年10月31日現在の検査数量は、前年産の同時
に比べ▲7%少ない351万ト。ン。
- 1等米比率については、前年産より2ポイント高い83%。

(5) 水稻うるち玄米の検査結果

① うるち米検査数量の推移(累計)

単位:千トン

年産別	当年						翌年			
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月
23	11	167	1,488	3,490	3,928	4,082	4,186	4,302	4,413	4,753
24	13	223	1,732	3,750	4,156	4,313	4,411	4,532	4,657	5,041
25	23	265	1,869	3,806	4,248	4,433	4,537	4,661	4,793	5,206
26	12	229	1,789	3,785	4,276	4,470	4,595	4,720	4,880	5,275
参考:前年比	52%	86%	96%	99%	101%	101%	101%	101%	102%	101%
27	11	220	1,537	3,506						
参考:前年比	93%	96%	86%	93%						

注: 1 各月末時点の検査数量である。

2 生産年の7月から翌年3月までは速報値、翌年10月は確定値である。

② 検査数量及び等級比率(年産別)

(単位:トン、%)

年産別	検査数量	等級別数量				等級比率			
		1等	2等	3等	規格外	1等	2等	3等	規格外
17	5,047,547	3,788,571	1,000,515	168,455	90,006	75.1	19.8	3.3	1.8
18	4,776,481	3,746,166	822,163	112,475	95,677	78.4	17.2	2.4	2.0
19	4,805,870	3,826,432	795,452	95,082	88,903	79.6	16.6	2.0	1.8
20	5,093,440	4,073,571	849,087	76,542	94,240	80.0	16.7	1.5	1.9
21	4,818,603	4,102,807	582,137	48,396	85,263	85.1	12.1	1.0	1.8
22	4,859,642	3,013,076	1,570,194	152,813	123,559	62.0	32.3	3.1	2.5
23	4,753,193	3,840,127	759,339	60,000	93,727	80.8	16.0	1.3	2.0
24	5,041,489	3,953,978	910,522	82,760	94,229	78.4	18.1	1.6	1.9
25	5,205,717	4,112,147	905,866	96,289	91,415	79.0	17.4	1.8	1.8
26	5,274,634	4,291,267	806,063	70,348	106,956	81.4	15.3	1.3	2.0
27(注2)	3,505,761	2,922,478	499,686	56,194	27,403	83.4	14.3	1.6	0.8

資料: 農林水産省とりまとめ

注: 1 等級比率は、1等であれば農産物検査法に基づく検査の結果、1等に格付けされた割合である。

2 27年産米については、平成27年10月31日現在(速報値)。

V 飼料用米の推進、飼料用米の需要量等

(1) 飼料用米のマッチングの取組状況、配合飼料メーカーへの飼料用の供給等

飼料用米のマッチングの取組状況

○ 28年産飼料用米については、全農グループ飼料会社において60万トン(MA米・備蓄米含む)、日本飼料工業会において約61万トン(中・長期的には約200万トン、MA米・備蓄米を含まない)の需要があるなど、配合飼料メーカーからの要望もあり、農林水産省としてもこれらのマッチング活動を推進。

○ 28年産飼料用米の生産・利用拡大に向けては、全国、地方ブロック、各県(地域)段階において推進体制を整備し、生産・流通・利用にかかる各種課題解決に向けた取組を総合的に推進。

○ 28年産に係る飼料用米の需要量

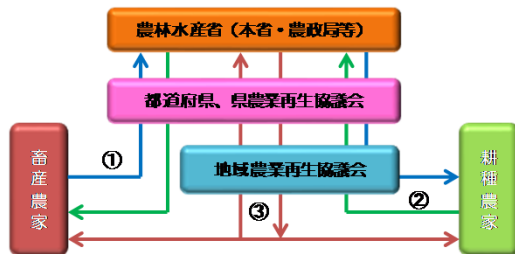
- 全農グループ飼料会社: 年間60.0万トン
(使用可能数量: MA米・備蓄米含む)
- (協)日本飼料工業会組合理工場: 年間60.8万トン
(MA米・備蓄米を含まない)

○ 飼料用米に関する飼料メーカーの需要見込量

平成27年11月に日本飼料工業会が実施した組合理員による飼料用米の需要量調査(MA米・備蓄米を含まない)の結果、
・平成28年産の需要量は約61万トン。
(中・長期的にみた需要量は約200万トン。平成26年3月調べ)

○ マッチング活動の取組体制

- ① 新たに飼料用米の供給を希望する畜産農家の連絡先や希望数量・価格等の取引条件を聞き取り、需要者情報としてとりまとめ、産地側(地域再生協・耕種農家等)へ提供
- ② 地域(再生協)における飼料用米の作付面積や数量を聞き取り、産地情報として取りまとめ、利用側(畜産農家等)へ提供
- ③ 各関係機関が連携し、マッチング活動を推進

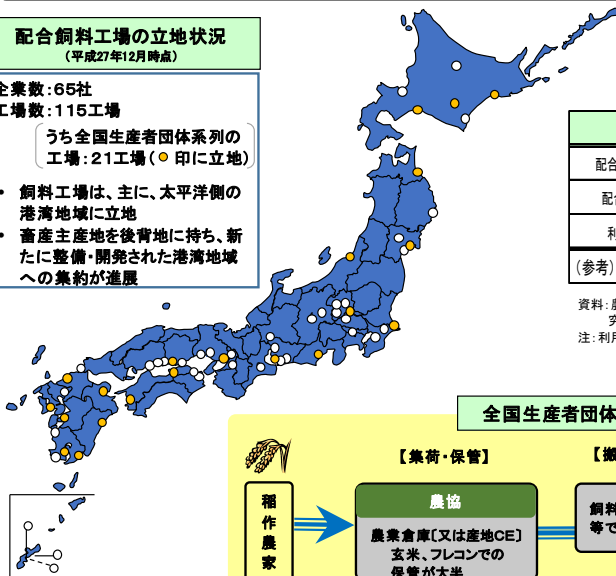


配合飼料メーカーへの飼料用米の供給について

- 耕種農家は、農協に出荷することで、自ら需要先の確保を図る必要がなく、飼料用米の生産に取組可能。
- 農協は、CEや耕種農家が乾燥した飼料用米を地域の農業倉庫等で保管。
- 農協と出荷契約を締結した全国団体は、飼料メーカーの要望に応じ、工場近くの営業倉庫等で開袋・バラ化作業を行い、工場に搬入。
- 飼料メーカーは、とうもろこしの代替として飼料用米を配合し、畜産農家に出荷(工場は、在庫として保有せず、計画的に受入・配合)。
- 飼料工場では、次の課題をクリアすれば、受入量の増加に対応可能。
 - ・ 配合飼料の主原料(とうもろこし等)と同等またはそれ以下の価格での供給
 - ・ 工場への長期的かつ計画的な供給と集荷・流通の円滑化(例えば、半年程度前から供給量の調整を行い、計画的に搬入)

配合飼料工場の立地状況 (平成27年12月時点)

- 企業数: 65社
工場数: 115工場
うち全国生産者団体系列の工場: 21工場(●印に立地)
- ・ 飼料工場は、主に、太平洋側の港湾地域に立地
 - ・ 畜産主産地を後背地に持ち、新たに整備・開発された港湾地域への集約が進展



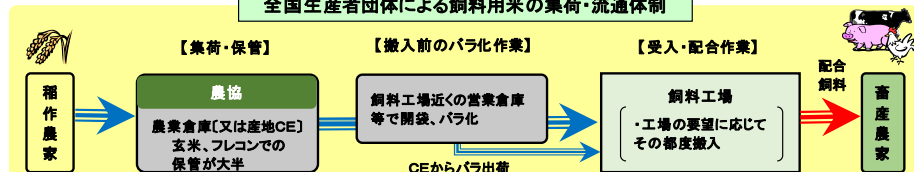
畜種別のコメの利用可能量(試算)

【※家畜の生理や畜産物に影響を与えることなく給与可能と見込まれる量】

区分	採卵鶏	ブロイラー	養豚	乳牛	肉牛	合計
配合飼料生産量	623万 ^ト	381万 ^ト	559万 ^ト	299万 ^ト	430万 ^ト	2,292万 ^ト
配合可能割合	20%	50%	15%	10%	3%	
利用可能量	125万 ^ト	191万 ^ト	84万 ^ト	30万 ^ト	13万 ^ト	442万 ^ト
(参考)26年度使用量	34万 ^ト	31万 ^ト	25万 ^ト	6万 ^ト	4万 ^ト	100万 ^ト

資料: 農林水産省調べ(生産量は飼料メーカー間取り、配合可能割合は畜産栄養者からの間取り及び研究報告をもとに試算)
注: 利用可能量は、平成26年度の配合飼料生産量に配合可能割合を乗じて算出。

全国生産者団体による飼料用米の集荷・流通体制



(2) 飼料用米の需要量について

- 畜産側の平成28年産に係る飼料用米の需要量は、
 - ① 全農グループ飼料会社：年間60.0万トン（使用可能数量：MA米・備蓄米含む）
 - ② （協）日本飼料工業会組合員工場：年間60.8万トン（MA米・備蓄米を含まない）
- 上記の地域別内訳、問い合わせ先は別表1・2のとおり。

別表1 全農グループ飼料会社の飼料用米の使用可能数量(平成26年12月現在)

地区	年間使用 可能数量 (千トン)	備考
北海道	88	ホクレンくみあい飼料
東北	82	J A 全農北日本くみあい飼料
関東	89	J A 東日本くみあい飼料・科学飼料研究所
北陸	24	J A 東日本くみあい飼料
東海	27	〃
近畿・中国	46	J A 西日本くみあい飼料
四国	32	〃
北九州	49	ジェイエイ北九州くみあい飼料
南九州	162	南日本くみあい飼料・科学飼料研究所
計	600	

※1 使用可能数量は、MA米、備蓄米を含み、製造工程・能力から試算した数量。

※2 実際の使用にあたっては搬入方法等により制限される可能性がある。

※3 問い合わせ先：J A 全農 営農販売企画部飼料用米対策課 TEL:03-6271-8279

別表2 日本飼料工業会組合員の工場の飼料用米需要量（平成27年11月調査）

地区	需要量 (千トン：単年度)	(参考) 中長期需要量 ^{注2} (千トン：単年度)
北海道	36	147
東北	155	305
関東	109	405
中部	49	207
関西	82	277
九州	177	623
計	608	1,964

注1) 輸入トウモロコシ価格以下であることが前提の需要量

注2) 新たな設備投資等を含め、中長期的にみた日本飼料工業会組合員飼料メーカーの需要量。(平成26年3月調査)

注3) 上記の需要量には、MA米、備蓄米は含まない。

注4) 四捨五入の関係で計が一致しない場合がある。

※(協)日本飼料工業会は「飼料用米ダイヤル」を設置し、飼料用米を生産して売りたい産地の生産者や集荷業者、JA、飼料用米を使用したい傘下の全国の飼料メーカー(工場)との仲介を実施。

※問い合わせ先：「飼料用米ダイヤル」TEL:03-3583-8031 E-mail:Esamai@jafma.or.jp

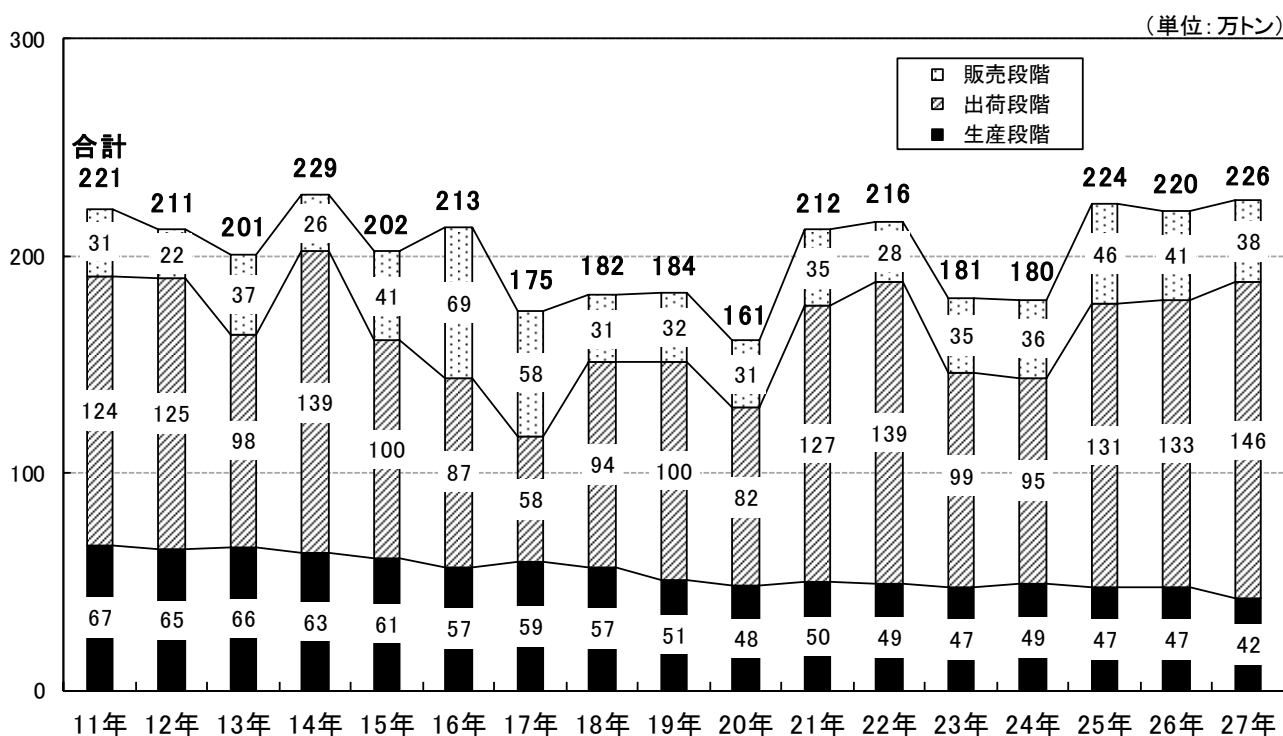
VI 主食用米等の需給見通し（平成27年11月の米の基本指針（平成27年11月30日））

（1）平成28/29年の主食用米等の需給見通し

		(単位：万トン)	
平成28年6月末民間在庫量	A	207	207
平成28年産主食用米等生産量	B	743 (生産数量目標)	735 (自主的取組参考値)
平成28/29年主食用米等供給量計	C=A+B	950	942
平成28/29年主食用米等需要量	D	762	762
平成29年6月末民間在庫量	E=C-D	188	180

注：平成28/29年主食用米等需要量については、現時点で価格の状況を見通すことが困難であるため、価格の変動が生じた場合の需要量への影響は見込んでいない。

（2）民間流通における6月末在庫の推移

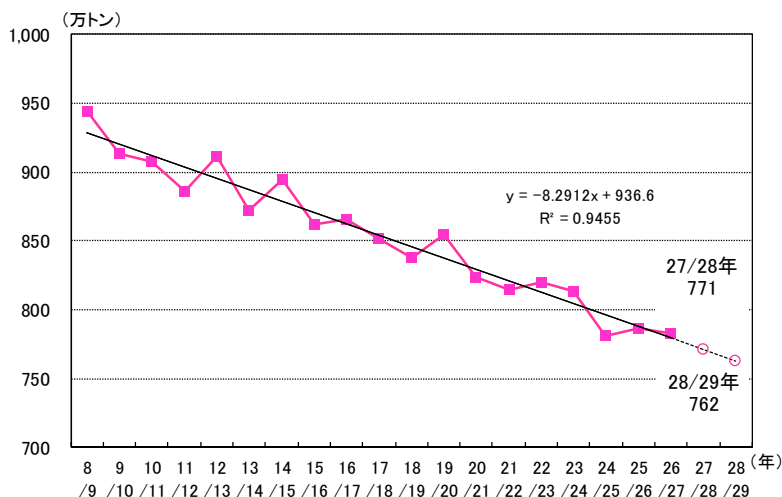


- 注：1 うるち玄米及びもち玄米の値である。
 2 各年の民間在庫量において、
 ① 平成16年以降については、年間玄米取扱数量500トン以上の業者（販売・出荷段階）の数量である。
 ② 平成15年については、販売段階の在庫量は、旧登録卸売業者の年間玄米取扱数量500トン以上、旧登録小売業者の1,000トン以上の業者の数量、出荷段階の在庫量は、年間玄米取扱数量500トン以上の業者の数量である。
 ③ 平成14年以前については推計値であり、販売段階の在庫量は、卸在庫量に小売在庫量（推計）を加えた数量、出荷段階の在庫量は、系統在庫量に非系統在庫量（推計）を加えた数量である。
 なお、生産段階の在庫量は、「生産者の米穀現在高等調査」（平成22年以降は「生産者の米穀在庫等調査」）を基に算出した在庫量から精米在庫量（推計）を控除した玄米在庫量である。
 3 平成26年の出荷段階の在庫量は、米穀機構の買入数量35万トンを含んでいない。
 4 ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

(3) 全国の平成27/28年及び平成28/29年の需要見通し(推計値)

(単位: 万トン)

年	x	需要量(y)
8/9	1	943.8
9/10	2	912.9
10/11	3	907.3
11/12	4	885.9
12/13	5	911.5
13/14	6	872.1
14/15	7	894.7
15/16	8	861.6
16/17	9	865.4
17/18	10	851.7
18/19	11	837.5
19/20	12	854.5
20/21	13	823.6
21/22	14	814.1
22/23	15	820.0
23/24	16	813.3
24/25	17	781.1
25/26	18	786.6
26/27	19	782.5
27/28	20	770.8 (推計値)
28/29	21	762.4 (推計値)

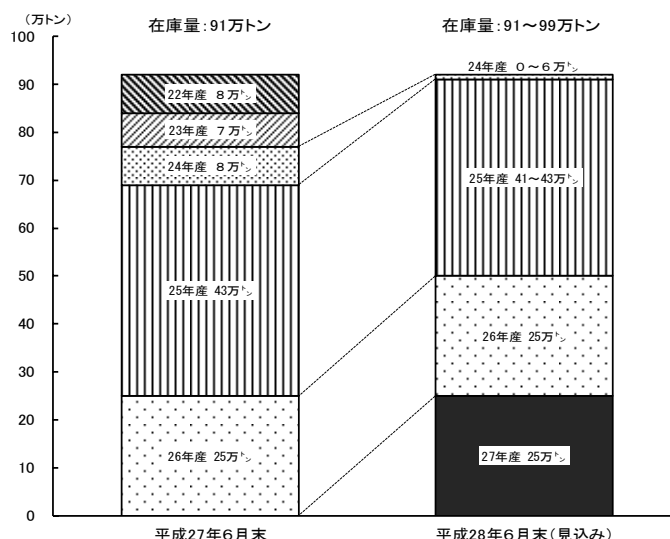


(4) 平成27/28年の備蓄運営、政府備蓄米の在庫状況

平成27/28年の備蓄運営

(単位: 万トン)

平成27年6月末備蓄量	A	91
平成27年産米買入契約数量	B	25
平成27/28年非主食用販売量	C	17~25
平成28年6月末備蓄量	D=A+B-C	91~99



注： 国産うるち玄米の数量である。

(5) 平成28年産米の生産数量目標(全国)

近年の生産数量目標の推移

(単位: 万トン)

年産	21	22	23	24	25	26	27	28
生産数量目標 (自主的取組参考値)	815	813	795	793	791	765	751	743 (735)
前年差	±0	▲ 2	▲ 18	▲ 2	▲ 2	▲ 26	▲ 14	▲ 8 (▲ 16)

注： 全国の自主的取組参考値については、仮にこれだけ生産すれば、29年6月末の民間在庫が近年では低位の水準となるものとして735万トンと設定。

【参考】

米穀の需給に関する詳細は、「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」に掲載しています。

ホーム > 組織・政策 > 審議会 > 食料・農業・農村政策審議会 > 食糧部会 >

食料・農業・農村政策審議会食糧部会 資料(平成27年11月30日開催)

(<http://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/syokuryo/151130/index.html>)

表 平成28年産米の都道府県別の生産数量目標等

都道府県	27年産生産数量目標 のシェア(注1)	28年産生産数量目標		28年産自主的取組参考値	
			面積換算値		面積換算値
全国計	100%	743万トン	140万ha	735万トン	139万ha
北海道	547,330 / 7,510,000	541,500トン	100,464ha	535,669トン	99,382ha
青森	242,460 / 7,510,000	239,877トン	41,075ha	237,294トン	40,633ha
岩手	271,210 / 7,510,000	268,321トン	50,342ha	265,432トン	49,800ha
宮城	348,620 / 7,510,000	344,906トン	65,077ha	341,193トン	64,376ha
秋田	417,540 / 7,510,000	413,092トン	72,093ha	408,644トン	71,317ha
山形	344,500 / 7,510,000	340,830トン	57,282ha	337,160トン	56,666ha
福島	339,550 / 7,510,000	335,933トン	61,980ha	332,316トン	61,313ha
茨城	337,370 / 7,510,000	333,776トン	63,698ha	330,182トン	63,012ha
栃木	298,690 / 7,510,000	295,508トン	54,724ha	292,326トン	54,134ha
群馬	75,670 / 7,510,000	74,864トン	15,155ha	74,058トン	14,991ha
埼玉	151,270 / 7,510,000	149,659トン	30,543ha	148,047トン	30,214ha
千葉	246,490 / 7,510,000	243,864トン	45,582ha	241,239トン	45,091ha
東京	770 / 7,510,000	762トン	185ha	754トン	183ha
神奈川	14,400 / 7,510,000	14,247トン	2,890ha	14,093トン	2,859ha
新潟	521,290 / 7,510,000	515,737トン	95,507ha	510,184トン	94,479ha
富山	185,650 / 7,510,000	183,672トン	34,203ha	181,695トン	33,835ha
石川	123,630 / 7,510,000	122,313トン	23,567ha	120,996トン	23,313ha
福井	125,460 / 7,510,000	124,124トン	23,916ha	122,787トン	23,658ha
山梨	27,430 / 7,510,000	27,138トン	4,961ha	26,846トン	4,908ha
長野	194,000 / 7,510,000	191,933トン	30,907ha	189,867トン	30,574ha
岐阜	111,270 / 7,510,000	110,085トン	22,558ha	108,899トン	22,315ha
静岡	82,920 / 7,510,000	82,037トン	15,746ha	81,153トン	15,576ha
愛知	134,970 / 7,510,000	133,532トン	26,338ha	132,094トン	26,054ha
三重	143,510 / 7,510,000	141,981トン	28,396ha	140,453トン	28,091ha
滋賀	160,450 / 7,510,000	158,741トン	30,645ha	157,032トン	30,315ha
京都	75,930 / 7,510,000	75,121トン	14,701ha	74,312トン	14,542ha
大阪	26,220 / 7,510,000	25,941トン	5,241ha	25,661トン	5,184ha
兵庫	180,440 / 7,510,000	178,518トン	35,420ha	176,596トン	35,039ha
奈良	41,690 / 7,510,000	41,246トン	8,040ha	40,802トン	7,954ha
和歌山	34,850 / 7,510,000	34,479トン	6,965ha	34,108トン	6,891ha
鳥取	66,110 / 7,510,000	65,406トン	12,725ha	64,702トン	12,588ha
島根	90,000 / 7,510,000	89,041トン	17,493ha	88,083トン	17,305ha
岡山	158,550 / 7,510,000	156,861トン	29,821ha	155,172トン	29,500ha
広島	129,970 / 7,510,000	128,585トン	24,586ha	127,201トン	24,321ha
山口	108,760 / 7,510,000	107,601トン	21,349ha	106,443トン	21,120ha
徳島	58,540 / 7,510,000	57,916トン	12,219ha	57,293トン	12,087ha
香川	70,240 / 7,510,000	69,492トン	13,926ha	68,744トン	13,776ha
愛媛	73,920 / 7,510,000	73,133トン	14,685ha	72,345トン	14,527ha
高知	50,070 / 7,510,000	49,537トン	10,769ha	49,003トン	10,653ha
福岡	182,470 / 7,510,000	180,526トン	36,178ha	178,582トン	35,788ha
佐賀	138,420 / 7,510,000	136,945トン	26,386ha	135,471トン	26,102ha
長崎	62,850 / 7,510,000	62,180トン	12,981ha	61,511トン	12,842ha
熊本	189,310 / 7,510,000	187,293トン	36,368ha	185,277トン	35,976ha
大分	117,690 / 7,510,000	116,436トン	23,148ha	115,183トン	22,899ha
宮崎	93,600 / 7,510,000	92,603トン	18,632ha	91,606トン	18,432ha
鹿児島	111,070 / 7,510,000	109,887トン	22,751ha	108,704トン	22,506ha
沖縄	2,860 / 7,510,000	2,830トン	916ha	2,799トン	906ha

注1：米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針（平成26年11月）において、平成27年産米の都道府県別のシェアを固定し、当該シェアで按分して平成28年産米の都道府県別の生産数量目標及び自主的取組参考値とする旨を公表済み。

注2：端数処理の結果、合計値は一致しない。

Ⅶ 備蓄米及びMA米の動向

(1) 国内産政府備蓄米の買入予定数量及び買入入札の結果

① 平成28年産政府備蓄米の買入入札に係る買入予定数量及び都道府県別優先枠

(単位：トン)

政府備蓄米買入予定数量	225,000
都道府県別優先枠	157,500
北海道	11,757
青森	17,177
岩手	7,200
宮城	9,900
秋田	21,343
山形	12,707
福島	20,000
茨城	990
栃木	7,470
群馬	10
埼玉	432
千葉	1,100
東京	0
神奈川	0
新潟	22,133
富山	9,822
石川	3,970
福井	1,985
山梨	0
長野	655
岐阜	495
静岡	33
愛知	724
三重	542
滋賀	1,099
京都	0
大阪	0
兵庫	217
奈良	0
和歌山	0
鳥取	883
島根	71
岡山	2,133
広島	201
山口	227
徳島	555
香川	0
愛媛	241
高知	15
福岡	219
佐賀	539
長崎	30
熊本	408
大分	220
宮崎	0
鹿児島	0
沖縄	0
一般枠	67,500

② 国内産備蓄米の買入入札の結果（落札結果）（平成23～27年産）

（単位：トン）

買入対象米穀 の産地	平成23年産	平成24年産	平成25年産	平成26年産	平成27年産
北海道	7,000	5,768	14,058	14,080	14,080
青森		2,388	20,028	20,450	20,450
岩手	5,683	5,149	7,600	8,000	8,000
宮城		3,952	7,428	11,000	11,000
秋田	11,274	9,595	25,411	25,500	25,500
山形	3,900	7,690	12,500	13,530	13,530
福島		52	11,074	20,000	20,000
茨城		90	1,478	1,480	1,480
栃木		1,848	11,163	11,170	11,170
群馬					
埼玉			600	640	640
千葉		99	2,650	2,830	1,641
東京					
神奈川					
新潟		9,614	30,948	32,400	32,400
富山	6,200	7,920	12,831	12,840	12,840
石川		810	4,000	4,020	4,020
福井		1,300	632	640	640
山梨					
長野		93	758	770	770
岐阜			735	740	740
静岡			62	100	50
愛知			1,803	1,380	1,083
三重		699	807	810	810
滋賀			1,572	1,600	1,600
京都					
大阪					
兵庫			554	435	324
奈良			30		0
和歌山					
鳥取			1,320	1,320	1,320
島根			95	100	100
岡山		150	2,974	3,170	3,170
広島	1,017	603	1,002	1,010	300
山口	3,003	785	336	340	340
徳島			1,443	1,520	830
香川	585		500	530	0
愛媛	422	345	336	340	340
高知			76	68	23
福岡	120	120	454	386	328
佐賀	188	190	830	830	806
長崎			80	20	45
熊本			583	590	590
大分			240	240	240
宮崎					
鹿児島					
沖縄					
都道府県別枠計	39,392	59,260	178,991	194,879	191,200
指定なし	28,246	24,130	4,101	55,121	58,800
合計	67,638	83,390	183,092	250,000	250,000

(2) MA米（一般・SBS）の動向

① MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）

（単位：万玄米トン）

	米 国	タ イ	中 国	オースト ラリア	その他	合 計		
							うち一般輸入	うちSBS輸入※
平成7年度	19	11	3	9	1	43	42	1
平成8年度	23	14	4	9	1	51	49	2
平成9年度	29	15	5	9	1	60	54	6
平成10年度	31	15	8	11	3	68	55	12
平成11年度	34	16	9	12	2	72	59	12
平成12年度	36	17	10	12	2	77	63	12
平成13年度	36	15	14	11	1	77	66	10
平成14年度	36	15	11	10	4	77	71	5
平成15年度	36	15	11	9	5	76	65	10
平成16年度	36	19	10	2	10	77	66	9
平成17年度	36	19	8	2	12	77	66	10
平成18年度	36	18	8	5	10	77	65	10
平成19年度	36	24	8	-	1	70	59	10
平成20年度	43	26	7	-	1	77	66	10
平成21年度	36	33	7	-	1	77	66	10
平成22年度	36	35	2	4	1	77	73	4
平成23年度	36	24	6	7	4	77	66	10
平成24年度	36	28	5	6	1	77	66	10
平成25年度	36	35	0	4	2	77	70	6
平成26年度	36	33	6	1	1	77	75	1
平成27年度 (11月末現在)	15	15	4	0	0	34	34	1

資料： 農林水産省「米をめぐる関係資料」
※SBS輸入数量の単位は万実トン。

- 注： 1 各年度の輸入契約数量の推移。
2 ラウンドの関係で合計が一致しないことがある。
3 実トンと玄米トンのため合計は一致しないことがある。

（参考）MA米以外で、枠外税率を支払って輸入されるコメの数量は、毎年0.1～0.2千トン程度

② 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合わせ結果(平成27年度)

(単位：トン)

販売期間	うるち	販売期間	もち
平成27年4～6月分	13,301	平成27年4～7月分	2,882
4月分	522	/	/
5月分	368		
6月分	979		
7～9月分	17,214		
7月分	488		
8月分	571		
9月分	943		
小計	34,386	小計	2,882
合計	37,268		

資料：農林水産省「加工原材料用に係る政府所有ミニマム・アクセス米の見積合わせ結果の概要について」

③ SBS輸入米の見積合わせ結果(平成27年度)

(単位：実トン)

		アメリカ		タイ		中国		その他		合計
		うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	
第1回 (平成27年9月16日)	一般米	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	砕精米	220	100	200	108	0	0	0	0	628
第2回 (平成27年10月21日)	一般米	36	434	36	0	0	0	108	0	614
	砕精米	300	100	100	144	200	0	0	0	844
第3回 (平成27年11月18日)	一般米	236	736	1,216	0	40	0	350	0	2,578
	砕精米	408	200	500	0	0	0	150	0	1,258
合計	一般米	272	1,170	1,252	0	40	0	458	0	3,192
	砕精米	928	400	800	252	200	0	150	0	2,730
平成22年度計 (参考)	一般米	2,904	2,228	1,880	120	2,936	0	538	0	10,606
	砕精米	16,438	640	9,010	0	532	0	0	0	26,620
平成23年度計 (参考)	一般米	7,490	5,324	2,038	80	50,463	0	17,155	0	82,550
	砕精米	10,124	990	2,320	3,384	632	0	0	0	17,450
平成24年度計 (参考)	一般米	34,076	2,290	1,536	72	27,640	0	24,386	0	90,000
	砕精米	4,032	576	2,898	364	524	0	1,606	0	10,000
平成25年度計 (参考)	一般米	14,686	4,396	3,346	144	174	0	17,993	0	40,739
	砕精米	576	388	7,375	308	540	0	10,913	0	20,100
平成26年度計 (参考)	一般米	662	2,418	2,732	72	80	0	1,326	0	7,290
	砕精米	0	724	2,540	252	700	0	100	0	4,316

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」の平成22～27年度

(参考1)米の安定取引研究会報告書の概要

米の安定取引研究会報告書の概要について

平成27年3月30日
農林水産省

- 農林水産業・地域の活力創造プランに基づき、米の「安定取引の一層の推進」等を進めるため、昨年12月より、米の集荷業者、卸・小売業者、中食・外食業者からなる研究会を立ち上げ。
- これまで5回にわたり議論が行われ、平成27年3月30日、安定取引の必要性とその拡大のための対応方向が報告書として取りまとめられた。

報告書の概要

事前契約(安定取引)の拡大の必要性

- 米については、民間取引において需給動向等により価格が決定することが基本であるが、作柄による供給変動等により大幅な価格変動が生じている。
- 播種前契約、複数年契約などの事前契約(安定取引)は、価格変動を一定の幅に収めることができるとともに、行政による生産数量目標の配分に頼らない生産体制を目指す米政策の見直しの実現にも資する。

安定取引の拡大に向けた対応

- 価格が作柄などの需給動向以外の不透明な要因で大幅に変動すれば、安定取引の拡大自体に支障が生ずるとの意見が多く示された。
- 概算金は、作柄等が明らかでない7～8月ごろに明確な根拠が示されず大きく変動する形で設定され、市場価格にも影響を与えているが、その透明化が重要との意見が多く示された。
- このため、生産者が営農計画を作成する6月頃の段階で、例えば、「過去3ヶ年平均」や「5中3平均」など透明性の高いものとして概算金を決定することが望ましいとの意見が多く示された。また、その前提として、需給の安定を図ることが重要との意見や、作柄や需給動向が想定と大きく異なる場合は所要の補正を行えるようにすることが望ましいとの意見も示された。
- 相対取引基準価格についても、同様の考え方で当初の水準を設定し、実際の作柄や需給動向が明らかになった後にそれらも踏まえつつ、取引当事者が納得する形で実際の取引が行われていくことが望ましいとの意見が多く示された。

現物市場の活性化

- 米の取引については、長期間品質が劣化しにくい等の商品特性から、相対取引が流通の相当部分を占めてきたところであり、現物市場については、こうした特性を踏まえ、今後も、スポット取引の場や相場の参考にする場として活用したいとの意見、多様な受渡方法を取り込んでいくなど活用しやすいものとなるよう創意工夫が進められることや丁寧な情報提供等が必要であるとの意見も示された。

「米の安定取引研究会」に関する資料、概要、報告書(全体版)については、
農林水産省ホームページに掲載しています。

ホーム > 組織・政策 > 政策統括官 > 米(稲)・麦・大豆 > 審議会・懇談会等 > 米の安定取引研究会
【http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/kome_antei_torihiki/index.html】

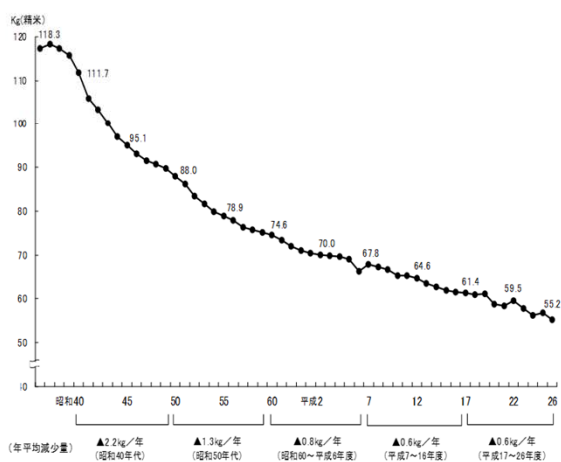
米をめぐる状況について

平成27年11月
農林水産省

米の消費に関する動向

- 米の1人当たりの年間消費量は、昭和37年度をピークに一貫して減少傾向にある。具体的には、37年度には118kgの米を消費していたのが、平成26年度には、その半分程度の55kgにまで減少している。
- また、米の全国ベースでの需要量は毎年約8万トンずつの減少傾向にある。

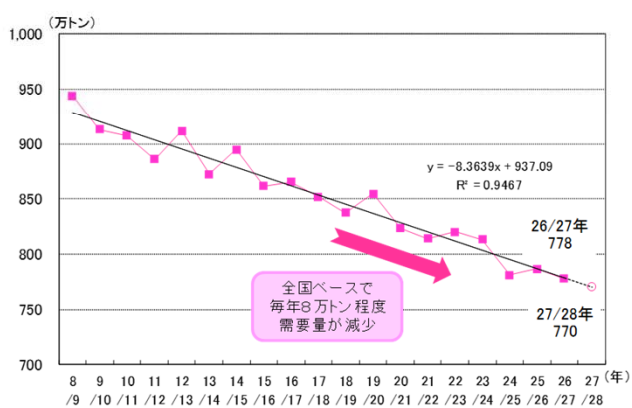
○米の年間1人あたり消費量の推移



資料: 農林水産省「食料需給表」

注: 1人1年当たり供給純食料の値である。

○米の需要量の推移



資料: 農林水産省「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」(H27.7)

1

資料「米をめぐる状況について」(平成27年11月)の全体版は、
農林水産省ホームページに掲載しています。
ホーム > 組織・政策 > 政策統括官 > 米(稲)・麦・大豆 > 注目情報 >
米に関する各種資料について > 米をめぐる参考資料
【http://www.maff.go.jp/j/seisan/kikaku/kome_siryu.html】

(参考3)平成26年産ナラシ対策の支払実績(平成27年7月31日現在)

全 国 都 道 府 県	加入件数 (件)	支払件数 (件)	補てん総額 (億円)	(参考1)※ 米の10a当たり 補てん単価 (円/10a)	(参考2)※ 米加入面積10haの 場合の補てん額の推計 (万円)	
全 国	69,741	58,375	516.42	22,157	221	
北 海 道	18,830	11,495	84.93	10,836	108	
東 北	青 森 県	2,060	1,984	21.16	22,652	226
	岩 手 県	2,003	1,945	23.36	20,533	205
	宮 城 県	2,689	2,407	24.37	20,376	203
	秋 田 県	6,177	6,044	60.49	23,535	235
	山 形 県	5,177	5,098	37.24	19,159	191
	福 島 県	2,041	1,999	18.73	22,179	221
関 東	茨 城 県	1,509	1,402	11.24	21,708	217
	栃 木 県	2,956	2,882	27.10	22,355	223
	群 馬 県	478	465	5.45	19,126	191
	埼 玉 県	377	335	3.18	19,852	198
	千 葉 県	175	164	2.04	21,645	216
	東 京 都	—	—	—	17,297	172
	神 奈 川 県	67	67	0.13	20,910	209
	山 梨 県	47	42	0.21	19,188	191
	長 野 県	605	568	10.89	25,819	258
	静 岡 県	151	149	2.40	19,932	199
北 陸	新 潟 県	9,028	8,662	54.23	14,538	145
	富 山 県	1,280	1,126	25.74	23,420	234
	石 川 県	1,145	1,068	14.35	22,075	220
	福 井 県	882	762	10.53	21,854	218
東 海	岐 阜 県	468	395	6.75	20,271	202
	愛 知 県	360	158	1.61	18,436	184
	三 重 県	585	409	4.19	20,921	209
近 畿	滋 賀 県	1,357	1,149	13.05	21,685	216
	京 都 府	178	164	1.09	20,279	202
	大 阪 府	6	5	0.01	20,836	208
	兵 庫 県	682	676	1.89	19,599	195
	奈 良 県	11	10	0.02	21,447	214
	和 歌 山 県	4	4	0.00	20,694	206
中 国 ・ 四 国	鳥 取 県	156	134	1.92	20,744	207
	島 根 県	441	436	5.26	21,315	213
	岡 山 県	304	289	2.87	20,591	205
	広 島 県	311	303	4.46	21,021	210
	山 口 県	657	529	3.87	20,097	200
	徳 島 県	32	30	0.22	19,249	192
	香 川 県	319	278	3.75	20,176	201
	愛 媛 県	290	263	1.46	19,818	198
九 州	高 知 県	70	65	0.38	19,686	196
	福 岡 県	1,069	488	2.51	15,853	158
	佐 賀 県	1,092	872	11.98	21,176	211
	長 崎 県	173	106	0.57	17,114	171
	熊 本 県	861	718	3.26	20,128	201
	大 分 県	919	670	2.40	19,842	198
沖 縄	宮 崎 県	1,290	1,154	2.59	21,657	216
	鹿 児 島 県	411	388	2.50	20,390	203
沖 縄 県	18	18	0.05	11,807	118	

(注1) 加入件数は、平成26年7月31日時点の積立金納付者の件数である。

(注2) ラウンドの関係で合計数値は一致しない場合がある。

※ 米の10a当たり補てん単価及び米加入面積10haの場合の補てん額の推計は、20%コースの場合。米のみで試算したものであり、実際の支払では、麦・大豆等との合算相殺がある。また、(参考2)の米加入面積10haの場合の補てん額の推計は、表記上、1万円未満は切り捨てている。

(参考4) 麦・大豆の需要情報

(1) 28年産麦の産地別銘柄別入札結果

28年産国内産麦の入札の結果、取引の基準となる指標価格(加重平均)(税込)は、麦種別平均で、小麦54,164円/トン、小粒(六条)大麦47,565円/トン、大粒(二条)大麦47,827円/トン、はだか麦46,547円/トン。

(単位:円、トン)

麦種	産地	銘柄	地域区分	税込			税別				上場数量 (6)	申込数量 (7)	落札数量	落札 残数量	申込倍率 (7)÷(6)
				基準価格 (1)	指標価格 (加重平均) (2)	対比 (2)÷(1)	基準価格 (3)	指標価格 (4)	前年産 指標価格 (5)	前年産 対比 (4)÷(5)					
小麦	北海道	春よ恋	全地区	55,469	57,040	102.8%	51,360	52,815	50,107	105.4%	12,010	15,530	11,770	240	1.3
小麦	北海道	キタノカオリ	全地区	56,814	52,313	92.1%	52,606	48,438	51,323	94.4%	2,850	3,070	2,430	420	1.1
小麦	北海道	きたほなみ	全地区	51,524	55,766	108.2%	47,707	51,635	46,543	110.9%	126,680	167,080	126,680	0	1.3
小麦	北海道	ゆめちから	全地区	47,321	52,053	110.0%	43,816	48,197	42,747	112.8%	14,800	47,390	14,800	0	3.2
小麦	北海道	はるきり	全地区	47,052	50,087	106.5%	43,567	46,377	42,504	109.1%	1,370	2,670	1,370	0	1.9
小麦	岩手	ゆめちから	全地区	36,718	36,897	100.6%	33,998	34,164	33,169	103.0%	960	710	590	370	0.7
小麦	宮城	シラネコムギ	全地区	34,751	36,988	106.4%	32,177	34,248	31,392	109.1%	600	1,140	600	0	1.9
小麦	茨城	さとのそら	全地区	35,293	38,676	109.6%	32,679	35,811	31,882	112.3%	3,730	9,730	3,730	0	2.6
小麦	群馬	つるびかり	全地区	53,416	56,792	106.3%	49,459	52,585	48,253	109.0%	1,220	1,470	1,190	30	1.2
小麦	群馬	さとのそら	全地区	42,864	46,810	109.2%	39,689	43,343	38,721	111.9%	4,770	8,910	4,740	30	1.9
小麦	埼玉	あやひかり	全地区	41,840	42,649	101.9%	38,741	39,490	-	-	1,070	1,090	1,060	10	1.0
小麦	埼玉	さとのそら	全地区	38,651	42,498	110.0%	35,788	39,350	34,915	112.7%	4,570	12,220	4,550	20	2.7
小麦	岐阜	イワイノダイチ	全地区	50,463	49,276	97.6%	46,725	45,626	45,585	100.1%	1,210	760	740	470	0.6
小麦	愛知	きぬあかり	全地区	49,790	46,941	94.3%	46,102	43,464	44,978	96.6%	6,590	2,100	2,100	4,490	0.3
小麦	滋賀	農林61号	全地区	55,710	51,678	92.8%	51,583	47,850	50,325	95.1%	4,020	3,450	3,450	570	0.9
小麦	滋賀	ふくさやか	全地区	55,953	52,863	94.5%	51,808	48,947	50,544	96.8%	1,200	1,080	1,050	150	0.9
小麦	兵庫	シロガネコムギ	全地区	52,858	56,538	107.0%	48,943	52,350	47,749	109.6%	540	660	540	0	1.2
小麦	香川	さめきの夢2009	全地区	71,159	66,601	93.6%	65,888	61,668	64,281	95.9%	1,430	2,850	1,430	0	2.0
小麦	福岡	シロガネコムギ	全地区	54,389	54,550	100.3%	50,360	50,509	49,132	102.8%	5,430	5,490	4,400	1,030	1.0
小麦	福岡	チクゴイズミ	全地区	53,995	50,490	93.5%	49,995	46,750	48,776	95.8%	5,680	4,450	4,450	1,230	0.8
小麦	福岡	ミナミカオリ	全地区	52,257	57,018	109.1%	48,386	52,794	47,206	111.8%	1,740	3,380	1,740	0	1.9
小麦	佐賀	シロガネコムギ	全地区	52,226	55,241	105.8%	48,357	51,149	47,178	108.4%	5,940	7,100	5,770	170	1.2
小麦	佐賀	チクゴイズミ	全地区	58,008	52,695	90.8%	53,711	48,792	52,401	93.1%	3,770	1,070	1,070	2,700	0.3
小麦	大分	チクゴイズミ	全地区	56,509	48,200	85.3%	52,323	44,630	51,047	87.4%	1,180	900	890	290	0.8
-	-	---合計---	-	50,965	54,164	106.3%	47,190	50,152	-	-	213,360	304,300	201,140	12,220	1.4
小粒(六条)大麦	宮城	シュンライ	全地区	39,301	39,301	100.0%	36,390	36,390	36,390	100.0%	510	750	510	0	1.5
小粒(六条)大麦	宮城	ミノリムギ	全地区	40,162	40,162	100.0%	37,187	37,187	37,187	100.0%	210	310	210	0	1.5
小粒(六条)大麦	茨城	カシマムギ	全地区	47,319	47,766	100.9%	43,814	44,228	43,814	100.9%	500	640	500	0	1.3
小粒(六条)大麦	茨城	カシマゴール	全地区	44,953	44,521	99.0%	41,623	41,223	41,623	99.0%	1,030	1,030	1,030	0	1.0
小粒(六条)大麦	栃木	シュンライ	全地区	40,580	40,580	100.0%	37,574	37,574	37,574	100.0%	1,320	2,120	1,320	0	1.6
小粒(六条)大麦	群馬	シュンライ	全地区	40,975	40,920	99.9%	37,940	37,889	37,940	99.9%	440	950	440	0	2.2
小粒(六条)大麦	富山	ファイバースノウ	全地区	50,754	50,754	100.0%	46,994	46,994	46,994	100.0%	2,510	2,460	2,420	90	1.0
小粒(六条)大麦	石川	ファイバースノウ	I地区	48,021	48,021	100.0%	44,464	44,464	44,464	100.0%	640	1,410	640	0	2.2
小粒(六条)大麦	福井	ファイバースノウ	全地区	51,076	51,079	100.0%	47,293	47,295	47,293	100.0%	4,410	4,620	4,380	30	1.0
小粒(六条)大麦	長野	ファイバースノウ	全地区	42,317	42,380	100.2%	39,182	39,241	39,182	100.2%	330	730	330	0	2.2
小粒(六条)大麦	兵庫	シュンライ	全地区	45,149	45,184	100.1%	41,805	41,837	41,805	100.1%	310	370	310	0	1.2
-	-	---合計---	-	47,582	47,565	100.0%	44,057	44,042	-	-	12,210	15,390	12,090	120	1.3
大粒(二条)大麦	茨城	ミカモゴールデン	全地区	30,872	30,991	100.4%	28,585	28,695	28,585	100.4%	840	460	460	380	0.5
大粒(二条)大麦	栃木	サチホゴールデン	全地区	32,271	32,448	100.5%	29,881	30,044	29,881	100.5%	680	380	380	300	0.6
大粒(二条)大麦	岡山	スカイゴールデン	全地区	51,542	52,261	101.4%	47,724	48,390	47,724	101.4%	650	540	480	170	0.8
大粒(二条)大麦	佐賀	ニシノホシ	全地区	48,894	50,258	102.8%	45,272	46,535	45,272	102.8%	970	1,390	970	0	1.4
大粒(二条)大麦	佐賀	サチホゴールデン	全地区	47,462	49,938	105.2%	43,946	46,239	43,946	105.2%	4,310	7,800	4,310	0	1.8
-	-	---合計---	-	45,938	47,827	104.1%	42,535	44,284	-	-	7,450	10,570	6,600	850	1.4
はだか麦	香川	イチバンボシ	全地区	46,871	45,095	96.2%	43,399	41,755	43,399	96.2%	780	870	780	0	1.1
はだか麦	愛媛	マンネンボシ	全地区	47,229	47,902	101.4%	43,731	44,354	43,731	101.4%	1,190	2,260	1,190	0	1.9
はだか麦	大分	トノカゼ	全地区	49,327	45,676	92.6%	45,673	42,293	45,673	92.6%	770	550	550	220	0.7
-	-	---合計---	-	47,576	46,547	97.8%	44,052	43,099	-	-	2,740	3,680	2,520	220	1.3

資料: (一社) 全国米麦改良協会「平成28年産民間流通麦の入札における落札決定状況(公表)」
 注: 1 基準価格及び指標価格は円/1t当たりの価格であり、税込とは消費税(地方消費税を含む)相当額を含めた額である。
 2 建値条件は、はら、1等、産地倉庫在姿である。
 3 基準価格及び指標価格の「合計」欄は、本年産の産地・銘柄毎の基準価格又は指標価格を落札数量で加重平均したものである。
 4 小麦の基準価格は、前年産の指標価格に当該年産の第1回入札時点での輸入麦の政府売渡価格の変動率(1.025)を乗じた価格である。

(2) 27年産大豆の産地別銘柄別入札結果

- 27年産大豆の作付面積は、前年産から10,200ha（8%）増加し141,800haとなった。
- 生産者団体等が公表した「27年産大豆の集荷・販売計画」では、27年産大豆の集荷数量は前年産と比べて8,755 t（14.6万俵、5%）増加。
- （公財）日本特産農産物協会が開設する27年産国産大豆の入札取引は、本年11月から開始。第1回の入札では北海道、東北、北陸産大豆2.5万俵が上場され、全量が落札された。落札平均価格は10,479円/60kgとなった。次回は、12月に6万俵が上場される予定。

（単位：俵、円/60kg（税抜き））

産地	粒別	品種銘柄	上場数量			落札数量			落札価格		
			普通大豆 計	特定加工 用大豆	合計	普通大豆 計	特定加工 用大豆	合計	普通大豆 計	特定加工 用大豆	合計
北海道	大粒	とよまさり	15,015.0		15,015.0	15,015.0		15,015.0	10,548		10,548
	大粒	【とよまさりユキホマレ】	15,015.0		15,015.0	15,015.0		15,015.0	10,548		10,548
	中粒	とよまさり	1,485.0		1,485.0	1,485.0		1,485.0	9,333		9,333
	中粒	【とよまさりユキホマレ】	1,485.0		1,485.0	1,485.0		1,485.0	9,333		9,333
青森	大粒	おおすず	1,320.0		1,320.0	1,320.0		1,320.0	10,115		10,115
岩手	大粒	リュウホウ	165.0		165.0	165.0		165.0	11,000		11,000
	大粒	シュウリュウ	165.0		165.0	165.0		165.0	9,200		9,200
山形	大粒	リュウホウ	495.0		495.0	495.0		495.0	10,007		10,007
	中粒	リュウホウ	495.0		495.0	495.0		495.0	10,153		10,153
	小粒	リュウホウ		165.0	165.0		165.0	165.0		7,500	7,500
	大粒	エンレイ	330.0		330.0	330.0		330.0	9,760		9,760
新潟	大粒	エンレイ	990.0	990.0	1,980.0	990.0	990.0	1,980.0	10,908	10,857	10,883
	中粒	エンレイ		165.0	165.0		165.0	165.0		11,600	11,600
富山	大粒	エンレイ	1,470.0	576.0	2,046.0	1,470.0	576.0	2,046.0	11,070	11,968	11,323
	中粒	エンレイ	78.5	593.5	672.0	78.5	593.5	672.0	10,000	10,660	10,583
福井	大粒	里のほほえみ	220.5		220.5	220.5		220.5	10,200		10,200
	大粒	エンレイ		225.0	225.0		225.0	225.0		9,547	9,547
	中粒	エンレイ		113.5	113.5		113.5	113.5		9,400	9,400
		全 国	22,229.0	2,828.0	25,057.0	22,229.0	2,828.0	25,057.0	10,447	10,727	10,479

(参考5) 野菜等の需給情報

- 農林水産省は、我が国の主要な野菜について需要に即した生産を図るため、毎年、次期作の夏秋野菜及び冬春野菜の需要量、供給量、作付面積に関するガイドラインを策定しています。
- 全国出荷団体等は、このガイドラインを踏まえ供給計画を策定し、この計画に即した野菜の出荷に努めることとしています。

I. 平成27年度 夏秋野菜等の需給ガイドライン

1. 需要量

種別	主な出荷時期	①需要量(トン)	②平成25年産(トン)	①/②
夏秋キャベツ	平成27年7月から10月まで	329,100	330,700	▲0.5%
夏秋きゅうり	平成27年7月から11月まで	262,700	254,700	3.1%
秋冬さといも	平成27年6月から平成28年3月まで	172,600	167,000	3.4%
夏だいこん	平成27年7月から9月まで	212,000	211,300	0.3%
夏秋トマト	平成27年7月から11月まで	293,200	291,800	0.5%
夏秋なす	平成27年7月から11月まで	177,700	176,400	0.7%
秋にんじん	平成27年8月から10月まで	259,500	258,000	0.6%
秋冬ねぎ	平成27年10月から平成28年3月まで	239,900	238,600	0.5%
夏はくさい	平成27年7月から9月まで	132,900	144,900	▲8.3%
夏秋ピーマン	平成27年6月から10月まで	62,400	62,600	▲0.3%
夏秋レタス	平成27年6月から10月まで	202,400	230,000	▲12.0%

(注) 需要量は、過去10カ年(平成16年度～平成25年度。IIで最新のデータが平成26年度の場合は平成17年度～平成26年度。)の一人当たり需要量の推移から回帰式等により推計年次の一人当たり需要量を推計し、これに当該年次の推計人口を乗じることにより、推計。なお、需要量は純食料(人間の消費に直接利用可能な食料の形態)ベースで推計。

2. 国内産供給量

種別	③国内産供給量(収穫量)(トン)	④平成25年産(トン)	③/④
夏秋キャベツ	462,400	464,100	▲0.4%
夏秋きゅうり	274,500	266,900	2.9%
秋冬さといも	166,600	161,600	3.1%
夏だいこん	246,600	246,100	0.2%
夏秋トマト	348,300	345,400	0.8%
夏秋なす	204,300	202,900	0.7%
秋にんじん	188,200	183,800	2.4%
秋冬ねぎ	305,400	302,000	1.1%
夏はくさい	166,300	181,300	▲8.3%
夏秋ピーマン	63,200	62,400	1.3%
夏秋レタス	247,100	281,300	▲12.2%

(注) 1. で見込んだ需要量を歩留り率及び(1-減耗率)で除し、輸出入動向を勘案して推計。

3. 作付面積

種別	⑤作付面積(ha)	⑥平成25年産(ha)	⑤/⑥
夏秋キャベツ	10,100	10,100	0.0%
夏秋きゅうり	8,520	8,430	1.1%
秋冬さといも	13,200	13,000	1.5%
夏だいこん	6,620	6,490	2.0%
夏秋トマト	8,290	8,120	2.1%
夏秋なす	8,610	8,570	0.5%
秋にんじん	6,160	5,900	4.4%
秋冬ねぎ	14,500	14,400	0.7%
夏はくさい	2,570	2,550	0.8%
夏秋ピーマン	2,310	2,280	1.3%
夏秋レタス	8,660	8,940	▲3.1%

(注) 2. で見込んだ国内産供給量を過去10カ年の単収の推移から回帰式等により推計した単収で除して推計。

II. 平成27年度 冬春野菜等の需給ガイドライン

1. 需要量

種別	主な出荷時期	⑦需要量(トン)	⑧平成25(26)年産(トン)	前年比(⑦/⑧)
春キャベツ ※	28年4月から6月まで	270,900	278,500	▲2.7%
冬キャベツ	27年11月から28年3月まで	423,700	440,300	▲3.8%
冬春きゅうり	27年12月から28年6月まで	298,300	300,600	▲0.8%
春だいこん ※	28年4月から6月まで	193,500	193,600	▲0.1%
秋冬だいこん	27年10月から28年3月まで	854,500	837,400	2.0%
たまねぎ ※	28年4月から29年3月まで	1,306,000	1,370,000	▲4.7%
うち北海道産 ※	28年4月から29年3月まで	694,500	734,100	▲5.4%
うち都府県産 ※	28年4月から29年3月まで	611,600	636,000	▲3.8%
冬春トマト	27年12月から28年6月まで	311,600	339,000	▲8.1%
冬春なす	27年12月から28年6月まで	103,800	105,100	▲1.2%
春夏にんじん ※	28年4月から7月まで	273,700	298,600	▲8.3%
冬にんじん	27年11月から28年3月まで	350,200	348,600	0.5%
春ねぎ ※	28年4月から6月まで	70,200	71,200	▲1.4%
夏ねぎ ※	28年7月から9月まで	75,200	77,500	▲2.9%
春はくさい ※	28年4月から6月まで	89,600	92,500	▲3.1%
秋冬はくさい	27年10月から28年3月まで	487,000	488,900	▲0.4%
ばれいしょ ※	28年4月から29年3月まで	1,804,000	1,822,000	▲1.0%
冬春ピーマン	27年11月から28年5月まで	75,100	78,000	▲3.7%
ほうれんそう ※	28年4月から29年3月まで	250,300	246,500	1.5%
春レタス ※	28年4月から5月まで	92,500	94,500	▲2.1%
冬レタス	27年11月から28年3月まで	150,200	155,000	▲3.1%

(注) ※は、平成28年産のガイドライン値(2. 3. も同様)。

2. 国内産供給量

種別	⑨国内産供給量 (収穫量)(トン)	⑩平成25(26) 年産(トン)	⑨/⑩
春キャベツ ※	376,600	387,000	▲2.7%
冬キャベツ	583,300	597,400	▲2.4%
冬春きゅうり	303,900	308,000	▲1.3%
春だいこん ※	222,500	223,500	▲0.5%
秋冬だいこん	998,900	979,200	2.0%
たまねぎ ※	1,102,000	1,169,000	▲5.7%
うち北海道産 ※	638,700	691,900	▲7.7%
うち都府県産 ※	463,100	477,100	▲2.9%
冬春トマト	370,000	402,700	▲8.1%
冬春なす	116,000	118,300	▲1.9%
春夏にんじん ※	164,800	172,800	▲4.6%
冬にんじん	256,300	249,300	2.8%
春ねぎ ※	84,300	85,200	▲1.1%
夏ねぎ ※	90,100	92,900	▲3.0%
春はくさい ※	112,100	115,700	▲3.1%
秋冬はくさい	609,300	611,900	▲0.4%
ばれいしょ ※	1,167,000	1,196,000	▲2.4%
冬春ピーマン	74,400	77,300	▲3.8%
ほうれんそう ※	261,200	250,300	4.4%
春レタス ※	112,800	115,400	▲2.3%
冬レタス	178,300	179,900	▲0.9%

3. 作付面積

種別	⑪作付面積(ha)	⑫平成25(26)年 産(ha)	⑪/⑫
春キャベツ ※	9,050	9,180	▲1.4%
冬キャベツ	14,800	15,100	▲2.0%
冬春きゅうり	3,040	2,990	1.7%
春だいこん ※	4,660	4,670	▲0.2%
秋冬だいこん	23,000	22,400	2.7%
たまねぎ ※	24,100	25,300	▲4.7%
うち北海道産 ※	12,500	13,700	▲8.8%
うち都府県産 ※	11,600	11,600	0.0%
冬春トマト	3,920	3,940	▲0.5%
冬春なす	1,150	1,130	1.8%
春夏にんじん ※	4,440	4,510	▲1.6%
冬にんじん	8,160	8,070	1.1%
春ねぎ ※	3,430	3,500	▲2.0%
夏ねぎ ※	5,000	5,060	▲1.2%
春はくさい ※	1,860	1,890	▲1.6%
秋冬はくさい	13,400	13,400	0.0%
ばれいしょ ※	79,500	79,700	▲0.3%
冬春ピーマン	751	759	▲1.1%
ほうれんそう ※	21,500	21,300	0.9%
春レタス ※	4,270	4,320	▲1.2%
冬レタス	7,810	7,820	▲0.1%

Ⅲ. 今後の生育、出荷及び価格見通し(平成27年12月)について

品目	主産地 (書きは昨年12月の 入荷シェア)	今後の生育及び出荷見通し	価格見通し (平年(直近5か年平均)比)	
			12月前半	12月後半
だいこん	千葉(52%) 神奈川(38%)	<ul style="list-style-type: none"> 前月は、関東の産地において、9月下旬以降、好天かつ適度な降雨等により、肥大が良好となったことから、出荷数量が平年を上回ったため、価格は平年を下回って推移。 12月前半は、関東の産地において、前月に引き続き出荷数量が平年を上回るため、価格は平年を下回る見込み。 12月後半は、関東の産地において、天候が平年並みに推移すれば、出荷数量、価格ともに平年並みに回復する見込み。 	安値水準 で推移	平年並み に回復
にんじん	千葉(84%)	<ul style="list-style-type: none"> 関東の産地において、生育が順調であることから、出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。 	平年並み で推移	平年並み で推移
はくさい	茨城(93%)	<ul style="list-style-type: none"> 関東の産地において、生育が順調であることから、出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。 	平年並み で推移	平年並み で推移
キャベツ	愛知(41%) 千葉(37%) 茨城(10%)	<ul style="list-style-type: none"> 東海及び関東の産地において、生育が順調であることから、出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。 	平年並み で推移	平年並み で推移
ほうれんそう	群馬(39%) 茨城(17%) 千葉(16%)	<ul style="list-style-type: none"> 前月は、関東の産地において、10月中旬以降、気温が高めに推移し、適度な降雨があったことにより、生育が平年を上回ったことから、出荷数量が平年を上回ったため、価格は平年を下回って推移。 12月は、関東の産地において、前月に引き続き出荷数量が平年を上回るため、価格は平年を下回る見込み。 	安値水準 で推移	安値水準 で推移
ねぎ	千葉(24%) 茨城(18%) 埼玉(17%)	<ul style="list-style-type: none"> 関東の産地において、生育が順調であることから、出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。 	平年並み で推移	平年並み で推移
レタス	静岡(22%) 兵庫(15%) 長崎(14%) 茨城(14%)	<ul style="list-style-type: none"> 前月は、関東及び近畿の産地において、10月下旬以降、気温が高めに推移し、適度な降雨があったことにより、生育が平年を上回ったことから、出荷数量が平年を上回ったため、価格は平年を下回って推移。 12月前半は、東海、近畿、九州及び関東(出荷終期)の産地において、引き続き出荷数量が平年を上回るため、価格は平年を下回る見込み。 12月後半は、東海、近畿及び九州の産地において、気温が平年並みに推移すれば、生育が落ち着き、出荷数量、価格ともに平年並みに回復する見込み。 	安値水準 で推移	平年並み に回復
きゅうり	宮崎(39%) 千葉(21%) 高知(17%)	<ul style="list-style-type: none"> 前月は、九州、関東及び四国の産地において、10月下旬以降、気温が高めに推移したこと等により、着果数が多く確保されたことから、出荷数量が平年を上回ったため、価格は平年を下回って推移。 12月前半は、九州、関東及び四国の産地において、前月に引き続き出荷数量が平年を上回るため、価格は平年を下回る見込み。 12月後半は、収穫時期を迎える着果数が、現在平年並みであることから、出荷数量、価格ともに平年並みに回復する見込み。 	安値水準 で推移	平年並み に回復
なす	高知(60%) 福岡(19%)	<ul style="list-style-type: none"> 四国及び九州の産地において、生育が順調であることから、出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。 	平年並み で推移	平年並み で推移
トマト	熊本(46%) 愛知(17%) 栃木(11%)	<ul style="list-style-type: none"> 前月は、九州の産地において、10月下旬以降、気温が高めに推移し、日照時間が多かったことにより、肥大、着色ともに良好となったことから、出荷数量が平年を上回ったため、価格は平年を下回って推移。 12月前半は、九州の産地において、前月に引き続き出荷数量が平年を上回るため、価格は平年を下回る見込み。 12月後半は、収穫時期を迎える着果数が、現在平年並みであることから、出荷数量、価格ともに平年並みに回復する見込み。 	安値水準 で推移	平年並み に回復
ピーマン	宮崎(31%) 茨城(24%) 高知(16%)	<ul style="list-style-type: none"> 前月は、九州、関東及び四国の産地において、10月下旬以降、気温が高めに推移したことにより、着果数が多く確保されたことから、出荷数量が平年を上回ったため、価格は平年を下回って推移。 12月前半は、九州、関東及び四国の産地において、前月に引き続き出荷数量が平年を上回るため、価格は平年を下回る見込み。 12月後半は、収穫時期を迎える着果数が、現在平年並みであることから、出荷数量、価格ともに平年並みに回復する見込み。 	安値水準 で推移	平年並み に回復
ばれいしょ	北海道(82%) 長崎(18%)	<ul style="list-style-type: none"> 北海道の産地において、収量が平年並みであったことから、出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。 	平年並み で推移	平年並み で推移
さといも	埼玉(57%) 千葉(19%)	<ul style="list-style-type: none"> 関東の産地において、収穫が順調であり、収量が平年並みであることから、出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。 	平年並み で推移	平年並み で推移
たまねぎ	北海道(94%)	<ul style="list-style-type: none"> 北海道の産地において、収量が平年を上回ったことから、出荷数量が平年を上回るため、価格は平年を下回る見込み。 	安値水準 で推移	安値水準 で推移

注:「平年並み」とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示している。